

# 令和6年度 事業報告

目 次	
1 廣望会・役員会開催状況	P 1
2 財産取得	P 5
3 借入金と償還金の状況	P 6
4 クリーニング工房 CoCo の状況	P 7
5 アトリエ CoCo の状況	P 16
6 キッチン CoCo の状況	P 39
7 CoCo JAVJAV・Bakery Cafe CoCo の状況	P 57
8 スタジオ CoCo ・CoCo レスト の状況	P 66
9 アートカフェ CoCo の状況	P 92
10 CoCo 金沢の状況	P 102
11 地域生活支援センターCoCo ながの・ちくまの状況	P 113

令和7年6月6日

## 社会福祉法人 廣望会

障がい福祉サービス事業所(多機能型)	クリーニング工房 CoCo
障がい福祉サービス事業所(多機能型)	ア ト リ エ CoCo
障がい福祉サービス事業所(多機能型)	キ ッ チ ン CoCo
障がい福祉サービス事業所(多機能型)	CoCo JAVJAV Bakery Cafe CoCo
障がい福祉サービス事業所(多機能型) 生活介護・フリースペース	スタジオ CoCo CoCo レスト アートカフェ CoCo
障がい福祉サービス事業所(多機能型)	CoCo 金沢
共同生活援助・短期入所・相談支援・居宅介護	地域生活支援センターCoCo ながの
共同生活援助・短期入所	地域生活支援センターCoCo ちくま

## 社会福祉法人 廣望会

お陰様で本年度法人設立 26 年にして、4 月より千曲市の地域活動センター事業を Co. Co. レストにて受託をし、千曲市の障がいのある方々の拠り所としての拠点的な役割を担うべく社会貢献事業の一つとして運営を始めました。また 4 月より、長野市障がい者地域移行コーディネートセンター事業（須高・千曲坂城も含む）を新たに受託し、障がいのある方々の地域移行を進めて参りました。長野市・千曲市・坂城町・須坂市・高山村・小布施町と広域にわたって相談支援の充実を図り、地域の中で誰もが夢を描き笑顔で働き・暮らすことが出来る「インクルーシブ（地域共生）社会」を目指してきた私たちの想いを、更に進めていきたいと思ひます。

11 事業所（+ 8 グループホーム、長野市南部障がい者相談支援センター及び千曲・坂城基幹相談支援センター事業受託）、職員 175 名にてご利用者様 587 名+相談 343 名（就労継続 A 型 55 名、就労継続 B 型 94 名、生活介護 57 名、就労移行 1 名、グループホーム 47 名、地域生活支援事業 132 名、相談支援事業 343 名、地域活動支援センター 201 名）の支援サービスを運営させて頂きました。

コロナ感染症対策の活動の制限も緩め、一泊及び日帰り旅行の実施・長野中央ライオンズクラブの皆様とのフードドライブの実施・家族会の活動も総会及びつどいの実施等を行いました。また、対面でのオープンイベントも多くのボランティアの皆さんのご協力の元賑やかに開催させて頂きました。そんな中で所員の皆さんに出来得る限りの仕事の確保とお楽しみの場を創りメリハリのある日課の支援の工夫努力を進めて参りました。

就労支援においては、最低賃金の大幅アップ、物価の高騰、気象変動の中で厳しい戦いを強いられましたが、自主商品の値上げ及び下請け作業の単価アップの協力のお願ひ、施設外就労先との良好な関係作り…と各事業所において、様々な工夫と努力をし何とか 1 年間無事に乗り越えることが出来ました。

そして、社会情勢・生活環境の変化が激しい時代において、福祉ニーズの多様化、障がいの多様化に伴ってのサービス提供の在り方の難しさを改めて実感するところですが、こんな時だからこそ共生社会を目指してその人らしいその人が望む地域生活の一助となるよう、すべての事業所が努めて参りました。また、地域の中で支えて頂いていることへの感謝の気持ちを込めて、地域の中で障がいのある方たちと一緒に当法人が出来ることを真摯に考え進めて参りました。そして、障がいのある人もない人も・・・誰もが地域の中で笑顔で「働く」「暮らす」を当たり前を実現できる地域づくりの一端を担うべく、今後においても進めて参りたいと思ひます。

## 役員会等開催状況

### 【監事監査】

令和6年6月5日 令和5年度事業に関する監事監査

### 【理事会・評議員会】

令和6年6月14日 第102回理事会

- (1) 令和5年度事業報告、決算報告、監事監査報告について
- (2) クリーニング工房 CoCo 隣接土地購入について
- (3) 共同募金会 令和6年度自動車整備配分事業の申請について (アトリエ CoCo)
- (4) 運営規程の改定について
- (5) CoCo ホーム白塚 103 移転建設計画について (地域生活支援センターCoCo ながの)
- (6) 定時評議員会を決議省略の方法により行うことについて

令和6年6月27日 第59回評議員会

- (1) 令和5年度事業報告、決算報告、監事監査報告について
- (2) CoCo ホーム白塚 102・103 移転建設計画について  
(地域生活支援センターCoCo ながの)
- (3) クリーニング工房 CoCo 隣接土地購入について
- (4) 共同募金会 令和6年度自動車整備配分事業の申請について (アトリエ CoCo)

令和6年12月14日 第103回理事会

- (1) 令和6年度事業補正予算について
- (2) スタジオ CoCo 管理者の選任について

令和7年3月26日 第104回理事会

- (1) 就業規則の改定について
- (2) CoCo ホームぼたんの里(共同生活援助・短期入所)閉所について
- (3) 運営規程の変更について
- (4) 令和7年度事業計画および予算について
  - ① CoCo ホーム白塚 102 移転建設計画の変更について
  - ② CoCo 金沢 定員変更について
  - ③ 各事業所の事業計画・予算について

### 【評議員選任・解任委員会】

開催なし

### 【諸会議・その他】

令和6年3月31日 NLS グループ合同による「新年度会・新入職員入所式」

令和6年12月13日 三法人合同研修会 (廣望会・高水福祉会・県事業団)

\* 毎月1回経営会議 (月次報告含む) 出席者: 理事長 参与 事務局長 各事業所長

法人の経営状況、各事業・福祉サービスの運営状況について協議を行った。(法令順守委員会、虐待防止・身体拘束委員会、危機管理委員会)

＊毎月1回会計月次報告検討会

出席者：会計事務所 参与 事務局長 各事業所長 事務担当

会計事務所より月次の報告を受け、各事業の経営状況について確認、協議を行った。

＊各事業所にての定期的な職員会議の開催

経営会議及び管理職会議の内容の周知、作業・生活支援上の課題検討、ケース検討・就労事業検討等を行った。

ほか、毎日職員打合せを行い様々な気付き・情報をタイムリーに共有し検討をし、チーム支援を行った。

＊各種団体の諸会議及び研修等への参加

・知的障害福祉協会、セルフセンター協議会、県社協、県、長野市・須坂市・千曲坂城・金沢市自立支援協議会等の研修及び部会活動等に各事業所より積極的に参加をした。(zoom等)

【社会貢献事業】

＊地域の小学校との交流会「み～んなともだちプロジェクト」(福祉教育の実践・長野市)

＊引きこもりの子供たちや大人たちの活動の場の提供(フリースペース・長野市・須坂市・千曲市)

＊荒廃農地の活用(長野市)

＊長野中央ライオンズクラブとの協力による生活困窮の子供たち・者への支援(フードドライブ・長野市)

＊長野市生活困窮者自立支援事業への支援協力(プチバイト事業/認定就労訓練事業所登録・長野市)

＊緊急ショートステイの提供(長野市・千曲市・坂城町)

＊長野県知的障がい福祉協会の活動への積極的参加協力

＊長野県セルフセンター協議会・関東及び全国社会就労センター協議会への積極的参加協力

＊長野市及び須坂市、千曲市・坂城町、金沢市の自立支援協議会への積極的参加協力

＊長野市住民自治協議会積極的参加協力

＊長野県社会福祉協議会理事(2名)

＊長野市社会福祉審議会の地域福祉専門分科会出席

＊長野市教育センター運営委員会出席

＊ほか、地域の行事活動への積極的参加協力

## 廣望会並びに施設に関わる財産取得

令和 6年 4月	地域センターながの	白塚土地	
	総事業費		6,380,000円
令和 6年 4月	クリーニング工房COCO	連続洗濯機	
	総事業費		13,093,080円
令和 6年 4月	スタジオCOCO	連続洗濯機	
	総事業費		11,582,571円
令和 6年 4月	COCOレスト	壁掛けエアコン	
	総事業費		226,160円
令和 6年 5月	クリーニング工房COCO	作業室増改築	
	総事業費		7,120,300円
令和 6年 5月	クリーニング工房COCO	シャッター取付	
	総事業費		1,510,300円
令和 6年 7月	クリーニング工房COCO	隣接土地 347 m <sup>2</sup>	
	総事業費		5,000,000円
令和 6年 8月	クリーニング工房COCO	3本ロール上巻交換	
	総事業費		517,000円
令和 6年 8月	クリーニング工房COCO	水栓機ホールバルブ	
	総事業費		221,870円
令和 6年 8月	CoCoJAVJAV	エアコン	
	総事業費		405,350円
令和 6年10月	クリーニング工房COCO	駐車場舗装	
	総事業費		4,361,500円
令和 7年 1月	クリーニング工房COCO	脱水機メタル交換	
	総事業費		2,171,840円
令和 7年 1月	アトリエCOCO	スピーカー増設	
	総事業費		385,000円
令和 7年 2月	クリーニング工房COCO	脱水機主軸メタル	
	総事業費		2,360,600円
令和 7年 2月	スタジオCOCO	洗濯機内胴交換	
	総事業費		6,792,500円
令和 7年 3月	グループホーム千曲	エアコン取付工事	
	総事業費		1,113,387円
令和 7年 3月	クリーニング工房COCO	洗濯機ポンプ	
	総事業費		1,210,000円

## 借入金と償還金の状況

令和 6年	7月 福祉医療機構へ償還	840,000円
	〃 利息	5,880円
	(アトリエ CoCo 建設時借入金)	
毎 月	福祉医療機構へ返済(年額)	2,292,000円
	福祉医療機構借入金利息(年額)	60,064円
	(地域センター CoCo ちくま 三本木建設時借入金)	
毎 月	八十二銀行借入へ返済(年額)	1,152,000円
	八十二銀行借入金利息(年額)	127,781円
	(地域センター CoCo ちくま 三本木建設時借入金)	
毎 月	福祉医療機構へ返済(年額)	1,548,000円
	福祉医療機構借入金利息(年額)	74,589円
	(アートカフェ 建設時借入金)	
毎 月	八十二銀行借入へ返済(年額)	604,000円
	八十二銀行借入金利息(年額)	2,183円
	(スタジオ CoCo 送迎バス購入時借入金)	
毎 月	八十二銀行借入へ返済(年額)	1,625,000円
	八十二銀行借入金利息(年額)	89,096円
	(スタジオ CoCo 脱水機設置時借入金)	
毎 月	八十二銀行借入へ返済	2,990,000円
	八十二銀行借入金利息(年額)	337,211円
	(CoCo レスト建設資金)	
毎 月	福祉医療機構(5年据置返済)	0円
	福祉医療機構借入金利息(年額)	30,000円
	(運転資金)	

第2種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業  
多機能型(就労継続支援A型 就労継続支援B型)

## クリーニング工房 CoCo

感染症の落ち着きに伴い、インバウンド需要が極端に増加した一年でした。特に顕著に表れたのは白馬方面でした。以前から通年型リゾートを目指し集客に力を入れてはおりましたが、5月の連休から通年で高稼働となりました。以前はシーズン制が強く一年を通して大きな波がありました。ところが、現在の白馬村は駅周辺はもちろんですが、様々な施設に海外の方たちがいらしています。まるで海外リゾートのような風景に、ここは日本かと疑うほどです。

仕事量の増加に伴い、売り上げも順調に伸びてきています。この追い風を上手に捉えて、増加している仕事量をどのような工夫で自分たちの力に変えていくかが重要になると考えた一年でした。

隣接する土地を取得させて頂いたことでも様々なメリットがありました。回収物の置場とすることで、複雑な作業導線がすっきりとしたこと、タオルの作業場所を移設したことにより、近年の猛暑にも対応できました。

安全面と利用者に配慮した環境づくりで、生産能力も高くなりました。

一方で、利用者の方々には感染症によるブレーキの影響はいまだ大きく、まだまだ回復には時間が必要と感じています。

一度止まった時を戻すべく、施設内行事やスポーツ大会の地区予選や県大会にも参加を促して、気力の充実に務めてきました。

実習生は来るものの、支援学校の卒業者が一般企業の障がい者雇用枠に就職する方が多く、学卒者の入所がなく平均年齢も下がらないことも要因の一つと考えています。

若返りを図りながら新しい風を入れ、経費を節減し、利用者のやる気を引き出す魅力ある施設づくりが継続的課題となりました。

安定した仕事を確保して頂き、様々な面でご尽力いただいた関係する多くの方々に感謝するとともに、利用者の方々と支援員の力を十分に発揮できるようにしていきたいと思っています。

## 就労継続支援A型

### 1 事業の開始

平成10年8月1日 知的障がい者福祉工場操業開始

平成19年4月1日 障害者自立支援法のもと、多機能型事業所となる。

平成30年5月1日 定員を20名から24名に変更する。

令和2年4月1日 定員を24名から25名に変更する。

### 2 利用者の推移

令和6年 3月31日 23名

令和6年 7月31日 1名退所 22名

令和 7年 3月 1日 2名入所 24名  
 令和 7年 3月31日 現在 24名

### 3 利用者の内訳

○出身市町分布

長野市5名 千曲市11名 上田市3 坂城町4名 築北村1名

○性別 男性 18名 女性 6名

○年齢

22歳～56歳 平均年齢39.4歳

20代・・・8名 30代・・・1名 40代・・・10名 50代・・・5名

○障がい種別

全員知的障がい者療育手帳・・・ B1 10名 B2 13名 A1 1名

○その他

男性18名中利用者5名、女性6名中利用者3名が CoCo ホーム千曲（当法人運営 ケアホーム）より通勤

### 4 勤務体制

始業時刻・・・8：40 終業時刻・・・17：10

休憩・・・昼休み（50分）3時休み（20分） 実労時数・・・7時間20分

・年間休日90日・・・繁忙期及び納期の変更等のため、1年単位の変形労働時間制で運営をしている。原則として木曜日・日曜日は休みとした。（希望者は残業も担っている）

### 5 利用者の通勤方法

（1）通勤支援 しなの鉄道戸倉駅と事業所間の送迎を行う 10名

（2）徒歩、自転車、自家用車 13名

（3）公共の路線バスおよび家族の送迎 1名

### 6 通所状況

勤務実態（出勤率）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
84.8%	93.7%	92.7%	91.3%	99.8%	98.3%	99.0%	97.3%	93.7

1月	2月	3月	年平均
95.7%	96.1%	96.2%	94.9%

全体の通所率は前年度平均とほぼ同様。

### 7 利用者の給与

給与は最低賃金を確保するよう努力しているが、労働実態に合わせて労働基準監督署の承認を得て最低賃金の適応除外を受けている方が9名いる。通勤費は実質全額支給、有給休暇付与、社会保険・労働保険全員加入。雇用調整助成金の制度を使用。

○年収の状況

100,000円～1,000,000円	7名	(年度中途入退所者含む)
1,000,001円～1,300,000円	5名	
1,300,001円～1,400,000円	1名	
1,400,001円～1,500,000円	0名	
1,500,001円～1,600,000円	3名	
1,600,001円～1,700,000円	6名	
1,700,001円～1,800,000円	3名	

平均年収 1,371,000円

月額平均 108,000円

(24名 障害者基礎年金受給…2級24名 年間858,000円)

## 8 個別支援計画

プロフィール・アセスメントシート等をひとりひとり作成。ご本人・ご家族・担当職員・所長との個別面談にて「就労継続A型支援計画」を立て、計画に沿って日々の支援を行った。6カ月ごとのモニタリングを実施して見直しをした。

## 9 利用者の作業内容

洗い場 3名 シーツローラー 4名 浴衣ローラー 2名  
多種ローラー 9名 タオルたたみ 5名

○A型利用者は洗い場、ローラーでの作業が主である。実力が付いてきている利用者は、作業場所を固定せずに必要に応じて様々な場所で作業をしている。

中には体力等に応じ軽作業のタオルたたみを担う方もいる。

○利用者は出勤率にもあるように、真面目に日々勤務をして自分の役割を果たしている。猛暑だった7月から10月まで指定された休日以外はほとんど休まずに通所している。ただし、中には能力後退が顕著であり、限られた作業種にしか従事できない方が複数人出てきている。

## 10 職員の指導態勢 総員7名(令和7年3月31日)

所長 サービス管理責任者

生活支援員2名 職業支援員2名(パート1名) 賃金向上達成指導員1名

職業支援員は、個別担当を兼務する支援員とともに各作業部署に配置し、利用者の作業指導を始め利用者に無理な作業(出荷に直接関わる作業など)や残業と次の日の段取り、機械メンテナンス等の作業をしている。

## 11 職員の処遇

服務規程及び賃金規定により処遇している。

障がい者の人権擁護については、平成24年10月の障がい者虐待防止法施行にあたり、特に職員としてあるべき利用者対応・指導方法について、個別指導及び相談に心がけた。

○職員研修については、本年度の実績は下記のように実施した。

[研修実績]

所内研修 工場内における危機管理・安全管理と工場運営について  
障がい者虐待防止・権利擁護養成研修

職員研修 長野県サービス管理責任者更新研修  
クリーニング師研修 その他

主催・実施主体	内容	出席者
長野県知的障がい福祉協会	長野県知的障がい福祉研究大会	3名
長野県障がい者虐待防止・権利擁護研修運営委員会	障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修	1名
全国社会就労センター協議会	全国社会就労センター総合研究大会	1名
高水会・廣望会 長野県社会福祉事業団	三法人ジョイント研修	2名
長野県セルフセンター協議会	工賃向上セミナー	1名
その他	安全運転講習会	1名

## 12 生産活動

取り扱い業務 ホテル・旅館寝具等のクリーニング  
シーツ 掛けカバー 枕カバー クロス類 ナプキン類 浴衣 ガウン  
タオル類 一般クリーニングの受付

協力顧客 (株)戸上リネンサプライ 長野リネンサプライ(株) 信州リネンサプライ(株) 上田市 坂城町 千曲市 労協ながの(つるの湯・福祉健康プラザ) 千曲市高齢福祉課 千曲市福祉課 千曲市子育て支援課(千曲市内保育園4施設) ともいきライフ月影  
山崎建設(株)(白鳥園) 坂城町保育園・南条保育園  
村上保育園

生産状況 ○時間当たりの生産トン数は1.3トンとなっている。

## 13 健康管理

利用者の特性から健康管理には日々のきめ細やかな対応が必要なため配慮をしている。(職員も同じ)

○日々の配慮

出勤前の家庭での検温・健康観察

施設入場時の消毒ルームの設置・検温・指手消毒・健康観察

作業時の巡回指導と職員の直接指導

特定指導、相談

感染症予防のための「手洗い・うがい・消毒」励行のための声かけを常時実施

熱中症、脱水症状の注意喚起と水分補給の呼びかけを常時実施

○特定管理

- ・毎月2回の嘱託医による健康相談

事業合計 延べ100人実施

健康相談時に体重測定、及び血圧測定、必要に応じて体温測定を実施し、経過的に記録をして健康管理に努めている。

生活習慣の相談が主である。また、持病のある方や、体調を崩した方に対しては、健康の維持についてのアドバイス等いただいた。

健康相談では、いつもと違う雰囲気の中で色々なことを相談することができている。普段ご自分のことを伝えることが苦手で、訴えが少ない方も看護師にいろいろと相談ができていた。

- ・健康診断

日本労働福祉協会長野県支部による健康診断 令和6年6月 5日(水)

- ・嘱託医による健康診断

令和7年3月 5日(水)

○家庭連絡 必要に応じて随時行う。病院へのつなぎも行う。

○保健講話

嘱託医による健康診断

令和7年2月12日(水)

講話についてはプリント配布

感染症対策防方法。

○インフルエンザの予防接種実施

令和6年11月29日(火)

## 14 安全・衛生管理

○安全管理

日常、機械操作および安全確認を行っている。工場内の機械設備 安全・危機管理に努める、機械設備の保守点検、管理業務の見直し、危険個所に事故防止のためのガード等設置、作業標準手順書の整備、危険区域、部位に注意喚起表示の設置、機械修理時の標記、動作確認等を行っている。

日常的には、管理者の指示のもとに安全・衛生思想の普及や労災事故防止のための点検等を随時行うとともに、事故防止についての声掛けを継続的に行っている。この他、衛生管理、危険防止として日々施設内外の整備に努めるため、朝礼終了後から作業開始までの時間を利用して、各部署毎に清掃に取り組んだ。

○防災訓練

防災計画により、防災訓練を年度内2回実施した。

① 令和6年 12月25日(水) 消火・通報・避難誘導訓練

② 令和7年 3月 19日(水) 消火・通報・避難誘導訓練

避難誘導訓練においては消防署員より「初期消火の大きさ」と「非常によく訓練されている」と評価がある。

## 15 委託給食

常時利用者 20名

昼食数 年間268日 合計5,360食

検食日誌の記録

利用者の希望・意見の吸収（随時）

誕生日メニューの実施

給食検討会の実施（キッチンC o C o：栄養士・調理員・所長・給食担当）

## 16 QOL活動の実施状況ー就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業と同様ー

- ① 工場稼働日におけるカルチャー教室の実施
  - ・塗り絵・卓球・貼り絵・楽器練習
  - ・季節に応じたミニ行事 「鏡開き」「節分豆まき」
- ② 諸行事の実施および参加
  - ・長野県障がい者スポーツ大会参加（フライングディスク）
- ③ 生活相談支援 随時或は特定して実施 健康上の問題 仲間関係  
経済生活面等 ケースによっては圏域のコーディネーター、  
関係機関とケア会議を行った。
- ④ 家族会の運営 家族会総会 令和6年6月29日（土）CoCo レスト  
家族のつどい令和7年2月23日（日）ホテル犀北館

## 17 地域への開放状況

- ① 千曲市及び周辺市町
  - ・若宮区及び芝原区には区費を納入し区民としての交流をしている。
  - ・千曲・坂城自立支援協議会  
運営委員会 就労・事業所連絡会 さんさんネット部会 地域支援部会  
ケアマネジメント部会 全体会 にZOOM参加
- ②同業者関係  
環境衛生同業組合に加入、情報を得ている。
- ③現場実習の受入れ
  - ・稲荷山養護学校、千曲坂城相談機関センターから体験実習や就職をめざしての実習の受け入れ
  - ・施設研修のための見学受入れ（学校、PTA、県内外の施設、企業等）
- ④ 県及び北信の知的障がい福祉協会の一員として、各会合にZOOM参加した

## 就労継続支援B型

### 1 事業の開始

平成 14 年 4 月 1 日 障害者等共同作業訓練事業を開始する  
 平成 15 年 4 月 1 日 補助金認可され、新たにスタート  
 平成 19 年 4 月 1 日 障害者自立支援法のもと、多機能型事業所となる  
 (就労継続支援 A 型事業・就労移行支援事業)  
 平成 21 年 4 月 1 日 就労継続支援 B 型事業開始 定員 10 名  
 平成 25 年 12 月 1 日 定員を 10 名から 8 名に変更する。  
 平成 30 年 5 月 1 日 定員を 8 名から 10 名に変更する。  
 令和 2 年 4 月 1 日 定員を 10 名から 15 名に変更する。

## 2 (利用者の状況)

令和 6 年 4 月 1 日 12 名  
 令和 7 年 2 月 28 日 1 名退所  
 令和 7 年 3 月 1 日 1 名入所  
 令和 6 年度における総在籍者数 12 名

## 3 利用者の内訳

○出身市町分布 千曲市 9 名 上田市 1 名 坂城町 1 名 長野市 1 名  
 ○性別 男性 9 名 女性 3 名  
 ○障害種別 知的障がい者 9 名 (A 1…1 名 B 1…5 名 B 2…3 名)  
 身体障がい者 1 名 精神障がい者 2 名  
 ○年齢 25 歳～63 歳 平均年齢 43.5 歳  
 10 代…0 名 20 代…2 名 30 代…4 名 40 代…1 名 50 代…3 名  
 60 代…2 名

## 4 作業訓練内容

事業運営日数 268 日 (基本的には木・日の週休 2 日制 他開所日は希望通所)  
 日 課 8:40～17:10 昼休み 50 分 3 時休み 20 分

(基本的には本人希望と体調・体力、家庭環境等状況を見ながら、ご本人にとって無理のない状況で行っている。家族の介護、家事を担っている利用者等もいる)

作業訓練内容 タオル・ガウン・パジャマ・作務衣・ジャージ等のたたみ作業  
 公共温泉施設のマットのクリーニング (回収と配達も)  
 シーツ等投入補助 洗い場仕分け補助

状 況 ・ひとりひとり状況が異なるなかで通所状況も様々である。  
 ・安定的な作業をする方が多数いる一方で、中には、作業の力の停滞が顕著に見られる方もいる。障がい特性や、心理的な部分で支援方法に苦慮をする場面もあり、必要に応じて家庭や相談機関との連携を図っている。  
 ・12 名のうち発達障害・自閉的傾向の方が 4 割の人数である。障がい特性や個性に合わせ専門的な知識や支援方法が必要であり、職員の

支援技術の研さん習得が引き続き課題である。

## 5 利用者の通所方法

- (1) 通所支援 しなの鉄道戸倉駅と事業所間の送迎を行う 3名
  - (2) 徒歩及び自転車 9名
- 事業所において通所費市町補助の申請をサポートしている

## 6 利用者の通所状況

(通所率)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
87.5%	96.7%	98.8%	99.3%	92.3%	99.2%	98.9%	97.7%	97.8%
1月	2月	3月	年平均					
95.1%	99.6%	97.9%	96.7%					

## 7 利用者の工賃支給

《年間平均工賃月額》 25,019円

## 8 個別支援計画

プロフィール・アセスメントシート等をひとりひとり作成。ご本人・ご家族・担当職員・施設長との個別面談にて「就労継続支援B型計画」を立て、計画に沿って日々の支援を行った。6か月ごとのモニタリングを行い見直した。

## 9 職員の指導体制

所長 サービス管理責任者1名  
支援員 4名 (うち1名目標工賃達成指導員)

## 10 健康管理

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業と同様

## 11 給食の提供

希望者には給食を提供した(1食300円) 8名 2,144食  
利用者の希望・意見の吸収(随時)  
誕生日メニューの実施(利用者の誕生日近くに本人の希望メニューによる)  
選択メニューの実施(今年度は特に希望を反映)  
給食検討会の実施(キッチンCoco:栄養士・調理員・所長・給食担当)

## 12 QOL活動の実施状況

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業と同様

## 13 地域への開放状況

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業と同様

第2種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業  
多機能型(就労継続支援B型 生活介護)

## アトリエ CoCo

お陰様で本年度開所より19年目を迎えました。

そんな中、久々に「アトリエCoCoの夏祭り」「アトリエCoCo収穫祭」をオープンイベントとして多くの地域のボランティアの皆さんにご協力いただき、盛大に開催させて頂くことが出来ました。「わかほ福祉まつり」もやはり久しぶりに開催され、地元のひかり学園さんと一緒にステージ発表を始めて行いました。歌とダンスの楽しい発表に大勢の地域のお客様も一緒に歌ったり踊ったりと温かなステージ発表となりました。また、保科小学校との交流会「福祉共育…み～んなどもだち 絆プロジェクト」も前年度よりも更に回数を増やして開催をしました。年度当初に学校の朝礼に呼んでいただき、今までコロナ前に進めていたプロジェクトの紹介とその意義を講演させて頂き、生徒や先生にご理解いただく良い機会となりました。

また、所員のみんなが大変楽しみにしている家族旅行を一泊旅行（ジブリパーク）と日帰り旅行（群馬サファリワールド）を実施しました。総勢136名の参加で、一生懸命遊んできました。家族会総会・家族のつどいも実施し、感染対策は行いつつ通常の運営に戻すよう努めて参りました。就労支援については、仕事は戻っては来ましたが燃料費・材料費等の物価高騰と苦しい運営の中、受託・施設外就労先に交渉をさせて頂き値上げをして頂いたり、農作物等にあつては市場価格に添った価格設定をさせて頂き、所員の皆さんの工賃確保に努めて参りました。

そして社会貢献として、「まいさぼ長野」とも協力体制を取り、生活困窮者への支援も含め、より良い地域社会を築き上げていくために、私たちは障害福祉サービスを提供する事業者として地域の中で何を成すべきかを考え、今後も地域の皆様と様々なるチャレンジをしていこうと考えています。所員の一生懸命働く姿が、互いを思いやるやさしさが、笑顔が、人のこころを変える…誰にも負けないオンリーワンの人間力です。私たちは、地域の中で所員の人間力がいっばいに活かされる支援を築き上げるため、努力を惜しみません。

### 就労継続支援B型事業

#### 1 利用者の推移

令和6年4月1日	2名	入所	
令和6年4月15日	1名	退所	
令和7年3月31日	2名	退所	…在籍者数 38名
			総在籍者数 38名

#### 2 所員の内訳

出身市町村別

長野市 29名 信濃町 2名 須坂市 2名 飯山市 1名 小川村 1名 筑北村 1名  
千曲市 1名 高山村 1名

性別 男 29名 女 9名

平均年齢 40.7歳（令和7年3月31日現在）  
 障がい種別 知的障がい35名 精神障がい3名 身体障がい2名（重複記載）

### 3 通所方法

送迎バス利用 長野駅より9名 大豆島東団地より5名 信濃川田駅より4名  
 川中島駅より3名

家族の送迎 2名

自転車または車（本人運転による） 7名

徒歩 8名

路線バス 0名

### 4 日課について

8：50	通所 着替え
9：00 ～ 9：10	朝会 ラジオ体操
9：15 ～ 10：30	作業
10：40 ～ 12：00	作業
12：00 ～ 13：00	昼食 休憩
13：00 ～ 14：30	作業
14：30 ～ 14：50	休憩
14：50 ～ 15：35	作業
15：35 ～ 15：45	掃除
15：45 ～ 16：00	着替え 帰りの会

※ 土曜日は、活動内容によってさまざまに設定する。自由通所日（作業）の場合は10：00～16：00まで。QOL活動の場合は、活動内容によってその都度設定。

※ 毎週木曜日の午後はカルチャー活動

### 5 通所状況

通所実態（通所率）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
73.7%	73.4%	75.4%	74.1%	60.4%	70.4%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
74.9%	71.8%	70.9%	67.5%	70.9%	71.2%	70.2%

※ 毎週土曜日及び祝日は自由通所日（QOL活動日以外）としているが、通所する所員が固定されている。

※ 月2回ほど土曜日に実施しているQOL活動は、今年度もフードドライブ以外は取り組めなかった。

### 6 個別支援計画について

所員に対して、日々支援を行うにあたって、最も大切となってくるのが個別支援計画である。計画を立てるにあたり、事前にご本人やご家族、関係機関等とのケア会議を開き、アセス

メントを行い、ご本人のこれまでの歩みや、得意なことや苦手に行っていること、日々の行動や日常生活などで配慮することなどを確認し、個別支援計画を立てる。個人個人のニーズは様々であり、出来上がってくる個別支援計画もそれぞれ違う。この個別支援計画が重要な要素、手段となって支援が展開されていく。

また年度途中に個別支援計画の様式を変更した。

## 7 就労活動について

《 年間平均工賃月額 》 31,303 円

【 クリーニングチーム 】 令和6年度 事業総括

【売上目標】 ¥32,000,000 【売上実績】 ¥44,553,923 (対目標額 139%)

「危機管理の徹底！機械も人も体調管理！」

### 【評価及び課題】

#### <評価>

・インバウンド需要の増加が影響し、年間を通して作業量の多い年となったが、その分燃料費・資材費に悩まされた。また資材不足も目立った為、資材の修繕を関係機関に依頼するとともに染み抜き作業も何度か行った。

・日々の作業に追われ、再洗に手が回らず溜まってしまいう現状もあった。  
・染み抜きを溜め込まないよう、当日出た汚れには薬品を塗布し、翌日の品物とまとめて洗うなどして生産性の向上に繋げたい。今後も作業場の清潔を意識し、気持ちよく仕事に向かえる環境を整えることで作業効率、生産性の向上に繋げていきたい。

#### <課題>

・昨年度と比較し、染み抜きの作業量が増加。洗剤の処方変更・作業量の増加によるものと考えられる。  
・残業時間も増えてしまった現状があり、遅番体制を取るなどし作業の効率化にも繋げたい。  
・相変わらず機械の不調にも悩まされた一年。ボイラー故障時はグループ内の工場にて仕上げを依頼することもあった。

#### <来年度に向けて>

・今年度と同様に経費削減の意識を皆で共有するとともに、作業場の整理整頓・生産性の向上について考える。  
・人件費削減・残業時間の短縮も一つの目標とし、効率化・作業人員配置の工夫を徹底する。  
・機械類のメンテナンスを徹底。専門的な知識や応急処置法について学ぶとともに日常の中で異音等の小さな変化に気を配っていく。

【 農作業チーム 】 令和6年度事業総括

【売上目標】 ¥2,300,000 円 【売上実績】 ¥1,902,865 円 (対目標額 82.7%)

「新たな取り組み！個々の能力向上・再確認！！掲げるみんなの可能性！！！」

#### <作業内容>

- ・ジュース用トマト・おおまさりの栽培
- ・年間通じて計画している野菜の栽培
- ・畑管理  
(育苗、野菜の周囲や畝の中の草取り、石取り、草刈り)
- ・収穫
- ・袋詰め等の出荷準備
- ・きのこキャップ  
(年間通じて軽作業より)
- ・花束の販売(仕入れ)
- ・ベーカリーカフェ CoCo・キッチン CoCo・ぱれあ食堂等への配達
- ・その他

#### <評価・課題>

- ・昨年よりも各所で販売をして多くのものを販売できた。昨年度より価格を抑え100円から行い、ものは売れたが売上げが伸び悩んでしまい、目標売上額をクリア出来なかった。
- ・新たな試みを図った。  
おおまさりの栽培及び販路確保  
冬場の作業では、キノコキャップと豆・ポップコーンの選別をうまく行えた。
- ・以前からの継続で、堆肥を重点的に沢山入れる事、雑草対策として野菜に応じてマルチシートを使用した事で出来の良い美味しい野菜を沢山作る事が出来た。
- ・収穫した野菜は売り切るようにし在庫や破棄を減らすこと、セブンイレブン更埴雨宮店や湯～ぱれあを有効活用し売ることが出来た。
- ・家庭通知を行い宣伝、営業することで、所員の家庭からも沢山注文を頂けた。
- ・小豆に関して、例年の反省を活かし雑草処理の対応をし、前年よりも収穫量が増した。
- ・堆肥取りのチームワークが良くなり、所員それぞれが役割をよく理解し、以前よりも時間を短縮して作業を行うことが出来てきている。
- ・各々が自分のやりやすいやり方を考えながら行うことが少しずつ出来てきた。
- ・新たな作業をするにあたり、各々の能力の把握を再度見直す。
- ・B級品大豆・黒豆をベーカリー、ぱれあで販売し好評を得た。

#### <今後について>

- ・新たな品種ヘーゼルナッツに挑戦する。
- ・ジュース用トマトは行わず、おおまさりを増加していく。
- ・農作業班の使える車両を1台増やして欲しい。

現在2台の車輛を使っているが、年々職員及び所員の人数が増えている。(職員5名所員9名計14人)乗れたとしても10人までの為、行けない人がいることになり他班にも迷惑をかけ

てしまう。また車両の確保も前もって行わないといけない。

- ・冬場の作業場の確保 農作業の谷間の時期に新たな作業の模索
- ・前年に引き続き、時期によって作業が重なってしまい、また人員不足等で雑草の処理が追い付かず、収穫量が減ってしまう事がある。マルチシートを有効活用し、出来るだけシートを敷いて対応をしていく。
- ・所員それぞれの特性を活かし、バランス良く作業が出来るように個々の特化した面を見つけ、更なるスキルアップを目指していく。
- ・雨の日や冬場に出来る作業として、軽作業からきのこキャップの作業を分けてもらえることになり継続していく。新たな作業の模索
- ・熱中症対策として、休憩を細かく取り、こまめな水分補給や塩分のある飴の支給等行っていく。
- ・キッチン CoCo、ベーカリーカフェ CoCo、ぱれあ食堂との打合せを行い、なるべく希望に添えていけるようにしていく。
- ・出張販売新規の場所模索

### 【販売活動(出張販売)】

<販売活動報告>

野菜販売全体を見れば売上は落ちてしまい、目標以上には程遠い状況。

#### ☆火曜日…県庁・bota

県庁と bota 少しずつではあるが、固定客がついてきた。

#### ☆水曜日…市役所・ふれあい福祉センター他

今年度も昨年度から続くコロナウイルスの影響で人通りが少なく集客することが厳しい状況が続いた。昨年度同様、早い段階から販売をスタートする事が出来たが、行けない時期が多く、売上は中々伸びなかった。

#### ☆金曜日…長野市社会福祉事務所他

合同庁舎から異動された方や新規の方を獲得した。新鮮な野菜を楽しみにしてくれている常連さん達はいるが、タイミングによって外へ出払ってしまっていたり、同じ野菜が続くと飽きてしまったり…そういったことが理由として考えられる。

#### ☆JAVJAV

市役所等での売れ行き次第だが、不定期で販売させてもらっている。

来るのを待っていてくれる所員さんもいる為、今後も継続して行こうと思う。

#### ☆アトリエ内販売(家庭通知等)

家庭通知での宣伝や、送迎で来た親御さんへの声掛け等で、売上アップへと繋げる事が出来た。来年度も引き続き、宣伝・声掛けを続けていく。

#### ☆キッチン CoCo

今年度は、昨年度よりも売上げが落ちてしまった。連絡等は密にしていたがなかなかニーズに合うことができなかった。だが年度終わり頃から少しずつ注文が入った。

来年度は、ニーズに応えられるようにしていきたい。

### ☆ベーカリーカフェ CoCo

昨年度から関係を立て直し、頻繁に声を掛けることで多くの野菜を使用してもらえ、事が出来たことで、売上は上向きになった。次年度も継続して声を掛けていく。

### ☆ぱれあ食堂

ゆーぱれあに店頭販売に持って行った野菜も使って頂いたりしたことでかなり売上の面で貢献して頂けた。

また野菜販売スペースを移動してもらい、目につきやすい所で行えた結果売上が上がった。

来年度も継続して売り上げを上げていきたい。

### ☆セブンイレブン更埴雨宮店

5月頃から野菜販売スペースを作ってもらい、野菜を定期的に販売した。

徐々に認知された結果売上が上がっていった。

来年度も継続していきたい。

### ☆イベント販売

各イベントでの売れ行きは上々。各イベントへの売れ筋に力を入れる

## 【 軽作業チーム 】 令和6年度事業総括

売上目標…¥2,750,000 売上実績…¥3,082,271 (対目標額 112%)

「ひとりひとりが持てる力を発揮して、輝く軽作業」

#### <作業内容>

- ① 自主生産 ☆ウエス加工・販売 ☆ロンドロール販売
- ② 受託作業 ☆ベーク板のテープはがし (カイシンエレクトロニクス (株) 様より)  
☆きのこキャップ (有)ヤナギハラ産業様より)  
☆脱脂作業 (カイシンエレクトロニクス (株) 様より)

#### <評価及び課題>

##### ①自主生産

###### ☆ウエス加工

- ・ウエス地に切り込みを入れる→割く→糸を取る→ウエスを積み重ねるといった行程をそれぞれ所員の得意なところで分業し、効率よく作業を進めることができた。
- ・数件の新規取引先があった。今後も継続して注文いただけるよう営業していきたい。
- ・ウエスサンプルを作り、チラシを添付して営業活動をしていく。

###### ☆ロンドロールながの販売

- ・リピーターから定期的に注文を頂いて、安定した売り上げが得られた。
- ・各家庭や企業にもチラシを配り、注文をたくさんいただく事ができた。

##### ②受託作業

###### ☆カイシン (ベーク板のテープ剥がし)

- ・入出荷の管理を徹底して計画的に進めることができた。

- ・テープ剥がしの作業性が早まったことで、小さいテープの取り残しが多かった。
- ・週2回（火・木曜日）の入出荷であるが、6月頃からパソコン製造販売の減少に伴い、ベーク版の入荷枚数が減っている。今後も動向を注視しながら皆で協力して作業を進めていきたい。

☆カイシン（脱脂作業）

- ・昨年度より入荷数が減少。作業のない月もあったが、常にできる準備を整えている。
- ・佐川チームと協力しながらスーパーハウスで十分な換気の下で行うことができた。
- ・きれいな仕上げに満足頂いている。

☆きのこキャップ

- ・キャップ掃除が得意な所員、ウレタン外し作業が好きな所員など、それぞれに合った作業内容が行えている。
- ・キャップ掃除のクオリティが向上。検品もほぼ必要ない所員が増えている。

③その他

- ・現在2班に分かれて活動しているが、所員、職員の体制や仕事内容を割り振って、それぞれが活躍出来るように工夫している。
- ・所員と職員の関係が良好でないと何か問題が生じた時に、皆で話し合い解決することができない。お互いを大切にする雰囲気を重んじている。

ウエス 注文先別売上

※ 1kg 396 円にて販売

種類	単位	注文先	数量	金額（円）
シート	kg	カイシンエレクトロニクス(株)	110	43,560
		(株)シンセイ商会	150	54,900
		S&S アドバンステクノロジーズ	70	27,720
		(株)アルカディア	20	7,920
		イーウィングオートリサイクル	10	3,960
		今川自動車板金塗装	0	0
		エア・ウォーター(株)	0	0
		S&S コンポーネンツ	80	31,680
		オート信州(株)	0	0
		オリオン機械(株)	35	13,860
		小林サイクルモーター商会	6	2,376
		(有)小林車両	10	3,960
		佐藤製作所	5	1,980
		(株)鈴木	444	175,824
		タイガー情報機器(株)	60	23,760

		テクノエクセル(株)	0	0
		長野市衛生センター	40	15,840
		長野ジェコー(株)	180	71,280
		南信発電管理事務所	0	0
		信田農業機械センター	0	0
		ワールド開発工業	40	15,840
		若穂農業機械センター	0	0
		和田自動車販売	0	0
		その他	56	22,176
B T (カット)	枚	須坂工場	0	0
		アクアテック	200	79,200
		その他	720 束	285,120
B T			0	0
F T		(有)アリスエック		0
		三浦工業株式会社	160 束	63,360
		その他	0	0
合 計 金 額				944,316

ウエス 月別売上

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
80,388	67,320	75,240	100,870	85,710	93,060	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
61,344	85,930	91,080	110,484	55,440	37,450	944,316

パーク板売上

月	枚 数	金 額 (円)
4	9,594	95,940
5	7,936	79,365
6	5,323	53,235
7	6,740	67,405
8	7,390	73,905
9	6,253	62,530
10	6,844	68,445
11	3,835	38,350
12	2,938	29,380

1	2,736	27,365
2	4,719	47,190
3	9,100	91,000
合 計	73,411	734,110

ロンドロール、ファイル売上金額

月	ロンドロール	ティッシュペーパー	合 計
4	29,760	12,800	42,560
5	34,650	8,400	43,050
6	35,750	0	35,750
7	59,400	1,200	60,600
8	35,750	5,600	41,350
9	29,700	5,000	34,700
10	47,300	9,000	56,300
11	53,350	0	53,350
12	53,900	7,000	60,900
1	22,550	2,500	25,050
2	39,600	7,000	46,600
3	47,850	2,500	50,350
合 計	489,560	61,000	550,560

きのこキャップ売上

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6,495	8,050	10,350	9,200	0	8,330	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
8,050	7,625	5,940	6,425	6,545	6,790	83,800

脱脂作業売上

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
25,200	21,420	18,000	20,700	18,000	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
11,700	28,800	19,800	24,300	16,380	11,970	216,270

その他売上 (アート作品売上)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
9,100	3,960	27,500	1,000	26,000	36,800	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
220,200	10,300	315,100	226,449	204,455	231,430	551,585

\*その他：アート作品、カレンダー売上

### 【 喫茶サロンチーム 】 令和6年度

【売上実績】…¥282,630

- ・所員3名・職員3名で、毎日所員1名・職員1名体制の当番制で行った。
- ・毎日平均11名弱程度のお客さんが来てくれた。最も少ない時は1日5名、多いときには18名ほどの利用があった。
- ・4月から9月までは冷たい飲み物のみの提供、9月から3月までは冷たい飲み物と暖かい飲み物を提供した。
- ・1月にコーヒーメーカーを新調し、新調後はホットコーヒーの注文が増えた。
- ・お菓子も定期的に種類を変えたりして、メニューに飽きがこないように工夫をした。
- ・100円でジュースとお菓子が付くので、お得感があると思う。
- ・お客さんとの会話を楽しんで営業ができた。
- ・時には所員さんの好きなCDをもってきて、曲をかけていつもと雰囲気が変わって良かったと思う。

<今後の課題>

- ・良くない態度で当番を行っている方もいるので、仕事としてやっているという自覚を持たせるように支援を行っていく。
- ・みなさん当番を何年か続けて行っているのでも、以前より指示を出さなくても、スムーズに仕事がこなせるようになってきたので、馴れ合いにならないように気を付けていきたい。
- ・お客さんに対してもう少し感謝の気持ちを込めて、声掛けが出来るようにしていきたい。  
「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」など
- ・色々なアイデアを出し合って、季節感を出したりするなど喫茶サロンの雰囲気をさらにくつろげる空間となるようにし、毎日安定してたくさんのお客さんが来てくれるように頑張る。
- ・常に喫茶サロンがきれいな状態になるように掃除を徹底する。
- ・常連のお客さんが固定されているので、新しく来てくれるお客さんを増やせるような工夫を考える。
- ・今年度は諸事情ありお楽しみメニューを提供できなかった。楽しみにしている方も多いので、来年度はまた提供していきたい。
- ・将来は、アビリンピックに出られるように成長してほしい。

次年度の売上目標は、1か月平均20,000円、年間で240,000円を目指す。

### 【 所外就労チーム 】

☆長野リネンサプライ(株)須坂工場

【売上実績】(R6年度)…¥2,931,500

〈作業について〉

#### ◆実施内容

所員参加人数<3月第4週実績>

月	火	水	木	金
4	4	5	5	5

- ・アトリエ専用の作業場で、ラバーシートの検品・仕分け・たたみ・結束作業を行なった。
- ・アトリエ CoCo 職員を常時1名配置し、作業に集中し品質の安定を保つこと、スピードアップを指導した。

◆運営面

- ・所員さんの適性を見極め、出来る作業を各人に集中して実施していただいている。

◆評価、課題

- ・ラバーシートのたたみ直しは、相当な時間のロスなので、たたみ直しの少ない方法を繰り返し教えていく。前年より1人減により、月が特に人員不足感を感じる。

☆エア・ウォーター

【売上実績】(R6年度) …¥945,128

◆実施内容

所員参加人数<3月第2週実績>(月・水・金のみ実施)

月	火	水	木	金
2		2		2

- ・中国からの材料が入らず、途中中断をはさみながら実施した。

◆運営面において

- ・机に向かい個人で作業する作業であり、集団での共同作業の多いクリーニングに馴染めない障がい特性を持った参加者が実力を発揮でき全体の作業量が増えた。

◆評価、課題

- ・従業員さんからの励ましや声掛けにより、一層の作業意欲に繋がりました。

◆今後に向けて

- ・予告なく作業が切れることも今後予想されるため、切れた時の作業の回しを考えていきたい。

☆ケアプラザ若穂

【売上実績】(R6年度) …¥886,935

所員参加人数<3月第4週実績>(月・水・金のみ実施)

月	火	水	木	金
4		4		4

- ・浴室清掃、シート交換作業。限られた時間内に作業が完了できている。

◆運営面

- ・訪問時に全員で元気な挨拶ができ施設の方に暖かく受け入れていただいている。
- ・シート交換が出来る所員が限られており、風邪等で複数名欠席すると施設職員の方にお手伝いいただくことがあった。

◆評価、課題

- ・分担場所を集中して責任をもって行うことができた。

- ・挨拶を徹底した。事務所だけではなく、職員や利用者さんにも挨拶ができるようになってきた。今後も続けていきたい。
- ・目標時間を決めて、そこに向かってみんなで協力して終わるようにしている。
- ・私語を控え、作業に集中するよう促している。時々私語が増えてしまう人もいたので、今後集中できるようにしていきたい。

### ☆公民館清掃

【売上実績】(R6 年度) … ¥435,600

実施内容

所員参加人数 < 3 月第 2 週実績 > (水・木・金実施)

月	火	水	木	金
	4		3	4

- ・保科(木曜)、綿内(火曜)、川田(金曜)の各公民館の、広間、料理教室、トイレ、廊下、階段、下駄箱の清掃業務。
- ・主に、ほうきの後みんなで水モップまたは、ぞうきんに分かれる。

#### ◆運営面において

- ・週三回で午前中みの作業。
- ・3～4名の所員のチームを組み、職員一人が付き添った。
- ・時間の制約を受けないので休む人が出てもカバーしやすい作業であった。

#### ◆評価、課題

- ・冬は水モップが出来ないので時間が余る。そのため窓拭き等見付け掃除をして夏にできなかったところを隅々まで掃除することが出来た。
- ・地域の若穂公民館をきれいにしていくと言う気持ちを持ち、チームとして取り組めた。

### ☆川田駅・綿内駅トイレ清掃

【売上実績】(R6 年度) … ¥463,980

#### ◆実施内容

所員参加人数 (火・水・金 実施)

月	火	水	木	金
	4	3		4

- ・川田駅・綿内駅トイレ・・・女子トイレ、身障者用トイレの清掃業務
- ・ボランティアで、トイレ・駅の周りのゴミ拾いをしています。

#### ◆運営面において

- ・週3回で1時間での作業
- ・3～4名の所員のチームを組み、職員1人が付き添った。

#### ★評価、課題

- ・それぞれ分担して、便座のブラシ、トイレ内の掃き掃除、洗面台、ゴミ拾いに分かれて責任を持って行うことができた。

・駅を使う方に大きな声で挨拶ができた。今後も続けていきたい。

## ☆【佐川急便】

【売上実績】(R6 年度) …¥667,767

◎昨年度より、仕事のある日のみ佐川へ出向き、それ以外の日は、軽作業チームの板の作業をチームで取り組んだ。板の入荷は多く、佐川所外の委託代より工賃を稼いだ

◎今後についても佐川急便の作業量が増えることは見込めないため、佐川チームとして引き続き板作業を行い、新規の作業を探して行きたい。

## ☆【ばれあ CoCo 食堂】

【売上実績】(R6 年度) …¥4,837,390

### ◆実施内容

所員参加人数(月・火・金 実施<土・日もオープンはしているが所員の實習はなし>)

月	火	水	木	金
1				1

・コロナ禍の影響を受けてはいるものの、今後の展開次第では、時間の拡大や売り上げアップを図りたい

## 8 イベントについて

☆春祭りは所内活動(お花見カルチャー)、夏祭り・収穫祭は4年ぶりにオープンイベントとして実施した。また、所内活動として季節の行事企画を実施した。(12月はクリスマス会・1月は鏡開き・2月は豆まき)

家族旅行は一泊と日帰りの二組に分け実施。日帰りだと参加しやすいという意見も多かった。来年度もそのようにしたい。

## 9 QOL 活動について

☆フードドライブ企画1回だけ実施したに一回も企画できずに終わった。

## 10 カルチャー

☆ 毎週木曜日の午後に、スポーツカルチャー、音楽カルチャー、アートカルチャーに分かれて実施。

☆ カルチャーの時間に年4回大掃除を、年2回防災訓練を行った。

### ◎ スポーツカルチャー

主として南長野運動公園体育館を借り、好きなスポーツを行った。

### ◎ 音楽カルチャー

カラオケとダンス(手遊び)を中心に行った。

### ◎ アートカルチャー

それぞれ課題を決め集中して活動ができた。塗り絵の作品が多かった。

### ◎ その他活動

昨年度に引き続き外部講師を招き、アート活動も行った。その作品を12月の展覧会に出品することができ、所員のモチベーションも上がった。意外なセンスを発揮する所員さん

も見られ、皆の楽しみになっている。

## 11 保健衛生事業

### 健康相談について

日時	:	毎週（火） 13：00～16：00に一人10分程
実施者	:	看護師(嘱託)
実施内容	:	体重測定、血圧測定、健康相談
相談者数	:	毎回 30～33 名程受診。 生活介護の方…毎回 就Bの方 月1回……約10名 3～6ヶ月に1回……約30名

### まとめ

- ・職員に話している事とは別に自分の思いや出来ごとを、健康相談の時間に相談をするという方が多い。家庭や仕事や趣味や休日の出来ごと等。健康相談で、先生と関わる事を楽しみにしている所員さんも多い。
- ・健康相談の結果は、職員の朝会で周知し、緊急の場合は、担当職員と個別に話をしたり、地域生活支援センターや給食係にも相談し、全員で共有した。
- ・健康状態が思わしくない場合は、担当職員から結果を家庭へ報告してもらった。主に通院依頼や血圧や体重が基準値を大幅に上回っている方へ連絡した。肥満については、アトリエだけでなく家庭でも気を配っていただく必要がある。間食や食事の量、運動についての注意点をプリントし配布させて頂いた。
- ・体重が増え続けている方が、何名かいらっしやった。

### AED講習会

日時	:	5月8日（水） 16：30～17：30
実施機関	:	セコム上信越株式会社
実施内容	:	心肺蘇生とAED使用の流れについて

### 健康講話

#### <1回目>

日時	:	5月28日（火） 15：30～15：45
実施内容	:	『かむことと健康』及び『熱中症予防』について

#### <2回目>

日時	:	11月26日（火） 15：30～15：45
実施内容	:	『冬を元気に乗り切りましょう』について

### 健康診断について

#### <1回目>

日時	:	6月13日（木） 13：30～16：30 6月27日（木） 13：30～16：30
実施機関	:	一般社団法人 メディカルチェック

実施内容 : 身長・体重測定、血圧 測定、尿検査、視力検査、聴力検査、  
(血液検査、胸部レントゲン、心電図)、医師による問診

#### <2回目>

日時 : 9月11日(水) 13:30~15:30

9月24日(火) 13:30~15:30

実施者 : 立岩内科小児科医院 看護師

実施内容 : 問診及び聴診

#### インフルエンザ予防接種

##### <一回目>

日時 : 11月18日(月) 13:30~14:30

実施機関 : 立岩内科小児科医院 (医師+看護師の2名)

実施内容 : 予防接種

実施人数 : 84名 (所員+職員+他事業所)

##### <二回目>

日時 : 11月19日(火) 13:30~14:00

(実施機関・内容については同上)

実施人数 : 46名 (所員+職員+他事業所)

#### まとめ (以上、保健行事について)

- ・コロナ感染症は5類に変更され、一連の保健行事は問題なく推進できた。
- ・冬期間に数名コロナ感染症になったが、早めの対応で感染拡大は予防できた。
- ・健康診断事業者のメディカルチェック様とは事前の打ち合わせも細かくでき、スムーズに実施できた。
- ・インフルエンザ問診票…事前にチェックし、問題はなかった。

#### その他の活動について

- ・毎日特に給食前の手洗い・うがい・消毒の実施。
- ・医薬品の管理・補充・整理整頓。ノロ処理セットの用意と管理。
- ・月末の金曜日に上履きを、毎週末に歯ブラシとコップを持ち帰るよう呼びかけ。
- ・AEDの管理。

#### 感染症対策について

- ・コロナウイルス対策 (手指消毒、換気、所員や職員の検温、健康観察等)
- ・マスク着用の励行・3密を避ける・換気の徹底等、基本対策を行った。
- ・健康チェック表の記入、毎朝検温と咳・鼻水等体調の観察をして頂くよう、家庭やホームとも連携を行った。
- ・国の方針を注視しつつ、常に障がい者施設として適切な措置を取るようにした。

#### まとめ (その他活動について)

- ・手洗い、うがい、消毒は給食前に毎日実施できた。
- ・夏場や冬場の着替えや入浴について定期的に声がけをし、清潔を保つようにしていく。
- ・コップ、歯ブラシ、上履きをそれぞれ持ち帰るようにした。お家の方にとっては、交換時期

やニオイの確認等、使い方を把握できたのではないかと思う。

## 12 給食について

### ○保健衛生に関することについて

・コロナ対策として、食べるときに向かい合わないよう、給食当番がイスを片付けてみんなで前を向いて食べた。食べているときは極力話さないよう気を付けた。手すり等の消毒を毎日2回担当者が行っている。

- ・食事前のうがい・手洗い・消毒を徹底した。
- ・熱中症・インフルエンザ・ノロウイルス、食中毒等について、保健衛生係と連携して注意・予防を呼びかけた。

### ○係の活動について

- ・喫食記録については、数のミスを防ぐため二重チェックし厨房に伝える。
- ・毎日の食数を早めに把握するために喫食表を全員に記入してもらう。
- ・喫食表を見て、1日先の喫食数を毎日キッチンにFAXで報告する。
- ・給食のことで気づいたことなどがあれば、早急にキッチンへ伝える。
- ・所外の弁当の数を毎日（木曜以外）FAXで報告する。
- ・各所員さんの残食数をパーセントで記録する。
- ・年2回各所員さんのBMIを記録する。

### ○アレルギー対策について

- ・食品アレルギーによる事故を防ぐために、給食アンケートにて「食物アレルギー」の項目を作り、身体に影響が出る食材や、その症状、度合い、医師からの指示等の確認項目を入れ込む。必ず親御さんに確認してもらい、皆で情報共有を図る。（好き嫌いとはアレルギーを混同している所員さんも多い。アレルギーとはしっかり区別を付けていく）。
- ・実習生の受け入れの際にも、必ず先生に「食物アレルギー」の有無や症状、程度について確認をとり、情報共有を図っていく。

### ○キッチンからの要望

- ・なるべくアトリエの野菜を多く使うようにした。
- ・薬物は虫が付くので、もう少し農薬を増やしてほしい。
- ・冷凍食品をなるべく使わず、手作りのものを提供するようにした。
- ・血圧の高い人は、みそ汁を薄味にして提供している。

### ○来年度新入所員について

- ・4月から新しく新入所員が1名入る。特別配慮なし。

## 13 防災安全について

### ○実施内容・時期

- ・自衛消防団の編成及び調整（4月に見直し及び変更）
- ・職員緊急連絡網の作成（月に見直し及び変更）
- ・避難訓練の実施

◎5月23日(木) ※消防署立ち合い有

☆実施内容：火災発生→通報→避難→消火訓練(実施者：所員2名・職員1名)

◎11月7日(木) ※消防署立ち合い無

☆実施内容：地震による火災発生→避難→消火訓練(実施者：所員2名・職員1名)

消火訓練後 DVD 鑑賞

「火災時あなたならどうする！」社会福祉施設における避難訓練等の方法」

- ・若穂消防署の方と打ち合わせ
- ・消防計画作成(変更)届出書の提出(5月初旬・10月初旬)
- ・消防立ち入り検査の対応
- ・消防点検の実施(毎月実施)
- ・総合点検(年2回実施)丸登電業に依頼

○評価・課題

<避難訓練>

- ・アトリエも地域の避難場所として可能と消防隊員に了解をいただいた。ついでには今年度より避難場所を所内中央(中庭)付近へ変更する。速やかに建物から離れ、ルールを守って避難ができた。しかし、自立歩行困難者や重度障がい者への速やかな対応や把握を考えると事業所に緊急用の車いす3台ほどの確保が必要と思われる。

<消防点検>

- ・避難口、避難経路、消火設備(消火器含む)の場所は、その都度確認して安全な場所を確保していけるようにしたい。今後も継続していく。また、係りだけでなく各作業担当場所でも気づいたことがあればその都度確認を行っていききたい。

#### 14 地域との協働について

※ 前期・後期ともに養護学校実習生を受け入れた。

長野養護学校…4名 長野養護学校すぎか分教室…1名

信大附属長野中学校…1名 信大附属特別支援学校…1名

※ オープンイベントにて、若穂民生委員・若穂更生保護女性会の皆様に屋台補助等のご協力を依頼した

※ 保科小学校との交流会を2度実施したほか、2年生の見学を受け入れた

#### 15 職員研修について

※ 毎朝の打ち合わせ会、職員会議・ケア会議(週1回)を行い、日常の気づきを共有し、自己の支援の振り返りにつとめた。昨年に引き続き、ワークを多く取り入れ、参加者の声を多く拾えた。作業チームのストレングスや5ピクチャーズを行い、売上目標や振り返りができた。また、日常業務の知識及び技術の研鑽につとめた。

※ 全員参加の職員会議を月初めに行うことで、今までにない気づきも生まれた。

また、障がい者虐待防止の研修も行った。

※ 外部の研修は対面研修になったものが多かった

主催・実施主体	研修名	出席者
社会就労センター関係	長野県セルフブロック会議	1名
	福祉就労強化事業「工賃アップ基礎セミナー」	1名
	通常総会研修会	2名
	福祉就労強化事業工賃ステップアップセミナー	1名
長野県知的障がい者福祉協会関係	知障協代表者会	1名
	会計研修	1名
	県知障協総会	1名
	知障協施設長会研修	1名
	強度行動障害研修	各2名
	知障協事務部会	1名
	日中活動支援部会	1名
長野市自立支援協議会関係	支援スタッフ部会	1名
	長野市障害ふくしネット しごと部会（毎月）	1名
	長野市ふくしネット運営部会（毎月）	1名
長野市障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市障害者虐待防止・権利擁護研修会	2名
	苦情対応システム研修会	1名
	虐待防止・権利擁護研修会	2名
長野県・県社協関係	サービス管理責任者研修	1名
	中小企業家同友会	1名
その他	感染症予防講習会	1名
	安全運転管理者講習	1名

## 16 CoCo 家族会ながのについて

- ※ 事務局をアトリエ CoCo 内におき、運営を補佐した。
- ※ CoCo 家族旅行を一泊と日帰りですべて2コース実施した
- ※ 6月に家族会総会、2月に家族のつどいを時間短縮形式で実施した

## 17 職員体制について

所長 1名    サービス管理責任者 1名    目標工賃達成支援員 1名  
 生活支援・職業指導員 10名    事務員 1名  
 看護師(嘱託) 1名    医師(嘱託) 1名    運転手(嘱託) 1名

## 生活介護事業

### 1 利用者の推移

令和6年4月1日                      1名 入所    …在籍者数 26名

令和6年3月

1名 就労継続B型から生活介護へ移行

総在籍数 26名

## 2 所員の内訳

出身市町村別

長野市 22名 須坂市 1名 千曲市 2名 高山村 1名

性別 男 15名 女 11名

平均年齢 31.6歳 (令和7年3月31日現在)

障がい種別 知的障がい 26名 身体障がい 4名 精神障がい 1名 (重複記載)

## 3 通所方法

送迎バス利用 長野駅より 4名 信濃川田駅より 4名 川中島駅より 3名

家族の送迎 13名

バイクまたは車 (本人運転による) 0名

徒歩 2名

路線バス 0名

## 4 日課について

8:50	通所 着替え
9:00 ~ 9:15	朝会 ラジオ体操
9:15 ~ 10:30	作業
10:40 ~ 12:00	作業
12:00 ~ 13:00	昼食 休憩
13:00 ~ 14:30	作業
14:30 ~ 14:50	休憩
14:50 ~ 15:35	作業
15:35 ~ 15:45	掃除
15:45 ~ 16:00	着替え・帰りの会

※ 土曜日は、活動内容によってさまざまに設定する。自由通所日 (作業) の場合は10:00～16:00まで。月2回ほど土曜日に実施しているQOL活動は、11月にフードドライブ一回だけの実施だった。

※ 毎週木曜日の午後はカルチャー活動

## 5 通所状況

通所実態 (通所率)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
83.4%	72.0%	79.0%	74.4%	64.7%	70.0%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
76.0%	75.6%	73.1%	73.3%	68.6%	75.6%	74.5%

※ 所員は概ね元気に安定的に通所しており、通所率は比較的高い。

## 6 生活介護について

生産活動の他に、利用者の重度化に伴い、マンツーマン支援・食事介助、トイレ介助・外出

支援など、個人個人のニーズに合わせた支援を提供している。利用者増に加え、作業スペースを2ヶ所にし、改革を図った。今後についても、利用者の変化に柔軟に対応できる支援体制を整えていきたい。

## 7 個別支援計画について

就労継続支援B型事業と同様

## 8 就労活動について

《 年間平均工賃月額 》 11,584円

### 【 軽作業チーム 】 令和6年度事業総括

売上目標…¥2,750,000 売上実績…¥3,082,271

「ひとりひとりが持てる力を発揮して、輝く軽作業」

#### <作業内容>

- ③ 自主生産 ☆ウエス加工・販売 ☆ロンドロール販売
- ④ 受託作業 ☆ベーク板のテープはがし（カイシンエレクトロニクス（株）様より）  
☆きのこキャップ（㈲ヤナギハラ産業様より）  
☆脱脂作業（カイシンエレクトロニクス（株）様より）

#### <評価及び課題>

##### ①自主生産

###### ☆ウエス加工

- ・ウエス地に切り込みを入れる→割く→糸を取る→ウエスを積み重ねるといった行程をそれぞれ所員の得意なところで分業し、効率よく作業を進めることができた。
- ・数件の新規取引先があった。今後も継続して注文いただけるよう営業していきたい。
- ・ウエスサンプルを作り、チラシを添付して営業活動をしていく。

###### ☆ロンドロールながの販売

- ・リピーターから定期的に注文を頂いて、安定した売り上げが得られた。
- ・各家庭や企業にもチラシを配り、注文をたくさんいただく事ができた。

##### ②受託作業

###### ☆カイシン（ベーク板のテープ剥がし）

- ・入出荷の管理を徹底して計画的に進めることができた。
- ・テープ剥がしの作業性が早まったことで、小さいテープの取り残しが多かった。
- ・週2回（火・木曜日）の入出荷であるが、6月頃からパソコン製造販売の減少に伴い、ベーク版の入荷枚数が減っている。今後も動向を注視しながら皆で協力して作業を進めていきたい。

###### ☆カイシン（脱脂作業）

- ・昨年度より入荷数が減少。作業のない月もあったが、常にできる準備を整えている。
- ・佐川チームと協力しながらスーパーハウスで十分な換気の下で行うことができた。

- ・きれいな仕上げに満足頂いている。

#### ☆きのこキャップ

- ・キャップ掃除が得意な所員，ウレタン外し作業が好きな所員など、それぞれに合った作業内容が行えている。
- ・キャップ掃除のクオリティが向上。検品もほぼ必要ない所員が増えている。

#### ③その他

- ・現在2班に分かれて活動しているが、所員、職員の体制や仕事内容を割り振って、それぞれが活躍出来るように工夫している。
- ・所員と職員の関係が良好でないと何か問題が生じた時に、皆で話し合い解決することができない。お互いを大切にする雰囲気を重んじている。

ウエス 注文先別売上

※ 1kg 396 円にて販売

種類	単位	注文先	数量	金額 (円)
シート	kg	カイシンエレクトロニクス(株)	110	43,560
		(株)シンセイ商会	150	54,900
		S&S アドバンステクノロジーズ	70	27,720
		(株)アルカディア	20	7,920
		イーウイングオートリサイクル	10	3,960
		今川自動車板金塗装	0	0
		エア・ウォーター(株)	0	0
		S&S コンポーネンツ	80	31,680
		オート信州(株)	0	0
		オリオン機械(株)	35	13,860
		小林サイクルモーター商会	6	2,376
		(有)小林車両	10	3,960
		佐藤製作所	5	1,980
		(株)鈴木	444	175,824
		タイガー情報機器(株)	60	23,760
		テクノエクセル(株)	0	0
		長野市衛生センター	40	15,840
		長野ジェコー(株)	180	71,280
		南信発電管理事務所	0	0
		信田農業機械センター	0	0
ワールド開発工業	40	15,840		

		若穂農業機械センター	0	0	
		和田自動車販売	0	0	
		その他	56	22,176	
B T (カット)	枚	須坂工場	0	0	
		アクアテック	200	79,200	
		その他	720 束	285,120	
B T			0	0	
F T		(有)アリスエック		0	
		三浦工業株式会社	160 束	63,360	
		その他	0	0	
合 計 金 額				944,316	

ウエス 月別売上

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
80,388	67,320	75,240	100,870	85,710	93,060	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
61,344	85,930	91,080	110,484	55,440	37,450	944,316

ベーク板売上

月	枚 数	金 額 (円)
4	9,594	95,940
5	7,936	79,365
6	5,323	53,235
7	6,740	67,405
8	7,390	73,905
9	6,253	62,530
10	6,844	68,445
11	3,835	38,350
12	2,938	29,380
1	2,736	27,365
2	4,719	47,190
3	9,100	91,000
合 計	73,411	734,110

ロンドロール、ファイル売上金額

月	ロンドロール	ティッシュペーパー	合 計
4	29,760	12,800	42,560
5	34,650	8,400	43,050
6	35,750	0	35,750
7	59,400	1,200	60,600
8	35,750	5,600	41,350
9	29,700	5,000	34,700
10	47,300	9,000	56,300
11	53,350	0	53,350
12	53,900	7,000	60,900
1	22,550	2,500	25,050
2	39,600	7,000	46,600
3	47,850	2,500	50,350
合 計	489,560	61,000	550,560

きのこキャップ売上

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6,495	8,050	10,350	9,200	0	8,330	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
8,050	7,625	5,940	6,425	6,545	6,790	83,800

脱脂作業売上

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
25,200	21,420	18,000	20,700	18,000	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
11,700	28,800	19,800	24,300	16,380	11,970	216,270

その他売上 (アート作品売上)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
9,100	3,960	27,500	1,000	26,000	36,800	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
220,200	10,300	315,100	226,449	204,455	231,430	551,585

\*その他：アート作品、カレンダー売上

9 イベント活動

就労継続支援 B 型事業と同様

**10 QOL 活動について**

就労継続支援 B 型事業と同様

他に軽作業チームの独自のレクリエーションを月に 2 回程度実施している。

**11 カルチャー**

就労継続支援 B 型事業と同様

**12 保健衛生について**

就労継続支援 B 型事業と同様

**13 給食について**

就労継続支援 B 型事業と同様

**14 防災安全について**

就労継続支援 B 型事業と同様

**15 地域との協働について**

就労継続支援 B 型事業と同様

**16 職員研修について**

就労継続支援 B 型事業と同様

**17 家族会ながのについて**

就労継続支援 B 型事業と同様

**18 職員体制について**

所長 1 名 サービス管理責任者 1 名 就労支援員 1 名

生活支援・職業指導員 11 名 事務員 1 名

看護師(嘱託) 1 名 医師(嘱託) 1 名 運転手(嘱託) 1 名

第2種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業  
多機能型事業所(就労継続支援A型 就労継続支援B型)

## キッチン CoCo

キッチン CoCo は、障害のある人の働く場を提供し、支えていくという就労系の事業所としての役割は担えていると思います。就労継続支援A型事業を実施していることにより、ハローワーク(公共職業安定所)を主に利用等の問い合わせが継続的にあります。

就労継続支援A型を利用しながら一般企業への就職を志している方、就労継続支援A型の継続的の利用を望んでいる方等、多様なニーズのもとでの利用実態があり、就労継続支援A型という事業を障害のある人が各々において自分らしく働くための手掛かりとして頼りにされていることと思います。就労継続支援B型においては、利用されているほとんどの方が地元の方で、ご家庭から近い場所で安心した気持ちで社会とのつながりを持って生活できていると感じています。

今後の利用者の更なる増加の見込みも感じております。就労継続支援A型及びB型の多機能型事業所としての運営体系の下で、障害のある人の個人個人の就労面でのニーズに丁寧に確実に応えることで、個人個人の生活が実り豊かなものとしておこなわれるように今後も貢献していきたいと思っております。

当事業所の利用者たちは、お弁当製造及び販売業務、配達回収業務、法人内の給食提供業務、そして施設外就労等において、それぞれ自らの就労や作業面等での課題に挑み、各々の目的や目標に向かって歩んでいます。

令和7年度もこれまでと同様に事業所全員が協力し合い、個々が持てる力を存分に発揮して事業所運営にあたっていきたいと思っております。

### (利用者の推移)

- ・ 就労継続支援A型事業(定員10名) (総在籍者数 8名)  
令和6年4月 1名入所 …… 在籍者 8名
  - ・ 就労継続支援B型事業(定員10名) (総在籍者数 8名)  
令和6年11月 1名入所 …… 在籍者 8名
- ※ 令和7年3月31日現在  
登録者数16名(就労継続支援A型8名・就労継続支援B型8名)

## 就労継続支援A型事業

### 1 所員の内訳

- (1) 利用者総数 8名 (令和7年3月31日現在)
- (2) 出身市町村別 長野市6名・須崎市1名・高山村1名
- (3) 性別 男性1名・女性7名
- (4) 年齢 48,3歳 (令和6年度末)

- (5) 障がい種別 知的障がい者 3名  
精神障がい者 5名

## 2 通所方法

- (1) 徒歩または自転車 0名  
 (2) バイクまたは車（本人運転による） 5名  
 (3) 公共交通機関利用 3名  
 (4) 送迎 1名(送りのみ)  
 (5) 家族による送迎 0名

## 3 日課について

(基本)

8：15 ～ 12：30まで	着替え 作業 *途中に朝会・休憩あり
12：30 ～ 13：30まで	お昼 休憩
13：30 ～ 16：30まで	作業・掃除・帰りの会等

※作業内容によって個々の終了時間が異なる。

## 4 通所状況

通所実態（通所率）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
96.6%	98.4%	95.6%	96.2%	93.2%	95.2%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
96.7%	93.5%	89.7%	92.6%	95.6%	95.2%	94.9%

## 5 個別支援計画 一就労継続支援B型事業と同様一

個別支援計画は、本人や家族との面談や、必要に応じて関係者等を含めた会議を開くなどして、アセスメントを行い、本人のそれまでの歩みや、得意なことや苦手なこと、日常生活上等で配慮すること等々を確認し、本人の願いをベースに作成しました。

定期的に行う面談の中では本人の思いやニーズを把握し、また面談以外でも、適時に相談を受けたり、日中の中での言動などから変化していく本人の思いをくみ取ったりするよう努めました。生活の面での困り事や希望があった時には、他の機関と連携を取り、必要な動きを個別支援計画に取り込んでできました。

そして6カ月ごとに、利用者の願いに沿った支援計画となっているか本人と確認し合い見直しを行ってきました。

今後も、より良い支援に繋がるように計画的に面談等を行い、意味のある個別支援計画を作成していきたいと思えます。

## 6 就労活動について —就労継続支援 B 型事業と同様—

### 【 お弁当製造、販売、配達作業 】

#### (1) 作業実績及び作業風景等

各所員が意欲的に作業に就いていました。目標を持って作業に取り組み、任されたことは責任を持って行い、分からないことは職員に聞きながら、働くことの楽しさや厳しさ、やり終えた達成感や喜びを感じられていると思います。また、身支度や食品に携わる際の衛生管理や、盛り付けのときの技術や目配り（おかずが決められた所に確実に適量入れられたなど）確認を取りながら進めています。配達の際は、身支度に気をつけ、お客様に挨拶をすることや走らず慌てないよう落ち着いて作業できるように声掛けしています。

平日の昼食を主に、平均 160 食のお弁当を作り、県庁をはじめ各企業様に配達しています。法人内の 8 箇所の事業所の給食の提供も行っており、食数は 210 食位です。また、お客様のご要望に応えた金額と内容で作る特注弁当は内容・値段共に大変喜ばれ、毎年リピートしてくれるお客様も増えてきています。月平均で毎月 3 件ほど注文をいただきました。安心・安全な食材を吟味し、多くの野菜を使って手作り感のあるおいしい弁当をお届けできるよう日々努めてまいりました。

#### (2) 評価及び課題等

今年度も昨年度に引き続き、食材、資材、光熱費等の値上げが止まず厳しい状況でした。質を落とさず原価を抑えられるよう全てにおいて見直しを行い、無駄がないよう全体で意識してきました。また顧客獲得の為、季節に見合ったメニュー構成、食べやすく見た目も良い盛り付けの工夫、味の調整等、課題を改善すべく調理職員でメニュー会議を重ね改良に取り組んできました。

今後も、安心・安全・美味しい食を追求し、食中毒などの事故を起こさぬよう細心の注意と心構えで毎日の作業に取り組んで行きたいと思います。

顧客へのアンケートや全事業所を対象に給食検討会を実施することでお客様のニーズを把握し喜ばれる一食を提供していきたいと思っています。

### 【給与額について】

月	平均給与額	月	平均給与額
4月	100,925 円	10月	112,501 円
5月	110,913 円	11月	101,842 円
6月	96,184 円	12月	105,977 円
7月	109,562 円	1月	102,818 円
8月	102,956 円	2月	98,662 円
9月	97,817 円	3月	101,547 円
平均給与額 1,256,553 円		・ 支払い総額 10,052,423 円	

## 7 カルチャー・衛生講習 —就労継続支援 B 型事業と同様—

### (1) 実施日、実施内容、参加者数等

日付	実施タイトル	参加者数
実施した内容		
4/30 (火)	防災訓練(火災)	15名
調理室からの火災発生の設定で避難経路や避難誘導、消防署への通報までの流れを確認した。		
6/10 (月)	食中毒予防について	6名
厨房内での食品や調理器具の取り扱いの注意事項や自身の衛生管理の重要性について話し合った。		
7/1 (月)	熱中症予防・対策について	7名
配達担当・厨房担当、それぞれの業務中に気をつけることについて話し合う。暑さで体力・気力とも消耗しているので、仕事に支障が出ないように体調管理に気をつけるよう伝える。		
9/21 (木)	厨房作業内容の確認と注意事項	8名
各作業工程における手順の見直しと注意事項の確認を行った。刃物や火気を扱う、常に危険が伴う仕事ということを意識して作業にあたるよう注意喚起した。		
12/26(木)	防災訓練(水害)	17名
洪水時の避難確保計画の説明、および水難時の避難経路の確認を行う。		
2/4 (火)	ノロウイルス感染症予防について	12名
県内でも多く発生していることを受け、感染経路や症状、防止策など話し合った。万が一感染してしまった場合の対処法も再確認した。		

### (2) カルチャー・衛生指導のねらいについて

健康に働き続けていくために、また日常生活を安心して送っていくために、知っておくべき知識や取り組むべき行動等についての学びの時間として行いました。職員が所員から受ける相談ごとや仕事への取り組み方等から課題を拾い上げ、資料を参考にして伝えるようにしました。また、毎年流行する様々な感染症の予防について、再度確認し徹底するよう説明をしました。来年度も所員の日頃の様子から、大事だと思われるものを学びとして取り上げながら行っていきたいと思います。

### (3) 評価及び課題等について

不定期でしたが、季節に応じた配慮・注意すべき内容をテーマに行いました。

特に調理現場においては、食中毒に関する情報が長野県報で送られてくる都度、内容を確認し合ったことで、予防を意識しながら作業に当たっていたと思います。

作業状況や時間の都合等で全員の参加が難しい日もありましたが、不参加だった利用者には後日実施した内容を伝えるようにしました。

来年度も同様の目的で実施していきたいと思います。内容については、所員の希望を聞いたり、職員側で必要と思われるものを考えたりしながら行っていきたいと思います。

## 8 QOL活動 —就労継続支援B型事業と同様—

### QOL活動実施内容

《評価及び課題》

季節のイベントに合わせた内容で企画、実施し季節感を味わいながらとても楽しむことが出来

日付	企画名	参加者数
4/27(土)	飯山「菜の花まつり」・ランチ	9名
5/25(土)	坂城千曲バラ園「バラ祭り」・ランチ	9名
7/20(土)	映画鑑賞「九十歳。何がめでたい」・ランチ	5名
11/10(土)	アトリエ収穫祭	8名
12/14(土)	キッチン忘年会 「カラオケ」	11名
3/15(土)	映画鑑賞「35年目のラブレター」・ランチ	7名

ました。各々しっかりと内容を確認し、自身での参加の選択ができていました。参加人数が多くなると、食事の際の席の予約や移動が大変になってくるので事前に十分な下準備が必要でした。来年度も皆さんの意見を取り入れて計画していきたいと思います。スポーツやカラオケ等でリフレッシュできるものや教養を深めるもの、所員同士の親睦を深めるための親睦会等、できるだけ多岐にわたって実施していきたいと思います。

## 9 保健衛生について —就労継続支援B型事業と同様—

(1) 健康診断について (2回実施)

第1回目 日時 : ①令和6年6月13日(木) 13:30~16:30  
 ②令和6年6月27日(木) 13:30~16:30  
 実施(依頼)機関 : (特非) メディカルチェック  
 実施内容 : 身長・体重測定、血圧測定、尿検査、視力検査、  
 胸部レントゲン  
 対象者のみ…聴力検査、血液検査、心電図  
 医師による触診及び問診  
 受診者数 : 22名受診

第2回目 日時 : 令和6年9月11日(水)及び9月24日(火)  
 実施(依頼)機関 : 立岩内科小児科医院 看護師  
 実施内容 : 触診及び問診  
 受診者数 : 14名受診

その他

第1回目の診断結果が出来次第、データを立岩医院と看護師にお渡しして、ご意見・ご指導を頂きました。頂いたご意見・ご指導は面談や健康相談を通じてご本人達に伝えました。

(2) 健康相談について

嘱託医により、月に2回程度（木曜日）実施しました。

1人15分程度かけて行いました。身体面の不調だけでなく、気持ちの面において、話を聞いてもらったりアドバイスをもらうことで心の安定を図れる人が多くいました。

月	回数	延相談者数	月	回数	延相談者数
4月	2回	23名	10月	2回	20名
5月	2回	22名	11月	2回	22名
6月	1回	12名	12月	0回	0名
7月	2回	23名	1月	1回	10名
8月	1回	11名	2月	2回	22名
9月	1回	12名	3月	2回	24名
実施回数 18回			延相談者数 201名		

(3) 肥満対策について

6月の健康診断において肥満状態にある所員が4名いました。各々肥満に関しては自覚をしているようですが、自宅での食事量や間食の自己管理が難しいと思われます。キッチンCoCoにて提供している昼食はおかずやごはんの量が決まっているので食べ過ぎるということはないのですが、家庭等での食事量や嗜好品等の間食が多めの様です。日常的に適切な量と内容の食事をとることを意識出来るよう三木看護師から健康相談の中でアドバイスをもらうようにしました。職員側からの意識付け等の働きかけはこれからも必要であり、面談や健康相談等を通して行っていきたいです。

(4) 血圧について

毎月の健康相談にて血圧測定を実施してきた中で、血圧が高めの方が4名いました。うち1名はかかりつけの医者から血圧をあげる薬が処方されていたため、通院に同行する支援者に伝え、対応してもらいました。

(5) 救急箱について

風邪薬、胃腸薬、痛み止め、消毒液、絆創膏、かゆみ止め、外傷治療薬、並びに体温計を整えています。業務上、包丁で指を切ることが多く、絆創膏の使用が多かったです。

(6) 服薬支援について

個別に服薬支援を行っている所員が1名います。精神薬の保管は職員が行っています。事務所内に小箱を設置し、一週間分の薬を入れてあります。毎食後に服薬を促しています。

(7) 嘱託医と看護師との連携について

今年度も2回、立岩医院による健康診断、看護師による健康相談を月2回実施しました。健康診断については、第1回目の健康診断の結果のデータを立岩医院と嘱託医にお渡し、診断結果に応じて、各所員個別に指導及び助言等をいただきました。また支援者側に対しても所員個別の健康状態における対応等について指導や助言をいただき、所員の健康管理支援の取り組みにつなげています。

(8) 個別の健康情報について

精神的な疾患を持ち、メンタル面での配慮や支援を必要とする所員が多いです。季節や環境が影響して、精神的に不安定な状態になり、作業に集中できなくなったり、継続しての通所が難しくなる等、それぞれが抱えている症状が出てきて、困ったり苦しんだりする様子も伺えます。日中の様子から所員の状態を把握をするよう努め、必要に応じて静養やかかりつけ医の受診を促しました。休んでいるときも電話や訪問等を行って連絡をとり、状態の確認と把握を行っています。職員間での情報共有を行い、事業所全職員で連携して支援にあたっています。

(9) 衛生講習について

作業及び日常生活での衛生意識の向上を目的として、職員による衛生講習を行いました。(インフルエンザ予防・ノロウイルス予防・熱中症予防・新型コロナウイルス感染予防等)定期的に送られてくる県報の内容を基に、具体的な発生場所や件数、防止策のアドバイス等をテーマに行いました。

(10) 清掃について

清掃については、所員によってそれぞれに応じた支援を受けながら、作業室や生活区域のスペースを担当場所ごとに行いました。特に作業室は、お弁当を作っている箇所であり、常に衛生面を意識して丁寧にしっかりと行いました。

(11) その他

- ① 毎日の朝会において、爪・手指の傷・身だしなみとともに健康状態の確認を行いました。
- ② ノロウイルスやインフルエンザが流行る時期には、朝会や衛生講習等で予防及び対処法について触れ、対処マニュアル等を配布して衛生の徹底に努めました。通所時、外作業から戻った際の手洗いとうがいを習慣づけるよう行ってきました。

【インフルエンザ予防接種】

日時 : ①令和6年11月18日(月) 13:30~14:30  
②令和6年11月19日(火) 13:30~14:30  
場所 : アトリエ CoCo

受診者数 : ① 2名 ② 10名

## 10 給食について —就労継続支援 B 型事業と同様—

- ・給食を楽しみに通所する利用者が多いです。内容は、日替わり弁当とほぼ同じメニューで提供をしています。ご飯・味噌汁共に自分で食べられるだけ盛るようにしたところ残食はほとんどありませんでした。また、自分たちが仕込み・盛り付けをした弁当が商品としてお客様に届くというのは、所員たちのやりがいやモチベーションのアップにつながっている様に感じます。
- ・給食検討会にて、給食に関する情報交換及び共課題検討を行いました。嗜好調査やアレルギー等のアンケートをとり、必要に応じて対応をしてきました。メインの食材にアレルギーのある場合は代替のものを用意する等の配慮をしています。毎日ほとんど残食がありません。

## 11 旅行について —就労継続支援 B 型事業と同様—

### (1)実施内容等

- ①令和6年9月12日(金)・13日(土) 名古屋港水族館&ジブリパークの旅  
5名参加(内職員1名)
- ②令和6年9月20日(金) 群馬サファリパークの旅 8名参加(内職員2名)

### 《評価及び課題》

2 拓のコース選択時から当日まで、旅行の話題が絶えず、皆さんとても楽しみにしていました。泊りのコースが復活したことも嬉しかったようです。通所の利用を開始されたばかりで初めての家族旅行参加となった利用者が2名いました。事前に参加者全員でしおりを確認しながら当日の動きを確認できていたことが良かったです。美味しい食事や買い物と、参加者全員とても楽しく過ごせた旅行となりました。

## 12 防災訓練について —就労継続支援 B 型事業と同様—

### (1) 防災訓練

#### 第1回目(防災)

- ・実施日：令和6年4月30日(金) 12:45~13:00
- ・参加者：所員11名 職員4名 計15名
- ・内容：避難訓練。厨房ガスコンロから火災が発生したと想定して避難訓練を行いました。
- ・反省点：訓練時間に職員数が少なかったため、利用者の避難誘導に時間がかかってしまいました。実際には歩行がゆっくりな利用者はおぶって非難しなければなら

いので、それが可能な職員の動きを確認するなど、事前にもう少し細かな打ち合わせが必要でした。

#### 第2回目(防水)

- ・実施日：令和6年12月26日(木)12:00~12:30
- ・参加者：所員11名 職員6名 計17名
- ・内容：洪水時の避難確保計画の説明、および水難時の避難経路確認
- ・反省点：ハザードマップが1部しか用意してなかったことと、表示が小さく見づらかった為、説明に時間がかかってしまった。  
今後は、人数を分けたり作業時間の調整等をして、実際に避難経路を歩くこともしていきたいです。

#### (2) 消防設備点検

毎月実施しました。業者による総合点検として年に2回(令和6年4月及び10月)実施しました。

#### (3) その他

- ・職員緊急連絡網の作成及び配布。
- ・消火器、非常警報装置、誘導灯、火災探知報知機の設置場所等を確認。

#### 13 地域との協働について —就労継続支援B型事業と同様—

見学や研修を受け入れました。

(特別支援学校等の先生及び生徒、保護者、民生委員、社協関係者、他事業所等)

また、長野市商工会若穂支部様より地域の祭りで販売する品の食材量のカットの依頼を受け大変喜ばれました。

#### 14 職員研修について —就労継続支援B型事業と同様—

- ・出勤の時間が大幅に違うため、厨房職員とその他の職員と二つに分け月1回職員会議を実施し、日常業務の情報交換や支援や作業における知識及び技術の研鑽に努めました。

#### 15 職員体制について

所長	1名
サービス管理責任者	1名
生活支援員	2名
職業指導員	1名
賃金向上達成指導員	2名
看護師(嘱託)	1名
医師(嘱託)	1名

## 就労継続支援 B 型事業

### 1 所員の内訳

- (1) 登録者数 8名 (令和7年3月31日現在)
- (2) 市町村別 長野市 8名
- (3) 男女別 男性3名・女性5名
- (4) 年齢 平均 39.4歳 (令和6年度末)
- (5) 障がい種別 知的障がい者 3名  
精神障がい者 5名

### 2 通所方法

- (1) 徒歩または自転車 6名
- (2) バイクまたは車 (本人運転による) 0名
- (3) 公共交通機関利用 0名
- (4) 送迎 (アトリエ CoCo・グループホーム) 2名
- (5) 家族による送迎 0名

### 3 日課について

8:15 ~ 12:00まで	朝会 作業
12:00 ~ 13:00まで	お昼 休憩
13:00 ~ 15:30まで	作業 掃除 帰りの会等

※利用者の体調や事情等によっては、個別に時間の調整をしています。

※土または日曜日は、作業状況や活動内容によって様々に設定しました。

### 4 通所状況

通所実態 (通所率)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
79.9%	80.1%	87.1%	85.1%	77.9%	81.6%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
73.3%	78.6%	69.6%	70.5%	73.1%	84.5%	78.2%

【 工賃額について 】

◀年間平均工賃月額▶ **26,210円**

## 5 個別支援計画 —就労継続支援 A 型事業と同様—

個別支援計画は、本人や家族との面談や、必要に応じて関係者等を含めた会議を開くなどして、アセスメントを行い、本人のそれまでの歩みや、得意なことや苦手なこと、日常生活上等で配慮すること等々を確認し、本人の願いをベースに作成しました。

定期的に行う面談の中では本人の思いやニーズを把握し、また面談以外でも、適時に相談を受けたり、日中の中での言動などから変化していく本人の思いをくみ取るように努めました。生活の面での困り事や希望があった時には、他の機関と連携を取り、必要な動きを個別支援計画に取り込んでできました。

そして6カ月ごとに、利用者の願いに沿った支援計画となっているか本人と確認し合い見直しを行ってきました。

今後も、より良い支援に繋がるように計画的に面談等を行い、意味のある個別支援計画を作成していきたいと思います。

## 6 就労活動について —就労継続支援 A 型事業と同様—

### 【 お弁当製造、販売、配達作業 】

#### (1) 作業実績及び作業風景等

各所員が意欲的に作業に就いていました。目標を持って作業に取り組み、任されたことは責任を持って行き、分からないことは職員に聞きながら、働くことの楽しさや厳しさ、やり終えた達成感や喜びを感じられていると思います。また、身支度や食品に携わる際の衛生管理や、盛り付けのときの技術や目配り（おかずが決められた所に確実に適量入れられたなど）確認を取りながら進めています。配達の際は、身支度に気をつけ、お客様に挨拶をすることや走らず慌てないよう落ち着いて作業できるように声掛けしています。

平日の昼食を主に、平均 160 食のお弁当を作り、県庁をはじめ各企業様に配達しています。法人内の 8 箇所の事業所の給食の提供も行っており、食数は 210 食位です。また、お客様のご要望に応えた金額と内容で作る特注弁当は内容・値段共に大変喜ばれ、毎年リピートしてくれるお客様も増えてきています。月平均で毎月 3 件ほど注文をいただきました。安心・安全な食材を吟味し、野菜が豊富で手作り感のあるおいしい弁当をお届けできるよう日々努めてまいりました。

#### (2) 評価及び課題等

今年度も昨年度に引き続き、食材料、資材、光熱費等の値上げが止まず厳しい状況でした。その中でも顧客獲得の為、季節に見合ったメニュー構成、味付けや盛り付けの工夫、質を落とさず原価を抑える工夫など課題を改善すべく調理職員でのメニュー会議を重ね取り組んできました。

今後も、安心・安全・美味しい食を追求し、食中毒などの事故を起こさぬよう細心の注意と心構えで毎日の作業に取り組んでいきたいと思っています。

顧客へのアンケートや全事業所を対象に給食検討会を実施することでお客のニーズを把握し喜ばれる一食を提供していきたいと思っています。

## 【 所外就労 】

令和6年度は、1か所のみ委託を受けて行いました。

〈 榎角藤 ワインボトルのラベル貼り 〉

ワインボトルのラベル貼りの作業を委託され、週1回で半日程度行いました。 所員1名が、職員1名の付き添いにて作業にあたりました。作業内容はワインラベルのカットやワインボトルのラベルを貼り、ワインボトルの梱包資材作り等です。 ミリ単位での精密さを求められるものであり、失敗するとやり直しが難しい作業です。集中力を求められ、かなり緊張するものでしたが、一つ一つとても丁寧に仕上げる事が出来ていました。責任ある作業を任せられ、所員の自信にも繋がっています。

## 7 カルチャー・衛生講習 —就労継続支援A型事業と同様—

### (1) 実施日、実施内容、参加者数等

日付	実施タイトル	参加者数
実施した内容		
4/30 (火)	防災訓練(火災)	15名
調理室からの火災発生の設定で避難経路や避難誘導、消防署への通報までの流れを確認した。		
6/10 (月)	食中毒予防について	6名
厨房内での食品や調理器具の取り扱いの注意事項や自身の衛生管理の重要性について話し合った。		
7/1 (月)	熱中症予防・対策について	7名
配達担当・厨房担当、それぞれの業務中に気をつけることについて話し合う。暑さで体力・気力とも消耗しているので、仕事に支障が出ないように体調管理に気をつけるよう伝える。		
9/21 (木)	厨房作業内容の確認と注意事項	8名
各作業工程における手順の見直しと注意事項の確認を行った。刃物や火気を扱う、常に危険が伴う仕事ということを意識して作業にあたるよう注意喚起した。		
12/26(木)	防災訓練(水害)	17名
洪水時の避難確保計画の説明、および水難時の避難経路の確認を行う。		
2/4 (火)	ノロウイルス感染症予防について	12名
県内でも多く発生していることを受け、感染経路や症状、防止策など話し合った。万が一感染してしまった場合の対処法も再確認した。		

### (2) カルチャー・衛生指導のねらいについて

健康に働き続けていくために、また日常生活を安心して送っていくために、知っておくべ

き知識や取り組むべき行動等についての学びの時間として行いました。職員が所員から受ける相談ごとや仕事への取り組み方等から課題を拾い上げ、資料を参考にして伝えるようにしました。

また、毎年流行する様々な感染症の予防について、再度確認し徹底するよう説明をしまし

日付	企画名	参加者数
4/27 (土)	飯山「菜の花まつり」・ランチ	9名
5/25 (土)	坂城千曲バラ園「バラ祭り」・ランチ	9名
7/2 (土)	映画鑑賞「九十歳。何がめでたい」・ランチ	5名
11/10(土)	アトリエ収穫祭	8名
12/14(土)	キッチン忘年会 「カラオケ」	11名
3/15(土)	映画鑑賞「35年目のラブレター」・ランチ	7名

た。来年度も所員の日頃の様子から、大事だと思われるものを学びとして取り上げながら行っていききたいと思います。

### (3) 評価及び課題等について

不定期でしたが、季節に応じた配慮・注意すべき内容をテーマに行いました。

特に調理現場においては、食中毒に関する情報が長野県報で送られてくる都度、内容を確認し合ったことで、予防を意識しながら作業に当たっていたと思います。

作業状況や時間の都合等で全員の参加が難しい日もありましたが、不参加だった利用者には後日実施した内容を伝えるようにしました。

来年度も同様の目的で実施していききたいと思います。内容については、所員の希望を聞いたり、職員側で必要と思われるものを考えたりしながら行っていききたいと思います。

## 8 QOL 活動 一就労継続支援 A 型事業と同様一

### 実施内容

#### 《評価及び課題》

季節のイベントに合わせた内容で企画、実施し季節感を味わいながらとても楽しむことが出来ました。各々しっかりと内容を確認し、自身での参加の選択ができていたと感じました。参加人数が多くなると、食事の際の席の予約や移動が大変になってくるので事前に十分な下準備が必要でした。来年度も皆さんの意見を取り入れて計画していききたいと思います。スポーツやカラオケ等でリフレッシュできるものや教養を深めるもの、所員同士の親睦を深めるための親睦会等、できるだけ多岐にわたって実施していききたいと思います。

## 9 保健衛生について 一就労継続支援 A 型事業と同様一

### (1) 健康診断について (2回実施)

第1回目 日時 : ①令和6年6月13日(木) 13:30~16:30  
 ②令和6年6月27日(木) 13:30~16:30  
 実施(依頼)機関 : (特非) メディカルチェック  
 実施内容 : 身長・体重測定、血圧測定、尿検査、視力検査、  
 胸部レントゲン  
 対象者のみ…聴力検査、血液検査、心電図  
 医師による触診及び問診  
 受診者数 : 22名受診

第2回目 日時 : 令和6年9月11日(水)及び9月24日(火)  
 実施(依頼)機関 : 立岩内科小児科医院 看護師  
 実施内容 : 触診及び問診  
 受診者数 : 14名受診

その他

第1回目の診断結果が出来次第、データを立岩医院.と看護師にお渡して、ご意見・ご指導を頂きました。頂いたご意見・ご指導は面談や健康相談を通じてご本人達に伝えました。

(2) 健康相談について

嘱託医により、月に2回程度(木曜日)実施しました。  
 1人15分程度かけて行いました。

月	回数	延相談者数	月	回数	延相談者数
4月	2回	23名	10月	2回	20名
5月	2回	22名	11月	2回	22名
6月	1回	12名	12月	0回	0名
7月	2回	23名	1月	1回	10名
8月	1回	11名	2月	2回	22名
9月	1回	12名	3月	2回	24名
実施回数 18回			延相談者数 201名		

(3) 肥満対策について

6月の健康診断において肥満状態にある所員が4名いました。各々肥満に関しては自覚をしているようですが、自宅での食事量や間食の自己管理が難しいと思われます。キッチンCoCoにて提供している昼食はおかずやごはんの量が決まっていますので食べ過ぎるということは無いのですが、家庭等での食事量や嗜好品等の間食が多めの様です。日常的に適切な量と内容の食事をとることを意識出来るよう嘱託医から健康相談の中でアドバイスをも

らうようにしました。職員側からの意識付け等の働きかけはこれからも必要であり、面談や健康相談等を通して行っていきたいです。

(4) 血圧について

毎月の健康相談にて血圧測定を実施してきた中で、血圧が高めの方が4名いました。うち1名はかかりつけの医者から血圧をあげる薬が処方されていたため、通院に同行する支援者に伝え、対応してもらいました。

(5) 救急箱について

風邪薬、胃腸薬、痛み止め、消毒液、絆創膏、かゆみ止め、外傷治療薬、並びに体温計を整えています。業務上、包丁で指を切ることが多く、絆創膏の使用が多かったです。

(6) 服薬支援について

個別に服薬支援を行っている所員が1名います。精神薬の保管は職員が行っています。事務所内に小箱を設置し、一週間分の薬を入れています。毎食後に服薬を促しています。

(7) 嘱託医と看護師との連携について

今年度も2回、立岩医院看護師による健康診断・嘱託医による健康相談を月2回実施しました。

健康診断については、第1回目の健康診断の結果のデータを立岩医師と三木看護師にお渡し、診断結果に応じて、各所員個別に指導及び助言をいただきました。また支援者側に対しても所員個別の健康状態における対応等について指導や助言をいただき、所員の健康管理支援の取り組みにつなげています。

(8) 個別の健康情報について

精神的な疾患を持ち、メンタル面での配慮や支援を必要とする所員が多いです。

季節や環境が影響して、精神的に不安定な状態になり、作業に集中できなくなったり、継続しての通所が難しくなる等、それぞれが抱えている症状が出てきて、困ったり苦しんだりする様子も伺えます。日中の様子から所員の状態を把握をするよう努め、必要に応じて静養やかかりつけ医の受診を促しました。休んでいるときも電話や訪問等を行って連絡をとり、状態の確認と把握を行っています。職員間での情報共有を行い、事業所全職員で連携して支援にあたっています。

(9) 衛生講習について

作業及び日常生活での衛生意識の向上を目的として、職員による衛生講習を行いました。

(インフルエンザ予防・ノロウイルス予防・熱中症予防・新型コロナウイルス感染予防等)定期的に送られてくる県報の内容を基に、具体的な発生場所や件数、防止策のアドバイス等をテーマに行いました。

#### (10) 清掃について

清掃については、所員によってそれぞれに応じた支援を受けながら、作業室や生活区域のスペースを担当場所ごとに行いました。特に作業室は、お弁当を作っている箇所であり、常に衛生面を意識して丁寧にしっかりと行いました。

#### (11) その他

- ① 毎日の朝会において、爪・手指の傷・身だしなみとともに健康状態の確認を行いました。
- ② 毎日、通所した際、外作業から帰ってきた際には、インフルエンザ・風邪の予防も含めて、日常的に手洗い及びうがい液でのうがいの習慣づけを行いました。  
インフルエンザに罹患した人が2名いましたが、感染が拡大することはありませんでした。  
朝会や衛生講習等で予防及び対処法について触れ、また予防及び対処マニュアルを配布して衛生の徹底に努めました。

#### 【インフルエンザ予防接種】

日時 : ①令和6年11月18日(月) 13:30~14:30  
②令和6年11月19日(火) 13:30~14:30  
場所 : アトリエ CoCo  
受診者数 : ① 2名 ② 10名

#### 10 給食について —就労継続支援A型事業と同様—

- ・給食を楽しみに通所する利用者が多いです。内容は、日替わり弁当とほぼ同じメニューで提供をしています。自分たちが、仕込み・盛り付けをした弁当が商品としてお客様に届くというのは、所員たちのやりがいやモチベーションのアップにつながっている様に感じます。
- ・給食検討会にて、給食に関する情報交換及び共課題検討を行いました。嗜好調査やアレルギー等のアンケートをとり、必要に応じて対応をしてきました。メインの食材にアレルギーのある場合は代替のものを用意する等の配慮をしています。  
毎日ほとんど残食がありません。

#### 11 旅行について —就労継続支援A型事業と同様—

##### (1)実施内容等

- ①令和6年9月12日(金)・13日(土) 名古屋港水族館&ジブリパークの旅  
3名参加(内職員1名)
- ②令和6年9月20日(金) 群馬サファリパークの旅 8名参加(内職員2名)

《評価及び課題》

2 拓のコース選択時から当日まで、旅行の話題が絶えず、皆さんとても楽しみにしていました。泊りのコースが復活したことも嬉しかったようです。  
通所の利用を開始されたばかりで初めての家族旅行参加となった利用者が 2 名いました。事前に参加者全員でしおりを確認しながら当日の動きを確認できていたことが良かったです。  
美味しい食事や買い物と、参加者全員とても楽しく過ごせた旅行となりました。

## 12 防災訓練について —就労継続支援 A 型事業と同様—

### (1) 防災訓練

#### 第 1 回目

- ・実施日：令和 6 年 4 月 30 日(金) 12:45～13:00
- ・参加者：所員 11 名 職員 4 名 計 15 名
- ・内容：避難訓練。厨房ガスコンロから火災が発生したと想定して避難訓練を行いました。
- ・反省点：訓練時間に職員数が少なかったため、利用者の避難誘導に時間がかかってしまいました。実際には歩行がゆっくりな利用者はおぶって非難しなければならないので、それが可能な職員の動きを確認するなど、事前にもう少し細かな打ち合わせが必要でした。

#### 第 2 回目

- ・実施日：令和 6 年 12 月 26 日(木) 12:00～12:30
- ・参加者：所員 11 名 職員 6 名 計 17 名
- ・内容：洪水時の避難確保計画の説明、および水難時の避難経路確認
- ・反省点：ハザードマップが 1 部しか用意してなかったことと、表示が小さく見づらかった為、説明に時間がかかってしまった。  
今後は、人数を分けたり作業時間の調整等をして、実際に避難経路を歩くこともしていきたいです。

### (2) 消防設備点検

毎月実施しました。業者による総合点検として年に 2 回(令和 6 年 4 月及び 10 月)実施しました。

### (3) その他

- ・職員緊急連絡網の作成及び配布。
- ・消火器、非常警報装置、誘導灯、火災探知報知機の設置場所等を確認。

## 13 地域との協働について —就労継続支援 A 型事業と同様—

- ・見学や研修を受け入れました。

(特別支援学校等の先生及び生徒、保護者、民生委員、社協関係者、他事業所等)  
また、長野市商工会若穂支部様より地域の祭りで販売する品の食材量のカットの依頼を受け大変喜ばれました。

**14 職員研修について** —就労継続支援 A 型事業と同様—

- ・出勤の時間が大幅に違うため、厨房職員とその他の職員と二つに分け月 1 回職員会議を実施し、日常業務の情報交換や支援や作業における知識及び技術の研鑽に努めました。

**15 職員体制について**

所長	1 名
サービス管理責任者	1 名
生活支援員	1 名
職業指導員	2 名
目標工賃達成指導員	2 名
看護師 (嘱託)	1 名
医師 (嘱託)	1 名

第2種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業  
多機能型(就労継続支援B型 就労移行)

CoCoJAVJAV (主)・BakeryCoCo (従)

令和6年度の活動は、前年と同様に進めて参りました。一人ひとりの体調に合わせてながら作業時間や日数の工夫をさせていただきました。これまでも同じようにさせていただいてはおりましたが、定期的に変更を重ねながら、社会参加のできる場として継続して利用していただけるようにしており、半数程度の方が、そのような形で活動しています。これは、利用者の皆さんの年齢とともに、体力や健康管理の必要な状況が増えているということでもあり、徐々に作業内容や活動内容にも変化をつけ多種多様な活動にさせていく必要があるとも言えます。そのなかで皆さんが気持ちよく元気な心で過ごせるように、また、体力維持を図りながら日常の支援を行っております。

JAVJAV・Bakery・CafeCoCoはそれぞれのカラーがあり、活動内容も違いますが、皆さんが頑張りたいこと、やりたいことを応援することは同じです。それぞれの場所で皆さんが力を発揮できるよう、声を掛け合い、お互いの力を高めていかれるよう努めて参ります。

利用者の推移

◇就労移行支援

令和 6年 ……在籍者数 0名  
総在籍者数 0名 (令和7年3月末)

◇就労継続B型支援

令和 6年 5月 1名 退所 ……在籍者数29名  
8月 3名 退所 ……在籍者数26名  
12月 1名 退所 ……在籍者数25名  
令和 7年 2月 1名 入所 ……在籍者数26名  
総在籍者数26名 (令和7年3月末)

就労移行支援事業

1 所員の内訳 (令和7年3月末)

- (1) 出身市町村: 0名
- (2) 性別: 男性 0名/女性 0名
- (3) 年齢層: 0名
- (4) 障がい種別: 0名

2 通所方法

- (1) 徒歩及び自転車等 0名
- (2) 公共交通機関 (バス・電車) 0名
- (3) 家族による送迎 0名

3 日課について

時間	内容
9:00 ~ 10:30	朝礼・ラジオ体操・作業

10:30	～	10:40	午前休憩
10:40	～	12:00	作業
12:00	～	13:00	昼食休憩
13:00	～	14:30	作業
14:30	～	14:50	午後休憩
14:50	～	15:30	作業
15:30	～	15:40	着替え・帰りの会

※月曜日から金曜日を開所とし、土・日曜日は休みとする。土・日曜日に行事等がある場合は開所とする。

#### 4 通所状況

通所実態（一日平均利用者数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	年平均 一人
—	—	—	—	—	—	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
—	—	—	—	—	—	

#### 5 個別支援計画について

就労訓練においてはどのような作業をしていきたいか、どのような活動をしたいかなど面談を踏まえ、目標設定をしている。目標についてはまとめをして評価し、その後の方向性を決めていくようにする。利用者、ご家族の意向と希望をお聞きし、また、こちらからも提案をするなかで日々の生活が充実していかれるように支援を行う。

#### 6 就労活動について

##### 【 クリーニング 】

《 作業内容 》

○ホテル、美容室等のタオル類の水洗いクリーニングを行う

- ・アイテム品：BT・FT・BM・サウナマットなどのタオル品、スリッパ
- ・日帰り温泉施設、ホテル等：客先数15件
- ・美容室：客先数3件

○高齢者施設利用者の私物品ネットクリーニング：4施設

《 全体として 》

- ・美容室のタオル1件、新規に始める

《 就労訓練 》

- ・クリーニング作業では、適材適所、またチャレンジの気持ちのもと各部署にて活動できるようにしている。また、ご本人の意向や状況をみて部署の変更など提案をしている。

##### 【 施設外就労 】

『 長野リネンサプライ（株） 』

《 作業内容 》

- ・新幹線等の車両座席カバー一部の仕上げ補助
- ・月～金曜日の午前：所員3名、職員1名

《 全体として 》

- ・企業での活動は、利用者の皆さんにとって特別な意識をもって取り組んでいた。
- ・一般就労へ向けての第一歩、また、一般就労をしていた方にとっては、自信に繋がっている。

【 一般ドライクリーニング 】

《 作業内容 》

一般のお客様のドライクリーニングの受付、または配達

《 全体として 》

・一般ドライクリーニングの受注量は減少している。家庭で簡単に洗える洋服が増えており、布団なども同様に家庭で洗濯できるように改良されていることが理由としてあげられる。

7 QOL活動、カルチャーについて

〈 活動日・活動内容 〉

月	日	曜日	内 容
4	17	水	お花見
8	9	金	涼む会
9	12・13	金・土	家族旅行（名古屋港水族館とジブリパーク・14名）
	20	金	家族旅行（群馬サファリワールド・3名）
10	6	日	第17回フードドライブ
	30	水	ハロウィン
11	10	日	アトリエ CoCo 収穫祭
12	18	水	クリスマスゲーム大会
	27	金	仕事納めの会
1	6	月	仕事始めの会
	10	金	鏡開き
2	3	月	節分

・上記のとおり実施

8 保健衛生について

《 健康相談 》

実施日：毎月第1火曜日、第3水曜日の9時より

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	9	14	11	9	6	10	8	12	10	14	10	11
	24	29	26	25	29	26	24	28	19	23	20	24

看護師：嘱託医

内 容：血圧・体重測定、日頃の健康や生活の相談

相談者数：毎回8名

・健康や生活面での聞き取りの中から、気になる点については今後の対応や確認を行いながら相談を受けている。

・体重や血圧測定については、健康相談での測定値が日々の健康づくりに役立っている。受診

時などに参考としてお伝えすることもあるため。

#### 《 健康診断 》

令和 6年 6月 13日 (木) メディカルチェックによる健康診断①  
27日 (木) " ②

#### 《 保健総括 》

令和 7年 3月 11日 (火) : アトリエ CoCo 食堂

- ・看護師(嘱託)、他事業所と共同

#### 《 感染症対策・コロナ・インフルエンザ 》

・コロナやインフルエンザに罹患された場合は、医師の指示により対応をしていただいている。集団感染はないが、時々報告がある。

・引き続き感染症対策（出入口での除菌、手洗い、うがい、食堂の除菌等）を講じ、施設内に持ち込まない、という意識のもと対策をしている。昼食時も向き合って食事をとらないように配置し、各テーブルにはアクリルパネルを置いている。

- ・朝の通所時に玄関にて、検温のチェックを行い、体調管理も継続している。

・インフルエンザ予防接種については、利用者へ予防接種の希望を伺い、アトリエ CoCo にて予防接種を受けた。

#### 《 家庭との連携 》

・健康相談や健康診断での結果等について、必要なことを家庭へ報告し連携が取れるようにしている。

- ・服薬されている方は、処方箋の写しを頂いている。
- ・頓服や頭痛薬などの薬については、必要な方はお預かりし管理している。

#### 《 熱中症予防について 》

・水分補給、休憩をこまめに促し、塩飴等を一定時期に配布しながら、暑さを乗り越えた。水分補給では、各部署にウォータージャーを置いて、すぐに冷水を飲めるようにしている。

- ・熱中症対策用の飲料水や冷却シートなども常備している。
- ・着替えを持参し、汗を拭う、顔を洗うなど体温を下げるよう声掛けしながら進めた。

#### 《 常備薬について 》

・常備薬については、急な体調不良への対応（腹痛、胃腸薬、風邪薬）、個人で服薬をしている利用者へは、その薬と常備薬とを確認し、場合によっては常備薬の服薬を避けていただいている。

### 9 給食の提供

- ・希望者に給食を提供（キッチン CoCo より提供）
- ・四季折々に合わせたメニュー、カルチャーに合わせたメニューの提供。
- ・コロナ対策として、食事開始時間をずらすこと、対面にならないよう席の変更と各テーブルのパーテーション設置、次亜塩素酸水の設置、食事以外はマスクを外さない等の対応をしている。

### 10 防災訓練・安全について

- ・消防計画、土砂災害時の避難確保計画、自衛消防団の編成、職員緊急連絡網の作成（変更作

成)

- ・ JAV&Bakery 緊急避難場所：長野市立芹田小学校

〈 防災訓練 〉

- ・ 5月8日（水）防災冊子を観ながら避難行動についての学習会
- ・ 6月19日（火）AM 地震想定による避難訓練
- ・ 7月18日（木）AM 火災想定による避難訓練
- ・ 10月29日（火）13：00頃地震想定による避難訓練

〈 消防設備点検 〉

- ・ 毎月実施
- ・ 総合点検：年2回、4月 1日、10月2日実施、三益消防機材(株)へ依頼

〈 AEDの設置 〉

- ・ AED 講習 5月8日（水）：アトリエ CoCo 食堂
- ・ 緊急時の対応として設置をしている。
- ・ AED取扱いを玄関へも表示し、近隣地域への協力体制も取れるようにしている。

〈 防犯カメラの設置 〉

- ・ 危機管理の面から、防犯カメラの設置を行い、駐車場入り口やその周辺から建物裏側までを覆う形で設置とした。
- ・ 所員、職員の安心安全を守ることはもちろんのこと、地域の安心安全へもつながっている。必要時に警察より確認の問い合わせもある。

## 1 1 地域との協働について

〈 養護学校等の実習生受入れ 〉

月	人数	学校名
6	1名	稲荷山養護

〈 見学・体験者 〉

月	見学者・日にち（人数）	体験者数
7	9日（1名） 26日（3名） 29日（月）	
8	13日（2名）	
9	2日（校外活動の一環として、15名） 25日（1名）	1名
11		1名
12	17日（3名）	
2	3日（1名） 26日（2名）	

〈 その他 〉

- ・ 長野市障害ふくしネット（かつどう部会執行部）

## 1 2 職員研修について

- ・ 朝の職員ミーティング時において職員間の情報の周知、職員会議による学び
- ・ 職員会議での資料として、福祉情報や実践報告などの資料の読み合わせ

〈 職員研修 〉

月	日	曜日	内容	人数
5	31	金	長野県セルフセンター協議会研修会	1
6	14	金	第1回長野市障害者虐待防止・権利擁護研修会	1
7	4	木	関東ブロック研修大会	2
	5	金	〃	2
10	4	金	第2回長野市障害者虐待防止・権利擁護研修会	1
	18	金	第1回ふくしネット全体協議会	1
11	6	水	ふくしネットフェスタ2024	1
1	15	水	第3回長野市障害者虐待防止・権利擁護研修会	1
2	14	金	モラロジー研修	1
	17	月	ふくしネット長野市就労系事業所合同説明会	1
3	24	月	長野市ふくしネット全体協議会	1

### 1.3 家族会について

・アトリエ CoCo、キッチン CoCo、アートカフェ CoCo と共に「CoCo 家族会ながの」として組織、事務局をアトリエ CoCo におく。

- ・CoCo 家族会ながの総会：令和 6年 6月 8日（土）
- ・家族のつどい（ながの、ちくま合同）：令和 7年 2月 23日（日）
- ・役員会：年2回

### 1.4 職員体制について

所長（サービス管理責任者）1名 就労支援員1名 職業指導員1名  
生活支援員1名 看護師（嘱託）1名 医師（嘱託）1名

## 就労継続 B 型支援事業

### 1 利用者の内訳（令和7年3月末）

- (1) 現住所：長野市 26名
- (2) 性別：男性11名／女性15名
- (3) 年齢層：20歳～70歳
- (4) 障がい種別：知的障がい18名 精神障がい7名 身体障がい1名

### 2 通所方法（重複あり）

- (1) 徒歩及び自転車（自動車） 6名
- (2) 公共交通機関（バス・電車） 11名
- (3) 家族の送迎 9名

### 3 日課について

時間	内容
9:00 ～ 10:30	朝礼・ラジオ体操・作業
10:30 ～ 10:40	午前休憩

10:40	～	12:00	作業
12:00	～	13:00	昼食休憩
13:00	～	14:30	作業
14:30	～	14:50	午後休憩
14:50	～	15:30	作業
15:30	～	15:40	着替え・帰りの会

◇CoCoJAVJAV：月曜日から金曜日を開所とし、土・日曜日は休みとする。土・日曜日に行事等がある場合は開所とする。祝日は自由通所日。

◇BakeryCoCo：火曜日から土曜日を開所とし、日・月曜日は休みとする。日・月曜日に行事等がある場合は開所とする。祝日は自由通所日。

#### 4 通所状況

通所実態（一日平均利用者数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	年平均 17.3人
19人	18人	20人	19人	17人	17人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
17人	16人	16人	15人	17人	17人	

#### 5 個別支援計画

就労移行支援事業と同様

#### 6 就労活動について

《 年間平均工賃月額 》 25,137円

#### 【 クリーニング 】

就労移行支援事業と同様

#### 【 パンの製造・販売 】

《 作業内容 》

・パンの製造では、フィリング作りやクロックムッシュ作りの工程の多い作業など利用者の出来る作業を日々増やしながら進めてきた。

・パンの袋詰めは、パンの大きさごとに袋のサイズを変える、やわらかいパンや形の崩れやすいパンなどはゆっくり丁寧に行うなど、気を配りながら行うことが出来た。

・焼菓子製造では、クッキーやラスクなどの製造を行い、焼菓子を一つずつラッピングしたり、ギフト用の箱折りでは一箱ずつ丁寧に行った。

・カフェ業務では、引き続き、感染症対策をしながら通常営業を行った。

・カフェの清掃は、開店前に掃き掃除や、雑巾がけ、机やいすの整頓、塩素拭きを行った。

・外販活動は、感染症対策のため少人数での販売活動とした。

〈 就労訓練 〉

・営業活動は、県や保健所の指針をもとに感染症防止対策を講じた。

・外販活動は、継続的な感染症対策を講じながら、外部での販売活動を行った。様々な方と交流のできる機会でもあり、BakeryCoCoをアピールするチャンスでもある。

- ・朝の健康チェックでは、感染症防止対策の継続、保健衛生と食品衛生を保てるように支援を行い、体調管理をすることで、何かあればすぐに対応できるよう継続している。
- ・様々な作業ができるようにチャレンジする機会を増やし、一人ひとりが活躍できる活動を模索し、取り組んでいただいている。
- ・カフェのドリンク提供では、簡単なドリンクから作り始め、難易度の高いドリンクを作ることができるように段階を踏みながらチャレンジしている。

## 7 QOL活動・カルチャーについて

就労移行支援事業と同様

## 8 保健衛生について

就労移行支援事業と同様

## 9 給食の提供

就労移行支援事業と同様

## 10 防災訓練・安全について

就労移行支援事業と同様

### 11 地域との協働について

就労移行支援事業と同様

### 12 職員研修について

就労移行支援事業と同様

### 13 家族会について

就労移行支援事業と同様

### 14 職員体制について

所長（サービス管理責任者） 1名      職業指導員 2名      生活支援員 3名      就労支援員 1名  
 目標工賃達成指導員 2名      看護師（嘱託） 1名      医師（嘱託） 1名

## 地域活動支援センター事業Ⅲ型（「BakeryCoCo」併設型）

### Café CoCo

#### 1 登録利用者数

◆登録者数： 173名（令和7年3月末）

#### 2 開所状況

◆開所時間：9：30～17：00

◆開所日数：年間延べ 254日

※火曜日から土曜日を開所とし、日・月曜日・休みとする。祝日は不定休にし、利用者がカフェスペースで過ごせる開放日とする。

#### 3 日中活動について

◆カフェスペースの活用

- ・カフェ利用の方の中で、フォローが必要と思われる利用者には、その後に声掛け、相談を行っている。
- ・情報の提供ができるよう、カフェに障がい者福祉関連、健康情報、心の健康に関するリーフ

レットなど置く場所を設置している。

#### ◆地活通信の発送

- ・活動報告や相談受付のお知らせや保健師から季節の健康情報を入れ、カフェ CoCo 通信を月1回登録者に発送している。

#### ◆イベントに関して

- ・手づくり教室では、レジンやグルーガンを使った小物づくり、個人の好きなキャラクターの小物や風鈴を作って、精巧で日々使えるものを作る内容を取り込んだ。
- ・コロナ明け、4年ぶりにカラオケに行くことができた。
- ・コロナ明けに、5年ぶりにCOCOカフェにてミニライブ開催した。
- ・イベントに親子で参加したり、保護者のみが参加というケースもあった。

### 4 作業体験について

◆就労体験受け入れ・精神科入院中・他事業所就労中・無職の方で就労体験したい希望者3名を受け入れた

### 5 相談支援について

#### 【相談内容】

- ・就職活動をしたいが勇気がない。就職活動をするとしたらオープンかクローズにするか
- ・職場での人間関係・仕事量・仕事内容の悩み
- ・通院について医師・薬についての相談・症状、障害そのものの相談
- ・身体・精神症状の悩み（強迫観念・眠れない・腹部症状）
- ・家族の相談（障害の理解がない、会話がでない、息が詰まる、迷惑かけている）
- ・気分の波があり衝動的な相談・鬱の時の寄り添いの面談
- ・主訴について傾聴し、2次的に食事・活動・睡眠に支障をきたしていないか、また、通院や服薬についても聞かせてもらうように心がけている。

### 6 保健衛生について

- ・感染症対策を講じ、安心して活動ができるように配慮を続けている。

### 7 家族との協働

- ・ご家族の様々な想いに寄り添い、利用者さん自身をサポートできるように協力し合いながら支援を行っている。
- ・ご家族からの相談を受けることもある。

### 8 地域との協働

- ・見学や体験などは随時受付をしており、対応させていただいている。
- ・情報提供も含めパンフレットやチラシの掲示、配布を行っている。

### 9 その他

◆危機管理の面から、防犯カメラの設置をしており、利用者さんや職員の安心安全を守ることはもちろんのこと、ご近所の方にとっての安心へもつながっている。

### 10 職員体制について

管理者 1名      支援員 2名      看護師（嘱託） 1名      医師（嘱託） 1名

## 第2種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業

多機能型(就労継続支援 A 型 就労継続支援 B 型 就労移行支援 生活介護)

### スタジオ CoCo

おかげさまで、スタジオ CoCo は平成 27 (2015) 年 4 月の開所から 10 年が経ちました。従たる事業所である CoCo レストも令和 2 (2019) 年 12 月開所から 5 年目に入りました。そして、令和 6 年 4 月には千曲市から地域生活支援センター事業の受託を受け併設型で「地域活動支援センター CoCo レスト」が開所をし、この 1 年間専門性の高いスタッフのもと利用者のみなさんや地域のみなさんに必要とされるセンターとして個性豊かに充実のプログラムで事業を行ってこれてきました。これからも大切な居場所、相談の場として使命を果たしてゆきたいと考えています。

さて、6 年度の就労支援・リネンサプライ事業を取り巻く環境は前年の令和 5 (2023) 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行、コロナ禍から人の往来が自由となり旅行も回復をしてきた年でした。インバウンドが急激な回復を見せ、当事業所が扱うリゾート地の斑尾高原や軽井沢に旅行客の増加がみられました。生産量としては全体で前年比 11.3%ほどの増加となりました。

現在は一般的にも 2018 年以前の水準に 7~8 割程度戻りつつあると言われていています。ただ、コロナ禍で需要が低迷の時期、国や自治体による各種キャンペーンにより比較的安価な旅行が可能であったため現在は物価高騰等との落差を感じ、安く行ける旅行先を選んだり、混雑のない平日を利用するなど旅行の計画も工夫されています。そのため稼働や生産に関しても変化をされていて読みづらい面があると感じています。

令和 6 年度末の利用者数は定員 40 名に対し 33 名。内訳は就労継続支援 A 型 13 名・就労継続支援 B 型 8 名・就労移行支援 1 名・生活介護 11 名です。A 型の利用者の中には 10 年の経験者も多く、作業能力を伸ばすとともに、複数の作業種に挑戦する人も増えています。就労移行支援事業では年間で就労アセスメント利用の方が 4 名ほどいましたが利用には直接つながらず年度末に 1 名が 2 年間の事業を終了することから 7 年度の移行サービス利用者は 0 名となります。

コロナ禍の影響や長く勤められた職員の定年退職に伴う生産・活動現場での支援者、作業員の人員不足も懸念するところではありますが、スタジオ CoCo には 6 年度からは外国人技能実習生 3 名が加わっています。1 名は年度末で実習を終了しましたが、2 名は真摯に実習に取り組み、日本語も学び、障がいのある利用者のみなさんと共に働き事業所内をより元気にしてくれています。

危機管理、安全衛生に努め大きな怪我や事故等もなく運営を行うことができた 1 年でした。

#### ■事業の開始

平成 27 年 4 月 1 日 開所

平成 27 年 6 月 1 日 リネンサプライ・工場の本格稼働開始

#### ■利用者の推移

〈就労継続支援A型事業〉

定員 12 名

年月日	移動状況等	在籍者数
令和6年 4月 1日		12名
5月 24日	1名 入所	13名
令和7年 3月 31日		13名

\*平成27年(2015)4月 定員 14名

令和2年(2020)12月 定員を12名に変更

〈就労継続支援B型事業〉

定員 10 名

年月日	移動状況等	在籍者数
令和6年 4月 1日		8名
4月 30日	1名 自己都合により退所	7名
8月 5日	1名 再入所	8名
8月 18日	1名 自己都合により退所	7名
令和7年 2月 1日	1名 入所	8名
3月 31日		8名

〈就労移行支援事業〉

定員 6 名

年月日	移動状況等	在籍者数
令和6年 4月 1日		1名
9月 9日	1名 入所	2名
11月 16日	1名 自己都合により退所	1名
令和7年 3月 31日		1名

\*平成27年(2015)4月 定員 10名

令和2年(2020)12月 定員を6名に変更

〈生活介護事業〉

定員 12 名

年月日	移動状況等	在籍者数
令和6年 4月 1日	1名 CoCo レスト入所	11名
8月 19日	1名 スタジオ CoCo 入所	12名
9月 30日	1名 スタジオ CoCo 退所	11名
令和7年 3月 31日		11名

\*平成27年(2015)4月 定員 6名

令和2年(2020)12月 従たる事業所 CoCo レスト開所 定員を12名に変更

## 就労継続支援A型事業

### 1 利用者の内訳

出身市町別 長野市 2名 千曲市 8名 上田市 2名 坂城町 1名  
性別 男性 11名 女性 2名  
平均年齢 33歳 (25～44歳/ 20代…2名 30代…10名 40代…1名)  
障がい種別 知的障がい 療育手帳 A1…1名 B1…2名 B2…9名  
精神障がい 精神障がい者保健福祉手帳 3級…1名

### 2 通勤方法

- (1) スタジオ CoCo の送迎バス利用 しなの鉄道戸倉駅と事業所間 5名
- (2) 徒歩及び自転車 1名 (CoCo ホーム三本木より通勤)
- (3) 自家用車 (本人運転による) 4名
- (4) 50CCバイク 1名
- (5) 家族の送迎 2名

### 3 勤務体制

始業時刻 8:40 終業時刻 17:10  
休憩 昼休み (50分) 15時休み (20分)  
実労働時間 7時間 20分  
年間休日 90日以上

- ・繁忙期及び納期の変更等のため、1年単位の变形労働時間制で運営をしている。原則として木曜日・日曜日は休みとした。希望者は残業も行っている。
- ・「就労継続支援A型労働者 就業規則」に準じた運営を行っている。

### 4 出勤状況

通所率

R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9
99.2%	97.4%	97.1%	95.3%	95.7%	98.6%

R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	平均
98.1%	97.9%	95.3%	96.5%	95.1%	97.2%	97.0%

安定して出勤率は高く平均 97.0%。常に 95%以上であった。

昨年度に比べ感染症による欠席者が若干名であったことが大きな要因である。繁忙期においても体調管理に努め心身の健康を保つよう声掛け等々を行った。時季指定有給休暇等を活用して休日の取得や生活面の安定に努めたことで高い通所率に繋がったと考える。

### 5 利用者の給与

給与は、労働実態に合わせ労働基準監督署の承認を得て決定している。現在減額最低賃金の減額特例を受けている方は 6名いる。通勤費は全額支給、有給休暇付与、社会保険・労働保険加入。

○年収の状況

1,200,000 以下 0名

1,200,001円～1,300,000円	1名
1,300,001円～1,400,000円	0名
1,400,001円～1,500,000円	2名
1,500,001円～1,600,000円	1名
1,600,001円～1,700,000円	1名
1,700,001円～1,800,000円	1名
1,800,001円～1,900,000円	1名
1,900,001円～2,000,000円	4名
2,000,001円～2,100,000円	1名
2,100,001円～2,200,000円	0名
2,200,001円～2,300,000円	1名

計 13 名 (令和 6 年 5 月入所 1 名 含む)

平均年収 1,930,292 円

月額平均 149,125 円

障害基礎年金受給状況 2 級 10 名 年間 816,000 円

1 級 1 名 年間 1,020,000 円

## 6 個別支援計画について

通所する利用者一人ひとりの願いに沿った計画を立て日々の支援を行った。計画を立てるにあたりご本人、ご家族との面談や関係機関とのケア会議を経て、アセスメントを行い「就労継続支援A型計画」を立てる。また6ヶ月ごとのモニタリングを行い、見直しを行った。

## 7 利用者の作業内容

洗い場 2名 ホーフロール 5名 シーツロール 4名

浴衣ロール 1名 タオルたたみ 1名

A型利用者は洗い場、仕上げロールでの作業を主としている。中には精神面等の支援の必要性からタオルたたみ・タオルホルダーでの仕事を担う方もいる。適性を見ながら作業種や配置を決めている。経験年数を重ねた利用者も多く1部署だけではなく、多部署で、複数の作業種の習得ができるように挑戦している。反面、様々な支援を講じてはいるが能力的に低下がみられる利用者もいる。

## 8 生産活動

取り扱い業務 ホテル・旅館寝具等のクリーニング

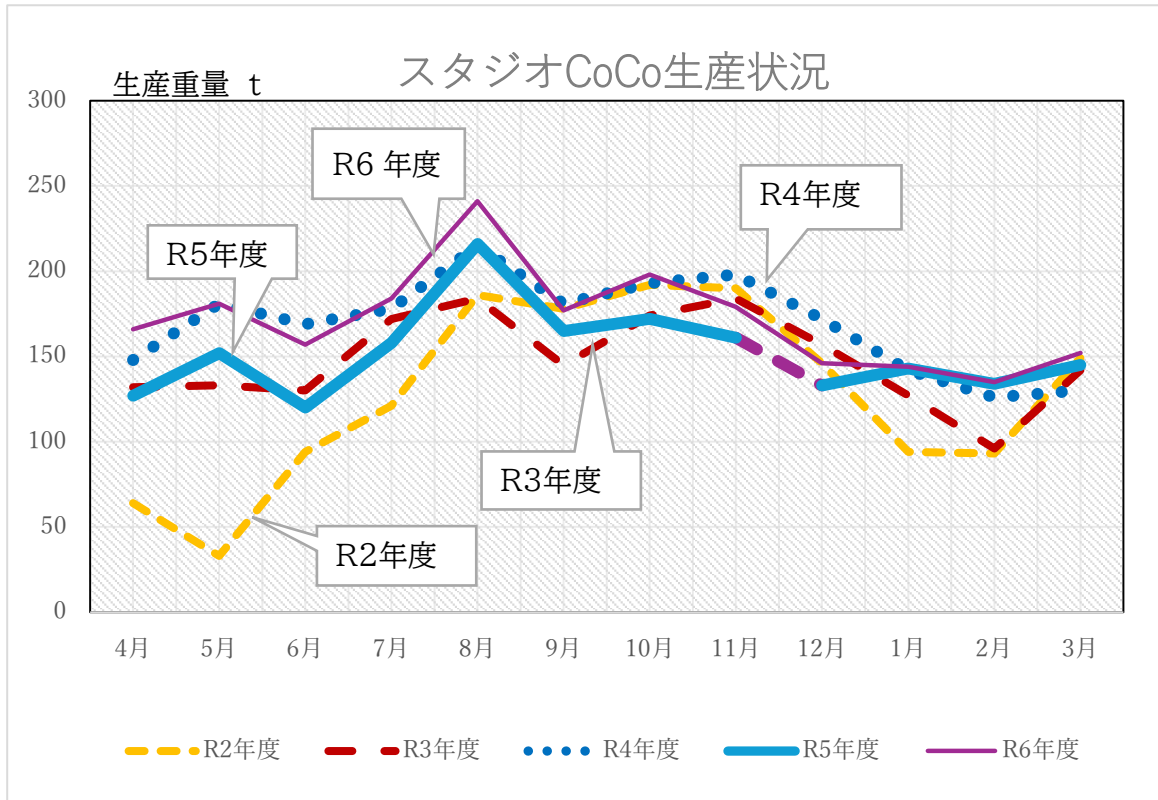
シーツ 掛けカバー 枕カバー クロス・ナプキン類

浴衣 ガウン タオル類 一般クリーニングの取次ぎ

生産状況

令和5(2023)年5月のコロナ5類移行からおおよそ2年。生産量は昨年と比較しておおよそ11.3%増加している。コロナ前の量に戻りつつある。当工場は斑尾高原、軽井沢の一部ホテルあたりはインバウンドの影響を受け夏季などの繁忙期には2018年以前の生産量に近づいている。世の中の旅行意欲が増える状況に合わせ徐々に生産量も増加をする中で人材不足や体力、酷暑といった面で懸念をしていたが、10年間の経験のある利用者の

力や、今年度から受け入れている外国人技能実習生の力を原動力として工夫をしながら運営・稼働することができた。



○月別生産重量

(単位：t)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R1年度	189	206	175	213	264	208	200	208	170	174	157	144	2,308
R2年度	64	33	94	121	186	178	192	190	146	94	93	149	1,540
R3年度	132	133	130	172	184	145	174	184	157	127	96	142	1,776
R4年度	148	181	169	178	215	181	193	198	172	142	126	130	2,033
R5年度	127	152	120	158	216	165	172	161	133	143	134	145	1,826
R6年度	166	181	157	184	241	177	198	179	146	144	135	152	2,060

## 9 配送業務

- ・ 配送担当職員：4名 一部業務委託、派遣、外注にて配送業務を行っている。  
スタジオ CoCo で仕上げをしているリネン品の納品回収を主な業務としている。
- ・ 事業所所有車：6台 (4tトラック2台 2tトラック1台 ハイエース3台)
- ・ 担当エリア：  
長野市内2名 千曲・篠ノ井方面1名 斑尾・上越方面1名 上田市内・業務委託

## 10 健康管理

### (1) 日々の配慮

- ・ 朝会時の健康観察と声掛け
- ・ 作業時の巡回指導と担当職員からの直接指導

- ・特定指導・相談
- ・健康チェック表による日々の体調管理
- ・新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等感染症予防のための「手洗い・消毒・マスクの着用」の徹底。声掛けの常時実施
- ・熱中症、脱水症状の注意喚起と水分・塩分補給等の声掛け・清涼飲料水・保冷剤の支給を  
実

施 経口補水液の常備

- ・看護日誌の記入（生活介護事業）

## (2) 健康相談

日 時：月 1 回 基本的に第 3 金曜日 13:00～15:00

場 所：スタジオ：静養室もしくは食堂・和室 CoCo レスト：ホール

内 容：体重測定・血圧測定・面談による健康相談

状 況

日	人数及び実施状況
4 月 16 日 (火)	11 名 花粉症, 自傷行為のある利用者の相談。他生活介護を中心に実施。
5 月 17 日 (金)	11 名 高血圧の経過確認。体重増加者の食事指導実施。
6 月 14 日 (金)	7 名 生理関連、不眠症の相談。雨季よるアトピーの悪化の相談と指導実施。熱中症対策の指導。
7 月 12 日 (金)	13 名 持病の経過観察 (腰痛、コレストロール、痛風等)。溶連菌感染者後遺症確認。コロナウィルス流行の注意喚起。
8 月	繁忙期のため実施なし
9 月 13 日 (火)	13 名 A型、生活介護を中心に夏バテ気味、熱中症にかかった方の指導実施。
10 月 6 日 (金)	27 名 健康診断実施。
10 月 11 日 (金)	11 名 外反母趾、生理痛、高血圧等の持病の相談。入院治療後の経過観察。
11 月	実施なし
11 月 15 日 (金)	23 名 インフルエンザ予防接種の実施に合わせて健康観察
12 月 20 日 (金)	11 名 脂肪肝の食事指導。喘息、生理痛、手荒れの相談実施。
令和 7 年 1 月 24 日 (金)	9 名 コロナ感染者後遺症確認。他生活介護利用者を中心に実施。
2 月 21 日 (金)	27 名 利用者全員の体重測定・血圧測定等実施
3 月 7 日 (土)	27 名 安里医師の健康診断に合わせて健康観察

\* 健康相談では新型コロナウイルスの罹患者に関しては、通所再開後の経過観察とともに後遺症等の指導を行った。

\* 生活習慣病や持病者の服薬確認、体調確認等の指導を行った。

\*CoCo レストの健康相談は実施人数や移動等の関係から、特別なことがない限りは看護師（常勤）により CoCo レストにて実施をした。内容等については安里医院に報告の形をとらせていただいた。

○まとめ

- ・新型コロナウイルス陽性者や濃厚接触者の方が昨年度よりも減少した。
- ・インフルエンザウイルス、溶連菌感染症の方も若干名いた。
- ・体重の増加については、適度な運動、日頃の食生活などの見直しが必要との指導があった。改善が見られた方もいる。
- ・血圧の高い男性利用者 1 名は毎週月曜日、支援者が個別に計測を行っている。家庭で自分での測定や家族に測定してもらうことが困難な利用者である。記録を残し健康診断や健康相談の際にアドバイスをいただいた。毎月地域の内科を受診し薬を服用している。血液検査等も継続して行う様になった。
- ・通院、服薬をしている利用者の必要な情報や健康診断の結果を医師、看護師に把握していただき必要な指導をいただいた。本人に伝えるとともにご自身での健康管理や対応だけでは不十分と思われる方には事業所からご家庭に連絡を行なった。

(3) 健康診断

〈全日本労働福祉協会による健康診断〉 46 名（利用者名 27 名／19 職員名）

日 時：令和 6 年 1 0 月 4 日（金） 13：45～16：15

実施機関：（財）全日本労働福祉協会

実施内容：身長・体重測定・血圧測定・尿検査・視力検査・聴力検査・  
血液検査・胸部レントゲン、心電図・医師による問診

〈安里医院看護師による健康診断〉 27 名（利用者 29 名）

日 時：令和 6 年 3 月 1 6 日（土） 13：00～14：00

場 所：食堂・和室

○まとめ

- ・医院長、看護師に診断結果を確認いただき、健康相談につなげた。合わせて、就業制限の部分について重労働可否のご教示をいただいた。
- ・結果に「要精検」と出た方には、通知を出し医療機関への通院をすすめた。  
医院長の健康診断の際、特に「減量」「血圧の定期測定」に関して直接利用者に指導を行った。体調や食事の管理は本人だけでは対応が難しく、ご家族の協力等が必要な方がいる。家庭通知などを活用し直接事業所から連絡をしているが、中にはご家庭での支援が得られにくい状況もあり受診などスムーズにいかないケースがある。
- ・利用者のなかでも 40 歳代以上の方の健康管理については特に慎重にみている。化学療法の治療を行っている男性は医師の指示により隔週 1 泊 2 日の入院で治療を受けており、事業所においても通所時には体調確認を行っている。

(4) 〈インフルエンザ予防接種〉 37 名（利用者名 23／職員 14 名）

日 時：令和 6 年 1 1 月 1 5 日（水） 13：00～14：00

○まとめ

- ・予防接種を行うことで、インフルエンザ、風邪に対する予防意識が高まった。

当日接種できなかった方は、安里医院やかかりつけ医で接種をした。

- ・事業所で予防接種を実施していただけるため、受けやすい。

#### (5) 新型コロナウイルス感染症対策

- ・令和5年5月、新型コロナが5類感染症となり制限がなくなったが、5類になった以降に、職員、利用者がコロナに罹患したこともあるので、感染予防、蔓延防止、の観点から健康チェック表を継続して行っており、コロナに限らず自分の健康に関心を持つようにしている。
- ・事業所には「新型コロナウイルス抗原検査キット」を常備している。本人が無症状の場合であっても身近に濃厚接触になり得ると思われる方がいた場合等にも使用できるような体制にしている。
- ・「うつさない うつらない 自分の身は自分で守る」を合言葉にグループ組織・事業所全体で行動指針を遵守し感染防止に努めた。
- ・「手洗い・消毒・マスク」を基本に常に朝会にて予防を訴えた。トイレ、洗面所でのハンドソープによる手洗いと消毒の徹底。1日のうち2回手すり・作業台・台車等のアルコール消毒。会話をする時は距離を置くこと。
- ・マスクの着用については基礎疾患のある方やご自身での手洗い、消毒の徹底が難しい方が多いことから5類移行から1年間は基本的に着用を推奨した。令和6年6月夏を前に着用を個人の判断にすることとした。ただし、冬期間のインフルエンザ感染症のまん延時期には再び着用を促した。
- ・食堂での食事は2交替制を継続し密の状態を回避している。座席はテーブルの並びを並列にして隣の人との間隔をあける。食事中は会話を慎む。  
食後は塩素を含んだ台布巾でテーブルを拭く。食堂は常に窓を開け換気をしている。

#### (6) 健康講話

今年度も集合型での講話の実施はしていない。月毎に嘱託医から「産業医だより」をいただき、掲示等して健康に対する意識付けに努めた。

#### (7) その他

〈利用者の状況〉

##### ○通所状況等

- ・スタジオのB型利用者1名（50代）は令和5年12月から化学療法を行い副作用から通所を控え経過をみてきた。4月に退所をし在宅で過ごしていたが体調が良好で医師の勧めもあり令和6年8月通所を再開。生活介護にサービスを変更し個人カレンダーを用いて治療を中心とした通所日、短時間での日課で通所を行っている。
- ・CoCo レスト女性利用者1名（60代）胃腸不良のため5日間入院する。その後、8日間自宅休養し経過良好のため通所再開した。
- ・レストでは、毎月看護師による健康相談実施。精神面を含めた健康管理に努めている。また、利用者全員にかかりつけ医療機関で健診を受けてもらい、その結果に応じて、千曲市保健センター地区担当保健師、もしくは管理栄養士の指導を受けている。食事指導

が必要な場合は保護者の同席をお願いしている。現在、継続的に栄養指導を受けている利用者を含め3名。

栄養指導を受けた利用者に対しては、昼食時の決まったごはん量の提供、できるだけ体を動かす散歩、ウォーキングなどの活動を導入して運動量を増やす支援を実施している。

- ・精神障がい者の利用者が不安定になった際は、その都度寄り添い対応。服薬コントロールができない利用者には服薬指導、家族支援を行っている。
- ・他害、自慰行為が増強した利用者に対しては、家族支援を行いながら、必要に応じて同行受診し主治医の指示を仰いだ。

#### ○熱中症対策

- ・工場内はクールミスト発生装置ユニットを活用。表面温度を下げ暑さ対策を行なった。
- ・必要に応じてマスク着用を促すが、暑い時期やコロナの低迷期などはマスクをしないで作業を行っている。

#### ○安全衛生委員会の開催

定期的に委員会を行うとともに、従業員全体に安全衛生意識の向上を図っている。

## 11 安全・衛生管理

### ■スタジオ CoCo 安全衛生方針

当事業所は、従業員の安全を第一に考え運営をしています。また、従業員も安全衛生意識を向上させるため朝会・会議などで情報交換を行いOJTで危険箇所周知・不安全作業防止について確認をしています。労災事故が起こらないように安全衛生上の提案を積極的に行う風土を作り上げていきます。

### ■スタジオ CoCo 令和6年度安全衛生目標

労働災害 0

- ① 決まった作業手順を必ず守る。
- ② 相互の安全確保のため、大きな声での掛け声と合図を徹底する。

#### (1) 安全衛生委員会の開催

令和6年は5回の開催となった。労働災害に関する知識を深めるとともに、危険予知トレーニング「KYT」をしながら安全パトロールを行った。交通事故防止・火災防止・地震時の注意等も検討した。

日時	内容
4月16日(火)	前年度のヒヤリハット報告書の確認・対策
9月10日(火)	交通安全
12月23日(月)	ロールの立ち上げ講習
1月10日(金)	洗い場・連洗周辺パトロール
3月24日(月)	結束機の使用方法を学ぶ

#### (2) 安全管理

《事業所・工場》

- ・労働安全衛生手帳（日本リネンサプライ協会発行、全49ページ）の読み合せを平成27年12月11日以降毎日朝礼の中で行っている。気を付けなければならない事を説明し、注意

を喚起し、安全意識の向上に努めている。

- ・停止スイッチの作動確認を現場作業者が毎朝行っている。(平成 27 年 12 月より) 異常があった場合には工場長または洗い場担当者に報告し安全確認を実施している。その他の異常(異音・異臭・蒸気漏れ・エア漏れ)も部署ごとで確認をしている。
- ・朝礼にてヒヤリハットの情報を発表してもらい、対策につなげている。
- ・毎月スタジオ CoCo における安全衛生の重点項目を決めて「今月の安全作業宣言」を掲示している。朝礼で趣旨を理解してもらい事故防止を呼び掛けている。
- ・毎日 12:00~12:10 の時間で部署ごとに清掃を行っている。当番でトイレ・玄関・廊下・食堂、職場の清掃また事業所周辺のごみ拾いや草取りなども行っている。
- ・玄関・トイレ・事務所・食堂・工場の出入り口ドア等の取手、ノブ、電気のスイッチ等をエタノール系消毒液で拭いて感染症の対策をしている。工場内の洗濯後の清潔物を扱う台車、作業台等も消毒液を用いて拭いている。

#### 《交通・車両》

危険運転があった場合ドライブレコーダーで確認。注意を促している。

### (3) 防災訓練

#### ■スタジオ CoCo

令和 6 年度は防災訓練を 2 回実施した。

- ① 令和 6 年 9 月 20 日(金) ・火災避難誘導訓練 ・通報訓練  
・工場洗い場より出火を想定して訓練を行った。初期消火⇒消火係の連絡、支援員の誘導による避難訓練、消防署への通報訓練、水消火器による消火訓練を行った。
- ② 令和 7 年 3 月 12 日(水) ・火災避難誘導訓練  
・工場洗い場より出火を想定して訓練を行った。初期消火⇒消火係の連絡、支援員の誘導による避難訓練を行った。

### 12 委託給食

常時利用者 9 名 (1 食 300 円)

昼食数 令和 6 年 4 月~令和 7 年 3 月 270 日

利用数 2,303 食

検食日誌の記録

利用者の希望・意見収集(都度確認)

利用者の食物アレルギーの調査

お誕生日メニューの実施

給食検討会の実施(キッチン CoCo・栄養士・調理師・スタジオ CoCo 管理者・給食担当)

### 13 QOL 活動の実施状況

#### ○諸行事の実施及び参加

事業所全体で行うものと A 型以外のサービス利用者で行う「スタ☆レク」という形態が定着している。

- ・千曲・坂城自立支援協議会さんさんネット主催「さんきゅーあーと展」に個別での出品、共同作品に参加。

- ・季節の行事「鏡開き」「節分」「お花見」等実施。
- ・千曲川の堤防沿いや近隣地域をウォーキングやきらきら棟にて、You Tube を観ながらのリズム体操や筋力アップの為のトレーニング等を実施。また、個別にて季節の塗り絵等のアート活動を提供。
- ・スタ☆レクではコロナウイルスの感染防止対策を徹底をし、図書館、体育館などの公共施設も利用した。
- ・スタ☆レクへの参加は自由選択とし参加をされない方は生産活動を行った。

月	日	曜日	内容	備考	利用者	他
4	10	水	お花見ウォーキングを楽しもう！	ウォーキング後茶話会	9名	4名
5	15	水	鯉のぼりを見に行こう	科野の里歴史公園	8名	5名
6	26	水	暑い中でも体を動かしてリフレッシュしよう！	ともいきらいふ月影併設体育館	8名	4名
7	19	金	びんぐしの里公園に行こう！	びんぐしの里公園	2名	2名
7	24	水	涼しい図書館で好きな本を読もう	千曲市戸倉創造館	6名	2名
9	24	火	みんなで奉仕活動参加	スタジオ CoCo 近隣道路	8名	4名
10	25	水	オリジナルの色紙作り	スタジオ CoCo 食堂	8名	4名
11	13	火	消防署の見学にいこう！	千曲・坂城消防署	6名	2名
12	10	火	さんきゅーあーと展の共同作品を作りに行こう！	ふれあい福祉センター	6名	2名
1	20	月	さんきゅーあーと展と味噌蔵を見に行こう！	坂城町コミュニティーホール、新田醸造	2名	3名
	22	水	さんきゅーあーと展と味噌蔵を見に行こう！	坂城町コミュニティーホール、新田醸造	7名	2名
2	14	金	レク・体操教室で体を動かそう	ふれあい福祉センター	6名	1名
3	19	水	図書館へ行こう	千曲市戸倉創造館	7名	2名

#### 14 CoCo 家族会ちくま

運営の補佐を行った。

○総会 令和6年6月29日(土) CoCo レスト  
 総会出席者 会員7名 職員4名  
 坂城町 係長  
 事業所紹介

○家族のつどい 令和7年2月23日(日) 長野ホテル犀北館(長野市)  
 CoCo 家族会ながのと合同で開催  
 学習会 危機管理について  
 ジェイアイシーセントラル(株) 今村 典子さん

○役員会 年2回開催

## 15 地域への開放状況

### ① 千曲市及び周辺市町

- ・地域の常会への会費納入
- ・千曲・坂城地域自立支援協議会  
生活部会 はたらく部会 こころ部会 さん・さんネット部会に所属

### ② 現場実習の受入れ

- ・稲荷山養護学校 本校・更級分教室、基幹相談支援センターからの見学および体験実習の受け入れを行った。
- ・実習、見学に際してはCoCo レストや隣接する地域生活支援センターCoCo ちくま/CoCo ホーム三本木の紹介も行い希望に応じて見学を合わせて行っている。

## 16 職員研修について

- ・毎朝の打ち合わせ会、職員会議、生産会議、支援会議を行い、ヒヤリハットをはじめ日常の気づきを共有し、より良い事業運営、生産活動が行えるよう努めた。
- ・毎朝全員で「安全衛生手帳」の読み合わせを行い工場内における危機管理・安全管理と工場運営について学び、確認を行った。
- ・安全衛生委員会においてリネンサプライのみではなく、感染症、防災等多岐にわたる話題や課題について学び合い、毎月の安全衛生宣言に反映させ事業所内で労働および活動をすすめる全ての人に周知を行った。
- ・障がい者虐待防止・権利擁護について学んだ。

主催・実施主体	内容	出席者
長野県	障がい者虐待防止・権利擁護研修	1名
長野県知的障がい福祉協会関係	県代表者会	1名
	北信支部代表者会	1名
	2024年度 関東地区知的障害福祉関係職員研究大会長野大会 2024年度 長野県知的障がい福祉大会	2名
千曲坂城自立支援協議会	・こころ部会・はたらく部会 ・さん・さんネット部会 ・生活部会 ・運営委員会 ・全体会	7名
	○研修会「行動障がいと権利擁護について」(虐待防止研修)	8名
千曲市健康推進課保健センター主催	・こころ健康講座「こころの健康とストレス対処」	4名

## 17 職員体制について

管理者・サービス管理責任者兼務 1名

職業指導員 1名 生活支援員 1名 賃金向上達成指導員 1名

事務員 医師(嘱託) 看護師(非常勤)

## 就労移行支援

### 1 利用者の内訳

出身市町別 千曲市 1名  
性 別 男性 1名  
平均年齢 21歳(20代…1名)  
障がい種別 療育手帳 B2…1名

### 2 作業訓練内容

事業運営日数 270日 (基本的には木・日の週休2日制 他開所日は希望通所)

日 課 8:40～17:10 昼休み 50分 15時休み 20分

(基本的には本人希望と体調・体力等状況を見ながら、ご本人にとって無理のない状況で行っている。)

作業訓練内容 タオルのたたみ作業 タオル・ガウンの袋詰め作業

洗い場での洗濯機投入前補助作業

就職に向けて職場実習・求職活動を行う

状 況

・工場内で就職に向けて作業をした。

・年度内で2名の利用者がいたが共に一般就労に対するイメージがしづらい。

本人の障がい受容の難しさもある。「働く」とは「社会人」とは。体調管理のために薬が重要であることや人間関係の構築の必要性等、基本的なことから伝えている。自立をしたいと強く希望するが生活面、対人面に課題が多く就労には難しいと思われた。

1名は年度途中で退所しデイケアに通う。1名は新年度にはB型へ移籍となった。

### 3 利用者の通所方法

・徒歩 1名

### 4 通所状況

通所率

R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9
90.9%	86.3%	100%	91.3%	63.6%	95.2%

R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	平均
86.3%	90.9%	68.1%	61.9%	63.1%	4.5%	75.1%

・通所率は2名のものである。

・1名は遅刻が多く、生活リズムを整えることから始める必要があった。早退、連絡なしの欠席もあり、徐々に行き渋りも見られるようになり退所となっている。

・1名は対人関係でのトラブルから休養期間がある。また、3月は現実と将来に悩みを持ったり、人とのトラブル回避から本人の意思で自宅にて過ごしている。

## 5 利用者の工賃支給

《年間平均工賃月額》 14,761 円

## 6 個別支援計画について

通所する利用者一人ひとりの願いに沿った計画を立て日々の支援を行った。計画を立てるにあたりご本人、ご家族との面談や関係機関とのケア会議を経て、アセスメントを行い「就労移行支援計画」を立てる。また3ヶ月ごとのモニタリングを行い、見直しを行った。

## 7 健康管理

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

## 8 安全衛生管理

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

## 9 委託給食

希望者には給食を提供（1食 300 円）

常時利用者 1 名

昼食数 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月 259 日

合計 201 食

他 就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

## 10 QOL 活動・スタ☆レクの実施状況

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

## 11 CoCo 家族会ちくま

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

## 12 地域への開放状況

- ・就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様
- ・令和 6 年度は養護学校からの就労アセスメントの要望が 3 件、千曲坂城障害者（児）基幹相談支援センターから 1 件あり応じた。

## 13 職員研修について

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

## 14 職員体制について

管理者・サービス管理責任者兼務 1 名

職業指導員 1 名 生活支援員 1 名 就労支援員 1 名

事務員 医師（嘱託）看護師（非常勤）

支援員は一緒に作業を進め、一人ひとりにあった作業の見極めを行うことや、面談等利用者に寄り添う支援を行った。

## 就労継続支援 B 型

### 1 利用者の内訳

出身市町別 長野市 1 名 千曲市 6 名 坂城町 1 名

性別 男性 4 名 女性 4 名

平均年齢 38.8歳 (24～61歳/20代…4名 30代…0名 40代…2名 50代…1名  
60代…1名)

障がい種別 知的障がい 療育手帳 B1…5名 B2…2名  
精神障がい 精神障がい者保健福祉手帳 2級…1名

## 2 通所方法

(1) スタジオ CoCo の送迎バス利用 しなの鉄道戸倉駅と事業所間 4名

(2) 公共交通機関 戸倉駅から路線バス 1名

CoCo ホーム千曲より 最寄り駅から路線バス 1名

(3) 徒歩 2名 (うち1名は CoCo ホーム三本木より通所)

事業所において通所費市町補助の申請をサポートしている。

## 3 作業訓練内容

事業運営日数 270日 (基本的には木・日の週休2日制 他開所日は希望通所)

日 課 8:40～17:10 昼休み 50分 15時休み 20分

(精神面・体力面で継続しての作業が困難な方、既往症のある方等、体調管理や個別対応が必要な方が多い。相談をしてできるだけ本人の体力等に沿った日課を決めてご自分のペースで作業を行っている。

作業訓練内容 タオルたたみ ガウンたたみ作業 袋詰め作業 洗い場補助 他  
状 況

- ・作業能力には差がある。タオルたたみを中心に得意なこと、不得意なことを見極めながら個別に応じた作業内容で行っている。各人が入所時に比べ、丁寧にきれいにたためるようになった。2名は手先を使った細かい作業が苦手なことや製品の汚れの確認が難しいことから良質の製品仕上げがむずかしい。そのため大きな動きのある洗い場で洗濯物の運搬や仕分けなど補助的な作業を担っている。
- ・集中が持続せずよそ見をしたり、仕事に関わりのない話を頻繁にする方や、他の利用者の言動が気になりすぎる方もいる。
- ・個々の体調に合わせて、ご家族やご本人と話し合いながら、全体の休憩時間のほかにも休憩を設定する等して日課を作り作業を進めている。
- ・生活介護と就労移行支援の仲間と一緒に1回に1回のスタ☆レクを楽しみにして作業のモチベーションにしている利用者もいる。

## 4 通所状況

通所率

R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9
97.4%	92.2%	94.5%	95.0%	90.2%	95.9%

R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	平均
96.1%	92.8%	91.5%	89.8%	92.7%	95.4%	93.6%

- ・個々の精神面等から通所状況は大きく異なる。昨年に続き夏季繁忙時や、年末年始を自由通所日としたが、通所希望はない。木・日曜日は休みとするリズムができています。

## 5 利用者の工賃支給

《年間平均工賃月額》 35,983 円

## 6 個別支援計画について

通所する利用者一人ひとりの願いに沿った計画を立て日々の支援を行った。計画を立てるにあたりご本人、ご家族との面談や関係機関とのケア会議を経て、アセスメントを行い「就労継続支援B型計画」を立てる。また6ヶ月ごとのモニタリングを行い、見直しを行った。

## 7 健康管理

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 8 安全衛生管理

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 9 給食の提供

希望者には給食を提供（1食300円）

常時利用者 6名

昼食数 令和6年4月～令和7年3月 259日

合計 1,254食

他 就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 10 QOL活動・スタ☆レクの実施状況

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 11 CoCo 家族会ちくま

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 12 地域への開放状況

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 13 職員研修について

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 14 職員体制について

管理者・サービス管理責任者兼務 1名 職業指導員 1名

生活支援員 1名 目標工賃達成指導員 1名 事務員 医師（嘱託）

看護師（非常勤）

## 生活介護事業

（主たる事業所スタジオ CoCo 従たる事業所 CoCo レスト）

## 1 利用者の内訳

出身市町別 千曲市 10名 坂城町 1名

性別 男性 5名 女性 6名

平均年齢 40.1歳

(23～68歳/20代4名 30代2名 40代1名 50代3名 60代1名)  
 障がい種別 知的障がい 療育手帳 A1…4名 B1…5名 B2…1名  
 身体障がい 身体障がい者手帳 2級…1名 (知的障がいと重複)  
 4級…1名 (知的障がいと重複)  
 精神障がい 精神保健福祉手帳 1級…1名

## 2 通所方法

- (1) スタジオ CoCo の送迎バスと路線バス利用 しなの鉄道戸倉駅と事業所間 1名
- (2) 最寄り駅から路線バス利用 1名
- (3) 家族の送迎 6名
- (4) 家族の送迎または徒歩 2名 (1名は CoCo ホーム三本木から通所)

## 3 日課

スタジオ CoCo/CoCo レスト 9:00～15:00

通所・朝会・ラジオ体操・気分調べ・生産活動 (タオルたたみ・ウエス作り・カフェ清掃等)

QOL 活動 (ウォーキング・創作活動・各種行事への参加等)

## 4 通所状況

スタジオ CoCo 通所率

R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9
89.3%	87.8%	89.6%	86.9%	86.8%	80.2%

R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	平均
79.2%	74.0%	80.7%	81.2%	72.1%	77.2%	82.0%

- ・週5回通所者3名、週4回通所者1名、週3回通所者2名、  
 通院加療に合わせ不定期個人カレンダーでの通所者1名

CoCo レスト通所率

R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9
75.0%	75.0%	80.0%	72.8%	77.6%	70.2%

R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	平均
76.0%	82.1%	81.2%	75.0%	78.7%	83.3%	77.2%

- ・おおよそ週5回通所者1名、週に4回通所者2名。他、3回程度となっている。  
 通院が頻回な利用者の通所日数は月によって異なる。

## 5 利用者の工賃支給 あり

## 6 個別支援計画

通所する利用者一人ひとりの願いに沿った計画を立て日々の支援を行った。計画を立てるにあたりご本人、ご家族との面談や関係機関とのケア会議を経て、アセスメントを行い「生活介護計画」を立てる。また6ヶ月ごとのモニタリングを行い、見直しを行った。

## 7 生産活動およびその他の活動状況

## ■スタジオ CoCo

### ○クリーニング作業

- ・タオル・ダスターのたたみ作業
- ・ガウン類のたたみ作業
- ・ウエス作り
- ・ピロケース作り
- ・商品の納品・配達業務補助

### ○その他

- ・食堂清掃（全体の清掃時間のほかに行う）
- ・昼食前のテーブル拭き、床の消毒
- ・事業所内のドアノブ等の消毒

- ・生活介護事業利用者の作業については作業室ときらきら棟にて実施。

作業室ではタオル・ダスターたたみとガウンのたたみ作業を主としている。丁寧できれいな製品作りをすることができる。自分たちで行うことがわかっていて、品物をみると率先して作業にとりかかることができる。

- ・障がい特性や個性に応じタイマーや枚数を表示するカード、ボード、写真や支援カード等を活用している。

声掛けだけでは難しい場合には、工程および日課を視覚化し、日課を見える化し提示している。また、パーテーション等を使用しての構造化や、作業の効率化を図るため、集中できるように環境を整備及び調整を図っている。着座での作業の方もいる。

- ・今年度は自立支援課題も取り入れている。
- ・ウエスの販売については継続して受注のある企業に販売を行なった。

◎令和6年度売上 28,200円（昨年比 +6,600円）

### 〈その他の活動 QOL等〉

#### ○主な内容

QOL活動（散歩、体操、ダンス、園芸活動、創作活動など）

毎月スタ☆レク（室内活動、野外活動）

CoCoレストとのレクリエーション交流

千曲・坂城地域自立支援協議会主催 さんさんネット合同作品展への出品

- ・スタジオではタオルたたみやウエス作りの通常の作業に加え、園芸作業（草取り、畑整備、石拾い、種まき、水やり、花の栽培など）スタ☆レクでの新しい企画を充実。

- ・近隣の文化施設や公園、観光名所等へも外出をしている。生活介護のメンバーの中でも1対1での支援が必要な方、複数人で集団行動が可能な方、移動に係る時間や介助等を考慮しながら、時にはチーム分けをして行うなど工夫をした。

今後も利用者の希望も取りながら楽しさと学びのあるレクリエーションを考えていきたい。

## ■CoCo レスト

### ●軽作業

- ・カフェ運営補助  
店内掃除・消毒  
環境整備：窓拭き、花苗の水くれ・手入れ、周囲のゴミ拾いなど  
カフェ注文表、カフェカードなど切り  
手作りショッピング袋作り
- ・ウエス作り（掃除用、消毒用）
- ・新聞紙ゴミ袋作り
- ・自主製品作り  
（手作りウッドピンチ、布製品、素鉢のリメイクし花苗、観葉植物をセットにして販売）
- ・パンの配達：週1日（金曜日）市内介事業所（1カ所）にパンの配達を行っている。
- ・カフェイベント景品作り
- ・イベントに出店  
自立支援協議会全体会
- 個人活動  
散歩、ウォーキング、映画鑑賞、動画（YouTube）鑑賞、音楽鑑賞、脳トレ、塗り絵、創作活動など本人がやりたい、やってみたいと思う活動を提供。  
千曲・坂城地域自立支援協議会さんさんネット企画　さんきゅーあーと展の作品作り
- 調理実習  
毎週木曜日は季節感や好みを考慮しながらメニューを考え、利用者と一緒に楽しく温かい昼食作りを行っている。
- レスト♡レク  
もちつき大会、お花見、利用者の誕生日会、おやつ作り、クリスマス会、しめ縄作り等
- その他の活動
  - ・トールペイント教室、ハンドマッサージ
  - ・外出

図書館や障害者手帳で利用できる市内施設や、利用者が行ってみたいところに積極的にでかけた。
- レク・スポーツ交流  
生活介護と地活合同で実施。  
千曲市社会福祉協議会と連携して毎月ボッチャ、モルックなど開催。  
合計11回、延べ185人参加
- 社会参加交流活動
  - ・千曲・坂城自立支援協議会さんさんネット部会主催さんきゅーあーと展交流会に参加  
個人作品を出品し展示会を見に行く。
  - ・だがし家「らそ」（長野市松代）見学及び交流
  - ・千曲市基幹地域包括支援センターより認知症週間会場装飾の依頼を受け、地活と協力して大きな作品を完成させ会場見学に行く。
  - ・就労継続支援B型事業所チューリップの家見学及びイベント参加

- ・障がい者スポーツ支援センター長野「サンスポートながの」レク・体操教室に参加
- ・千曲市オレンジカフェ（認知症カフェ）とのクリスマス会

●学習会に参加

- ・精神障がい者当事者の会「ひこばえの会」体験発表
- ・千曲・坂城地域自立支援協議会全体会

だれもが暮らし良いやさしい町を目指して

～ONE TEAMみんなでつくろう地域のWA～

在宅診療から見る地域の可能性 講師：いろとりどりの診療所院長 安里龍一先生

- ・千曲市主催 心の健康講座

こころの健康とストレス対処について

講師：医療法人川中島Fメンタルクリニック 公認心理士 中原かおり氏

●カフェの営業

- ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後もお客様が安心してカフェを利用していただくために、感染予防対策を徹底し営業を続けた。
- ・今年度カフェ来客数：延べ2748名（前年度比+801）  
カフェ利用客：1576名（前年度比+584）  
パンのみ購入客：1172名（前年度比+217）
- ・今年度より、リピーター客を増やすために、一般お客様用、利用者用のポイントカードを作成し配布。また、パン販売日以外でもカフェ利用していただくため、ランチメニューを増やし、キャンペーンなどを実施し集客を増やす工夫をした。

<年間売上表>

月	パン	焼き菓子	大豆	カフェ	雑貨	委託販売 手数料	売上合計
4	93,290	9,360	0	78,520	450	610	182,230
5	118,110	7,800	0	99,325	750	140	226,125
6	95,440	1,650	0	80,910	300	220	178,520
7	92,360	3,550	0	115,730	1,050	0	212,690
8	98,680	3,250	0	47,705	2,250	110	151,995
9	103,760	3,850	0	68,395	800	190	176,995
10	94,980	1,650	0	106,105	3,900	80	206,715
11	108,940	12,850	0	69,910	7,590	270	199,560
12	87,390	4,490	0	55,210	9,180	30	156,300
1	83,810	4,940	0	73,895	420	50	163,115
2	81,980	2,450	0	76,095	240	250	161,015
3	95,050	550	1,400	81,695	12,095	220	191,010
合計	1,153,790	56,390	1,400	953,495	39,025	2,170	2,206,270

※パン・焼き菓子は Bakery cafe CoCo

※大豆：アトリエ CoCo 農業作業班

※雑貨：自主製品（ウッドピンチ、リメイク鉢、布製品など）

- ・カフェ（もしくはフリースペース）をメニュー注文をすることを条件に貸し出しを行った。

廣望会 CoCo ちくま家族会役員会、家族会総会  
千曲市認知症カフェ（オレンジカフェ）を定期開催場所として提供  
いなりやま福祉生活介護事業所（はなたば）6日間で40名利用  
千曲市社会福祉協議会上山田支部、市内サークル班など

○カフェ営業日

月・火・水曜日 11:00～13:30 ※カフェのみ営業

木・金曜日 11:00～15:00 ※Bakery café CoCo のパン販売とカフェ営業

<活動状況>

- ・基本的に午前は軽作業、午後は QOL もしくは個人活動としている。  
利用者の気分や体調に合わせて作業内容をはじめ、1日の過ごし方を決め、日中活動の充実を図った。利用者の作業能力に差があるが、個々の障がいの特性、器用さなどを把握した上で作業内容を決め、利用者に合わせたやり方を工夫することで集中力や作業能率が上がった。
- ・パンの配達当番制にしているが、利用者にも人気である。  
パンの配達を通して、事業所内では見られない利用者の表情や姿が見られ、個々にできることが増えてきている。配達先の職員と顔なじみになり、カフェに来店した際は挨拶したり、少し会話するようになり交流が深まった。  
パンの配達の様子を見ていると、今後は社会参加の機会を増やしていきたい。
- ・1年を通して日中気候気温が良い日は、なるべく散歩もしくはウォーキングに出かけ、外の空気を吸って季節感を感じ気分転換、体力の維持を図った。風邪を引いて体調を崩して休む利用者は1年間いなかった。
- ・利用者の希望を聞きながらイベントや外出を企画した。地活と合同で開催した方が良いものは一緒に行い、生活介護と地活の利用者同士が交流する機会が自然に増えた。
- ・千曲市社会福祉協議会と連携して障がい者スポーツとして「ボッチャ交流会」を CoCo レストが中心となり毎月開催し定着している。今年度はボッチャだけでなくモルックも導入した。当事業所利用者以外に家族、市内就労 B 事業所チューリップの家、身障協会会員、地域のボランティア、長野大学学生ボランティアの参加してもらい、試合形式で楽しみながら交流ができた。  
今後はボッチャ・モルックだけでなく、ニュースポーツも導入して体を動かすことで気分転換、ストレス解消しながら、交流の機会・場をつくっていきたい。

8 健康管理

就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

9 安全衛生管理

## 防災訓練

### ■スタジオ CoCo

就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

### ■CoCo レスト

通報連絡訓練・避難誘導訓練・消火訓練を 2 回実施。

万が一の事態に落ち着いて対応できるように、2 回のうち 1 回は千曲坂城消防消防本部  
消防士立ち会いをお願いし相談、指導を受けている。

実施日：1 回目 令和 6 年 5 月 20 日（月）

2 回目 令和 6 年 11 月 26 日（火）

- ・拡声器を用いてサイレンを鳴らす為、事前に近隣宅へ訓練のお知らせをチラシの配布で周知してから実施をした。
- ・事前学習として、利用者・職員は、普段から気を付けること、避難方法や消火方法等について動画を観ながら学んだ。

## 10 委託給食

希望者には給食を提供（1 食 300 円）

常時利用者 11 名

昼食数 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月 253 日

合計 2,035 食

\*CoCo レストの給食提供

キッチン CoCo よりおかずはお弁当、みそ汁付き、白米は炊飯器で配達してもらい希望者に提供している。

他 就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

## 11 QOL活動・スタ☆レク・レスト🍀レクの実施状況

- ・スタジオは就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様
- ・レストでもトールペイント教室、お楽しみ外出、足湯、ハンドマッサージ、図書館、ひこばえの会との交流会、体操教室、オレンジカフェとの交流会、映画鑑賞会、お菓子作り、折り紙教室などを積極的に行っている。

## 12 CoCo 家族会ちくま

就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

## 13 地域への開放状況

就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

## 14 職員研修について

就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

## 15 職員体制について

管理者・サービス管理責任者 1 名 生活支援員 6 名

医師（嘱託） 看護師 2 名（1 名常勤・1 名非常勤） 事務員

**地域活動支援センター事業Ⅲ型（「CoCo レスト」併設型）  
CoCo レスト**

**1、基本方針**

地域で生活する障がい者が自立した日常生活と社会生活をこの地域において営むことができることを目指します。自立した社会生活を実現するための相談支援を提供するとともに、安心して過ごせる居場所と憩いの場所を提供します。また、創造的な活動や生産活動の機会、余暇支援などを通じて社会との交流の機会を促します。利用者の要望に応じた活動や主体性が確保されるサービスを提供し、個々の利用者の尊厳を尊重します。また、この地域における障がい者福祉、及び地域福祉の向上に寄与することを目指します。

**2、利用者数実績**

- 登録者数：28名  
     男性：17名、女性：11名    平均年齢：47.6歳  
     千曲市在住：27名、長野市在住：1名
- 障がい別  
     身体障がい者：2名（精神障がい重複1名含む）  
     知的障がい者：1名  
     精神障がい者：26名

利用者数内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数	21	21	20	22	17	19
登録者数	23	24	26	27	27	27
実利用者数（人）	23	20	21	20	20	18
利用者延べ数（人）	168	152	116	159	120	120
平均1日利用者数	8	7.2	5.8	7.2	7.0	6.3

利用者数内訳	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	22	20	20	19	18	20	239
登録者数	27	28	28	28	28	28	28
実利用者数（人）	20	18	18	19	19	20	/
利用者延べ数（人）	137	104	105	110	101	116	1,508
平均1日利用者数	6.2	5.2	5.2	5.7	5.6	5.8	6.3

**3、個別支援実績**

個別支援内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者電話・面談対応	38	91	48	64	89	72
登録外対応	5	7	8	13	3	5
関係者と面談・支援会議	3	1	2	2	3	0
自宅訪問（緊急対応）	0	2	0	0	0	0
就労支援（見学・体験）	0	0	0	2	5	4
健康相談（栄養指導）	0	0	0	1	0	1

個別支援内訳	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者対応（電話・面談）	69	48	50	52	58	69	748
登録外対応	6	9	11	8	8	18	101

関係者との面談・支援会議	5	5	5	1	3	2	32
就労支援（見学・体験）	1	0	0	0	0	0	12
健康相談（栄養指導）	0	0	0	0	1	0	3

#### 4、基礎的事業実績

基礎的事業内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月
創作活動	8	19	14	13	11	12
個人活動	17	16	18	15	8	13
社会交流活動	7	7	7	8	6	7
レク・スポーツ交流	1	1	1	1	1	1
その他（季節行事・外出等）	0	3	0	0	0	2

基礎的事業内訳	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
創作活動	9	8	11	8	9	13	135
個人活動	18	20	17	14	17	12	185
社会交流活動	7	8	7	7	6	8	85
レク・スポーツ交流	3	2	2	4	3	3	23
その他（季節行事・外出等）	1	2	3	3	2	0	16

#### ○居場所の提供

家以外で「ここにいても良い」と思える心のよりどころとなるような居場所、来所しやすい居場所となるように環境を整えた。フリースペースにいられないときは、併設しているカフェで過ごせることがメリットだった。個々に好きな時間に来て自分のペースで過ごせることを保障した。また、一人で過ごすこともいいが、時には人とかかわることができるように支援した。今後も、地域活動支援センターCoCo レストに行くことが楽しみになるような居場所作りを利用者と共に考えていきたい。

#### ○創作活動の機会の提供

利用者の気分転換、ストレス解消するための活動目的もあるが、個々の趣味や能力に合わせ、様々な活動を通して趣味の幅を広げ、日々の充実、心の安定を得られるような活動を企画し開催した。また、やりたいことが見つからない利用者に対しては一緒にみつけ、やりたいことができる楽しさを実感できるように支援した。

CoCo レストはボランティアを随時受け入れている。ボランティアが得意としていることを活動に生かしたことは特徴の1つである。ボランティアに協力してもらうことにより活動が増え充実した。

特に初心者麻雀は、いつも支援される側の利用者が、初心者のボランティアに教える役割を見つけ生き生きと教えている。今後も利用者が主体的に活動できることを考えていきたい。

#### <具体的な活動>

ビーズ教室、おりがみ教室、編み物、韓国家庭料理教室、おやつ作り、昼食作り  
初心者麻雀、クラフト教室、DVD鑑賞、YouTube鑑賞、映画鑑賞、ゲーム  
共同作品製作（オレンジカフェ週間会場装飾作り）、塗り絵、ジグソーパズルなど

#### ○レク・スポーツ交流

集団で楽しく活動することで、仲間意識を育て、社会のルールやコミュニケーション能力を身につけられるように行った。特にボッチャ、モルック競技においては、徐々に参加者が増え、市内他事業所（就労継続B型事業所）、身障協会、地域のボランティア、長野大学学生ボランティアなどの参加者が増え、顔見知りの関係となり交流が広がった。

- ・千曲市社会福祉協会と連携して障がい者スポーツ交流を企画、運営し、毎月ボッチャ、またはモルック競技を実施した。（計13回）
- ・サンスポーツながのが開催したレクリレーション・体操教室に参加（計1回）
- ・長野南運動公園マシジムで軽運動（計3回）
- ・ストレッチ体操（計6回）

### ○仲間作り

同じ病気を経験した仲間と話すことで、自分の意見を表現する力や他の人の意見を尊重する力をつけることや、仲間と楽しい時間を過ごすことで、気軽に会える仲間をつくる機会になるように配慮した。利用者同士の間関係のトラブル等はなく。利用者同士で協力してフリースペースを掃除して帰宅していくようになった。

- ・月1回ミーティング
- ・おしゃべり会、なかま交流会
- ・千曲市精神障がい者当事者会「ひこばえの会」
- ・女性の会

### ○社会交流活動の促進

人と人が関わり合う機会をつくることで、地域の方と交流し、社会的な役割を持つことや、自然に人間関係の幅を広げられるような機会をつくった。

利用者の中には、CoCo レスト以外で開催されたオレンジカフェに参加したり、休日の居場所として駄菓子家「らそ」（長野市松城町）に定期的に行くようになった人もいる。

- ・隔月、千曲市基幹地域包括支援センター主催のオレンジカフェ（認知症カフェ）をカフェ貸切で開催し希望者参加。
- ・千曲・坂城自立支援協議会全体会出店参加
- ・千曲・坂城自立支援協議会さんさんネット部会主催さんきゅーあーと展に希望者出展及び見学
- ・駄菓子家「らそ」（長野市松代町）見学及び交流
- ・認知症週間会場装飾を担当したため会場見学
- ・女性の会 千曲市農林課企画発酵食品お料理講座に参加（5回）

### ○学習会

人の意見を聞くことや今まで知らなかったことなどを学ぶことで、地域社会で生きていく力をつけることを目的にした。精神障害者当事者体験発表者はCoCo レストの地域活動支援センターの利用者だったこともあり、関心をもった利用者、市内の当事者や家族、福祉関係者など総勢25名が集まった。障がいの理解促進にもなり今後も企画していきたい。

- ・プチ雑学（災害時の食事に作り方）
- ・精神障害者当事者体験発表会（ひこばえの会）
- ・千曲市健康推進課保健センター主催「こころの健康講座」に参加  
こころの健康とストレス対処について～
- ・救命講座・AED講習
- ・避難・消火訓練（5月・11月 年2回実施）

## ○その他

季節の移り変わりを感じながら、利用者の楽しみながら他者交流を深め  
思い出作りになるような支援を行った。

- ・季節の行事（クリスマス会、しめ縄作り、書初め、豆まき、もちつき大会、バレンタインデーなど）
- ・外出（買い物、カラオケ、映画館、昼食会など）

## ○基本相談

日常生活で困っていることや悩み、落ち着かない、なんだか不安など  
精神面のことから、身体面の不調に関する事など相談内容の幅が広く、  
面談や電話でも相談対応した。必要に応じて、行政、各関係機関と連携し、  
困りごとなどの相談内容が解決できるように取り組んできた。

主な相談者は登録利用者、その家族であるが、登録外の相談者の中には、福祉サービスを利用していないため相談者がいない方、家族や友人などの方からの相談があった。

※3，個別支援実績を参照。

## ○健康相談

健康で地域で暮らせるように千曲市の一般健診もしくは特定健診等を受けるように促し、結果に応じて千曲市の保健師や管理栄養士と連携をして、体調の自己管理ができるように栄養相談を実施した。定期的にフォローしている利用者もいる。また、本人の状態によって、精神科看護が必要と思われる利用者に対しては精神科訪問看護をすすめ連携することで、地域で快適で安定した日常生活を送れるように支援した。

## <考察と課題>

今年度から千曲市の委託を受け地域活動支援センターの運営をして、利用者の居場所作り、ニーズに合った活動や行事の企画、開催、利用者の日々の心身の状態把握、相談対応に努めてきた。

利用者の多くは、心の安定につながる居場所と様々な活動を必要としているが、話し相手や相談相手を求めているニーズが高い。特に困った時に気楽に相談ができて、地域で生活していく上で助けてくれる存在を必要としており、その存在が支えとなって安心して生活が送れていると感じる。

相談内容は幅広く、障がい分野における専門性、医療の専門性が必要とされるケース、また、解決が難しく関係機関につなぐケースもあった。当事業所の地域活動支援センターはⅢ型ではあるが、実際の動きはⅠ型に近いものがある。支援するにあたり、職員のスキル向上の習得も求められるが、看護職以外の専門職も必要と思われる。

## 第2種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業 生活介護事業・フリースペース事業

### アートカフェ CoCo

障がいのある人たちの表現活動を行う場として、9年目を迎えることができました。当法人がこれまで実践してきた障がいのある人が地域の中で望むスタイルで自分らしく生活をおくることを支えてきた活動を、須坂市(須高地域)において行っております。障がいのある人の多様な生き方に貢献するために、求められている必要となる資源を整えて、質の高いサービスを提供することで障がいのある人及び家族の望みをかなえることができるように更に一層と応えていくための所存を熱を冷ますことなく持ち続けています。

アートカフェ CoCoに通ってくる障がいのある利用者さんたちは、自分の考えや想いを上手く言葉にして表すことが苦手だったり、言葉を扱うことが全くできなかつたりとする方が多いです。最近では、自閉症スペクトラムによる独特の特性をもつ人たちの利用が増えてきております。いわゆる行動障害という自傷・他傷・他害等の行為があり、生きづらさを抱えている人たちがいます。こちら側の支援者側もその生きづらさに向き合い、適切な支援の提供により、解消及び改善を目指しています。自らの存在や価値を肯定して、自分を労り、自らの望む生活をおくっていつてもらいたいと心より願っており、その願いを拠り所にして日々の関わりを行っています。彼ら彼女たちの意思や想いは社会の中では見逃されやすいですが、私たちは日々彼ら彼女たちに真摯に向き合っており、声なき声や思いを丁寧に探り、感じ取ることに努めています。

利用者さんたちは、自らが好きである表現活動を通して自分らしく表現しています。個性的な色気をたっぷりと感じられる素敵な作品もたくさん生まれています。

令和4年度の半ばに開設したアートギャラリーを拠点にして、利用者たちの表現が社会とつながっていく展開をし始めております。この事業はNLSGグループコーポレーションに絶大な協力をいただいて、進めております。他にも企業や個人の方にたくさんのお力添えをいただいております。アート作品のレンタル事業、アート作品のグッズの開発・製作・販売、作品展の開催を主な事業として行っております。アート作品のレンタル事業はこれまで順調に顧客数及びレンタル数を伸ばしてきており、最近では月平均25社で35作品ほどのレンタル状況であります。共にもう少し伸ばしていきたいと思うところではあり、そしてまた作品の在庫数が課題となっております。作品展は、「感覚をノックする展」を2回開催しました。カレンダー・クリアファイル・缶バッジ・はがきなど、利用者の作品をデザインとして使用して製作を行い、この作品展にて販売を行いました。販売方法等などの課題が残り、今後この課題の解決にあたっていきたいです。以上のような取り組みを通して、利用者の方たちに工賃を提供することができました。この事業は、まだまだ課題が多くあり、かなり力を入れて取り組んでいかなくてはならない事業と認識しております。

また、このような機会は利用者にとって自信や意欲を一層と持てることにつながりましたし、スタッフにとっても、より多くの人たちに当事業所の運営や活動をより広く知ってもら

い、より理解を深めてもらえることになったので、自らの普段の取り組みを振り返るよい機会になったと思います。利用者及びスタッフ共に、今後の運営や活動に、更なる望みをより一層と抱けることができましたので、素晴らしい場であり取り組みであったと思います。今後もこのような取り組みを続けたいです。

令和3年度に購入した隣接地の土地は行動面で課題のある障がいのある人の活動等の場所として、建物を建てて利用してまいりたいと思います。建物の設計が出来上がり、令和6年度に国の社会福祉施設整備事業に申請しました。長野県障がい者支援課内の審査では、条件付きで採択されましたが、申請した補助金額(補助率)より減額したことにより、自己資金準備額が増えたため、今回は見送りいたしました。設計内容を変更して、当初の計画どおりの補助金額(補助率)に相応する計画内容に変更して、再度申請を行う予定です。現在は利用者の余暇活動等の場として、使用しております。

感染症対策、その他のリスク対策においては、令和6年度も、日々において意識した動きをとってまいりました。

今後の事業所運営において、まだまだ向き合わなければならない課題が多くありますが、積極的に誠実に謙虚に対応していきたいと思っています。

## 生活介護事業

(利用者の推移)

<b>定員 20名</b>	<b>令和5年度末在籍者数 20名</b>	<b>(令和6年度末 在籍者数 20名)</b>
令和6年4月		・・・ 在籍者数 20名
令和6年11月	1名入所(須坂市在住者)	・・・ 在籍者数 21名
令和7年2月	1名退所(須坂市在住者)	・・・ 在籍者数 20名

### 1 利用者の内訳

- (6) 利用者総数 21名
- (7) 出身(支給決定)市町村別 長野市 11名 須坂市9名 小布施町1名
- (8) 性別 男 13名 女 8名(総数)
- (9) 年齢 30.8歳(令和6年度末)
- (10) 障がい種別 知的障がい者 21名
  - 身体障がい者 2名
  - 発達障がい者 7名 ※ 重複者数名あり
- (6) 障害支援程度区分 <3>3名 <4>6名 <5>8名 <6>4名

### 2 通所方法

- (6) 徒歩または自転車 0名
- (7) バイクまたは車(本人運転による) 0名
- (8) 公共交通機関利用 2名
- (9) 事業所送迎 15名

(10) 家族または他事業所等による送迎 15名

※ 重複者あり

### 3 日課について

9:00 ~ 9:30まで	着替え 朝会 ラジオ体操等
9:30 ~ 12:00まで	午前の活動
12:00 ~ 13:00まで	昼食 休憩
13:00 ~ 15:30まで	午後の活動
15:30 ~ 16:00まで	掃除 おやつ 着替え 帰りの会等

- ・令和6年4月より運営時間を変更しております。
- ・利用者の事情または活動内容等によっては、このとおりの日課ではない。
- ・8時30分~9時00分及び16時00分~17時の間もタイムケア事業で利用して方もいる。
- ・土または日曜日は活動内容によって様々に設定した。

### 4 通所状況

通所実態（月平均利用者数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10	10	10	9	9	9

10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
10	10	9	10	9	8	9.5人

### 5 個別支援計画

本人や家族との面談や、関わりのある関係者等を含めた会議を開くなどして、本人のそれまでの歩みや、好きなことや得意なこと、苦手なこと、行動面や日常生活上の行為等で配慮すること等々に関して、情報収集や確認を行い、本人の願いをベースにして個別支援計画を作成した。

何よりもまずは、本人中心というスタンスを重視して、願いやニーズ等を把握するように努めた。言葉にして相手に自分の意見や考えを伝えることが難しい利用者さんが多いので、日常の行動等を観察して分析したり、家族等の周りの関係者等からのアドバイス等ももらったりして、本人の意思や思いを探り、個別支援計画に反映した。当事業所外での、生活の場面などの困り感や希望があった時には、他の機関と連絡をとって情報を共有して、そのうえで当事業所として担うべき課題に関しては、個別支援計画の目標として取り入れ対応にあたった。

そして、6カ月ごとに1回の見直しを行った。来年度も、本人の願いをベースに、より良い支援に繋がるように計画的また必要に応じて面談等を行い、定期的に支援計画を作成していきたい。

## 6 活動について

### 【表現活動(絵画、造形、書道等の創作的活動他)等】

#### (1) 表現活動(絵画、造形、書道等の創作的活動他)

日々の日課の中で、活動内容に関しては、基本的に利用者個々が気に入っている活動に個別に取り組んだ。絵を描いたり、書道を行ったり、ウォーキングをしたり、音楽を聴いたり歌ったり、ペーパーで工作をしたり、話をしたり等々。毎週月・木曜日にはプロの講師の方である関孝之氏および佐々木良太氏に来ていただいてアートワークショップを行った。プロの講師の方によるワークショップはより深みのある活動を行うことができ、より興味を持ち楽しんで活動に参加することができた。

#### (2) 作品展の開催及びグッズの製作販売

冒頭で述べたとおり、利用者の人たちが製作している作品の展示会の開催を、そして作品を使用してグッズの製作販売を行った。令和6年度においては、2回の作品展を実施した。

#### (3) その他

県内外で開催されたアート展には、今年度は応募することはなかった。

## 7 QOL 活動について

月に1回程度、QOL 活動として、調理実習、ハイキング、レクリエーション等を企画して実施しました。その他、日々の活動の中で取り入れ、季節ごとの行事、余暇活動や農園活動等に楽しみました。

## 8 保健衛生について

### (1) 健康相談について

#### ①内容

- ・日時 : 毎月 第3金曜日午後 13:30～15:30
- ・実施者 : 看護師(嘱託)
- ・実施内容 : 体重測定、血圧測定、検温、健康相談、BMI 数値の算出
- ・相談者数 : 毎回9名程度

#### ②血圧測定

- ・エラーが出てしまう利用者さんがかなり減り、しっかり測ることができてきております。
- ・血圧が高めの方が数名おり、いずれも定期通院しかかりつけ医に相談しながら生活しています。他にも突発的に高い血圧の出る利用者さんがいるが、前後の出来事を踏まえつつ家庭と連絡を取って様子を見ています。

#### ③体重測定、BMI 数値

- ・落ち着いて測ることができています。
- ・体重計に乗って結果が出るまでの間じっと出来ない利用者さんもいたが、時間をずらして再度乗ってもらいしっかり測ることができております。
- ・全体的に体重が増えている利用者が多いです。

BMI 数値 (R6.2 月)

	R4.2月	R5.2月	R6.2月
40kg台	1名	2名	1名
60kg台	5名	2名	3名
70kg台	2名	3名	1名
80kg台	2名	1名	1名
90kg台	0名	1名	1名

18.5(やせ型)	1名
18.5~25(標準)	2名
25~30(肥満1)	3名
30~35(肥満2)	1名
35~40(肥満3)	
40以上(肥満4)	

④相談内容

- ・ 今日あった出来事など
- ・ 生活の中で困っていること、心配なこと
- ・ 体重や血圧数値について

(2) 健康診断について

①日時及び受診者数

- ・ 令和6年6月13日(木) 13:30~16:30 (女性中心)  
利用者5名、スタッフ3名
- ・ 6月27日(木) 13:30~16:30 (男性中心)  
利用者5名、スタッフ3名

②実施にあたっての配慮

- ・ 聴覚過敏や場所見知りなど個別対応が必要な利用者さんのため、事前に情報を伝え個別対応をしながら各検査を受けることができました。
- ・ 絵カード、写真等を使いながら、どこでどんな順番で検査を受ける等の事前説明を丁寧に行ったことで、大きく不安定になったり、パニックを起こすメンバーさんも出ず比較的落ち着いて受けられることが出来ました。
- ・ 当日、健康診断は受けずに事業所に残る利用者さんもいたため、スタッフや利用者さんの動きがわかるタイムスケジュールを用意し、一日の見通しを持てるようにしました。
- ・ 6月13日、6月27日とも同じ木曜日だったため、利用者さんには当日の活動や昼食の時間変更にご協力をいただきました。

③結果について

- <体重測定> ・ しっかり測ることができました。  
・ 全体的に増加しています。
- <視力検査> ・ 検査内容が難しかったため判定不能になってしまうメンバーさんが多かったです。

(3) インフルエンザワクチンについて

- ① 日時及び人数 11月18日(月): 利用者4名、スタッフ5名
- ② 実施にあたっての配慮

- ・不安やパニックにならないよう接種する利用者の方には昼食時間の説明、どこに行き何をするのか、出発の時間や到着の時間、帰る時間などをイラストや文字に起こし事前に説明を行いました。

#### (4) 精神科を受診されている方

- ・利用者 21 名中 7 名

#### (5) 救急箱について

風邪薬、胃腸薬、鼻炎、痛み止め等の経口薬、及び消毒液、絆創膏、湿布、目薬等、かゆみ止め並びに体温計を整えている。自傷行為があったり、肌が荒れやすい体質等のため、手指等に傷ができやすい利用者が数名いて、絆創膏が使われることが多かったです。一部の風邪薬や目薬・湿布薬などのように全く使用しない薬もあったです。

#### (6) 服薬支援について

服薬支援を行っている利用者は4名である。管理を行っており、行為は自身でできました。

#### (7) 個別の健康情報について

自身の体調不良等の訴えを行えない利用者が多いので、日常的に利用者の様子をしっかりと観察することで体調を把握しております。また休むときも電話や訪問等を行って連絡を取り、状態の確認等を行っています。そのうえで、必要な支援を行い、そして当事業所のスタッフ間でも利用者個人の基本的な情報と日々における状態について情報共有を行い、事業所スタッフ全員で連携して支援にあたっております。

#### (8) 清掃、整理整頓等について

清掃については、利用者さんによってそれぞれができる箇所を行っています。清掃を行っていない利用者もいます。従って、利用者さんが帰宅した後の夕方の時間帯に、週に数回程度、職員が一斉に清掃を行う日を設けている。整理整頓にも心掛け、5S が保たれた事業所を維持できるように努めています。

### 9 給食について

- ・給食を楽しみに通所する利用者が多い。楽しい時間でもありました。
- ・キッチン CoCo より弁当を提供してもらっており、栄養士に作成したメニューで提供されており、適切であったと思われます。
- ・日頃よりキッチン CoCo とは給食に関する情報交換及び共有を行い、課題検討を行いました。また、嗜好調査も行い好き嫌いやアレルギー等のアンケートを取り、必要に応じて対応をしました。アレルギーによる配慮は行い、弁当の変更をお願いすることもありました。
- ・体重等など考慮して、職員が調節してごはんを盛ったり、また、調味料もかけすぎないようにと職員が行うなどして、健康面での配慮を行いました。

## 10 旅行について

家族会と共催して、2回に分けて、1泊2日旅行及び日帰り旅行を実施しました。少人数での日帰り旅行も、事業所単独で企画して実施しました。

### (1) 実施内容等

#### ① 第1回目

##### (ア) 行先他

『名古屋港水族館とジブリパーク旅』

##### ・見学場所

名古屋港水族館 ジブリパーク

##### (イ) 実施年月日

令和6年9月12日(木)～13日(金)

##### (ウ) 参加人数

計4名(利用者3名、家族1名)

##### (エ) 旅行会社

東武トップツアーズ(株)

##### (オ) その他

アトリエ CoCo、CoCoJAVJAV、家族会と共催しました。

#### ② 第2回目

##### (ア) 行先他及び見学場所

群馬サファリパーク

##### (イ) 実施年月日

令和6年9月20日(金)

##### (ウ) 参加人数

計0名

##### (エ) 旅行会社

東部トップツアーズ(株)

##### (オ) その他

アトリエ CoCo、CoCoJAVJAV、家族会と共催しました。当事業所よりは参加者はいませんでした。

#### ③ 評価及び課題

9月の中旬の2週にわたって2グループに分けてアトリエ CoCo、CoCoJAVJAV、家族会と共催して実施しました。利用者総数に対して参加者はかなり少なかったです。参加された方はのんびりとゆっくりとできて存分に満喫できたようであり、また事業所内外の人たちの交流を楽しめたようでありました。

集団での行動を苦手とする方たちが多いので、数名の少人数での企画を希望する声があります。そのため、当事業所において、上越市立水族博物館への日帰り旅行を企画して実施して数人参加しました。

## 11 防災訓練について

### (1) 防災訓練

#### ① 第1回目

- ・実施日：令和6年 9月19日(木) 13時15分～13時45分
- ・参加者：利用者13名 職員10名 計23名
- ・内容：避難訓練。事業所内の食堂キッチンのIHの不具合により、火災が発生したと想定して避難訓練を行いました。
- ・課題及び反省点：

前回までの経験を参考に、職員と利用者双方を対象として、「通報・消火・避難訓練実施マニュアル」にのっとり一連の動きを確認しました。今回は建物内部北側に位置する食堂配膳室のIHの不具合による出火という事態を想定して、発見、通報、初期消火、避難（誘導）における、それぞれの対処方法等を順番どおりに1つ1つ確認しました。口頭での説明で理解が難しい利用者さんにはイラストを使用し視覚的に説明する事で一定の理解が得られたと思われれます。

実際の避難時にも考えられる事なので、今後も職員会議等で検討していきたいです。

以上、今回の経験をもとにそれぞれの状況に合わせた相応な判断と行動及び誘導ができることを目指して、状況に合わせた訓練を次回以降も続けていきたいです。

#### ② 第2回目

- ・実施日：令和7年 3月27日(木) 13時15分～13時45分
- ・参加者：利用者9名 職員12名 計21名
- ・内容：避難訓練。事業所内の食堂キッチン内のIHの不具合により、火災が発生したと想定して避難訓練を行いました。
- ・課題及び反省点：

前回までの経験を参考に、職員と利用者双方を対象として、「通報・消火・避難訓練実施マニュアル」にのっとり一連の動きを確認しました。今回は建物内部北側に位置する食堂配膳室のIHの不具合による出火という事態を想定して、発見、通報、初期消火、避難（誘導）、安全確認等における、それぞれの対処方法等を順番どおりに1つ1つ確認しました。火災感知警報機による感知(サイレンが鳴る)から避難完了までの時間は、4分12秒で前回より2分ちょっと長くなってしまいました。気持ちの切り替えができなかったり、意識がなかなか向かなかったりとして、避難に手間取る利用者の方が数名いました。それでも多少の時間がかかりはしましたが、参加者全員の協力により大きな混乱もなく、無事に避難することができました。今回も、避難場所を避難をより円滑により効率的に行うために2箇所(南側駐車場・東側駐車場)として対応しました。前回の避難訓練の振り返りで、職員それぞれがそのときの役割を明確に認識して、かつお互いに連携を取り合っただけで対応をとれました。避難訓練の実施について、口頭での説明で理解が難しい利用者さんにはイラストを使用し視覚的に説明する事で一定の理解が得られたと思われれます。そしてまた、今回は、長いロープを使い、そのロープを数名の利用者が握って、先頭や他の数か所を職員が持って、利用者たちを誘導するというやり方を行った

ところ、利用者たちは安心して避難することができたようであり、効果的でありました。特性のある利用者の方々も、事業所の利用及び訓練に慣れてきたこともあるようで、時間は前回より多少かかったが、落ち着いてスムーズに避難することができました。実際の避難時にも考えられる事なので、今後も職員会議等で検討していきたいです。

以上、今回の経験をもとにそれぞれの状況に合わせた相応な判断と行動及び誘導ができることを目指して、状況に合わせた訓練を次回以降も続けていきたいです。

#### (2)消防設備点検

総合点検として年に2回（令和6年5月及び11月）に業者に委託して実施しました。

#### (3)その他

- ・自衛消防団の編成及び調整。職員緊急連絡網の作成及び配布。
- ・消火器、非常警報装置、誘導灯、火災探知報知機の設置。

### 12 地域との協働について

- ・見学や研修を受け入れました。  
（特別支援学校等の先生及び生徒、保護者、他事業所利用者等）
- ・ボランティアの受け入れを行いました。
- ・地域の諸団体等との連携を行い、様々な地域ネットワーク等に積極的に参加しました（須高地域自立支援協議会等）。

### 13 職員研修について

- ・個別支援に関するサービス担当者会議等の支援会議、利用者支援に関する知識及び技術の獲得及び向上等の研修、職員会議、表現活動等に関する研修等を定期的 to 実施して、支援や活動等に関する知識及び技術の向上や研鑽等に努めました。
- ・虐待防止研修、強度行動障害研修等の外部の機関が行う研修に積極的に参加し、知識や技術の向上に努めました。

### 14 職員体制について

所長兼サービス管理責任者	1名
生活支援員	7名
ギャラリースタッフ	1名
アートディレクター	2名
看護師（嘱託）	1名
医師（嘱託）	1名

## フリースペース事業

[事業及び活動等の内容・課題・評価等について]

普段より、障害福祉サービス事業生活事業を運営しており、障害のある人のエンパワーメントを最大限引き出し活かした活動（表現活動（アート活動等））を行っております。その自由であたたかな空間として、不登校やひきこもりの子どもや大人たちが自分らしく過ごすことのできる癒しの場として利用していただくことを目指しております。

個別にゆったりとのんびりと自分の思うように時間を過ごしたり、スタッフや利用する仲間たちとの会話を楽しんだり、相談をしたり、そしてアート関係の表現活動や調理実習等の社会体験活動等の、自らが楽しめて取り組むことのできる活動に参加したりして、居心地のよい安心できる居場所として、そして他者及び地域や社会とつながりを得ることで、自分らしく生きていくことのできるきっかけやパワーの源を得ることのできる場として、今後において運営を目指していきたいと思っております。

## 1 活動内容等について

### (1)アート関係の表現活動について

年間をとおして、毎週月・木曜日に外部講師である関孝之氏及び佐々木良太氏に来ていただいて、生活介護事業の障がいのある利用者を対象としてアートワークショップを行っている。絵を描いたり、書を書いたりして、好きな表現活動を行うことで楽しく時間を過ごし、自らのことを表現していくことの面白さを味わうことのできる場面であるが、フリースペースの利用も気軽に参加してもらいたいと思っております。

第2種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業  
多機能型(就労継続支援A型 就労継続支援B型)

## CoCo 金沢

令和6年度は元日の能登半島沖地震を受けてのスタートとなりました。

金沢市の被害が最小限に抑えられたこと、北陸新幹線敦賀延伸の効果、能登復興への日本全国の皆様の温かい声などもあり、観光客の数も春にはある程度までは回復しました。しかし、円高・物価高の影響もあり国内の観光客は期待されたほど夏以降伸びず、海外からのインバウンドは大きかったようですが、結果的に仕事量的にV字回復とまではいきませんでした。それでも、安定した仕事量は供給できており、CoCo金沢のメンバーは毎日忙しく作業に取り組みました。

10名で始まった就労継続支援A型は7月には11名にまで増えました。残念ながら2月に1名退所となりましたが、令和7年4月に就労継続支援B型から1名の方がA型に移行することとなり、次年度も11名で迎えることとなります。就労継続支援B型も4月には特別支援学校卒業生が1名加わり2名で迎えます。ゆっくりではありますが、確実に利用者数は伸びており、令和7年5月1日から就労継続支援A型の定員を10名から15名に増員する予定となっております。

CoCo金沢は日本海リネンサプライ(株)への施設外就労という形をとっており、「無理なく、楽しく、長く働く」をモットーに日々の作業を真剣に取り組んでいけるよう職員一同支援しています。また、A型B型合わせて10代20代のメンバーが半数以上を占めるため、日本海リネンサプライ(株)の皆様からご指導を賜りながら、社会人として1人の人間として、メンバーひとりひとりが成長していく様子を日々感じています。「CoCo金沢に来てよかった!」「仕事が楽しい!」という言葉がメンバーからよく聞かれますが、共に働く仲間として認めてもらっている充実感が、メンバーひとりひとりにそのような想いを抱かせているのだと思われ、日本海リネンサプライ(株)の皆様には感謝の気持ちが堪えません。次年度以降も、CoCo金沢のメンバーが充実した日々を過ごせるように、心地よい日々を過ごせるように支援を続けていこうと考えています。

行事については令和6年度も引き続き充実したものを提供できたと自負しております。季節の行事、金沢の伝統行事、誕生会等々を全メンバーで楽しむことができました。七夕やハロウィーン、クリスマス、そして書き初めは日本海リネンサプライ(株)の方々と一緒に行いました。特に書き初めは、日本海リネンサプライ(株)の皆さんも学生時代に戻ったような気持ちになったようで盛り上がりを見せていました。また、春と冬に2回の親睦会も合同で行われ、CoCoのメンバーもおめかしをして楽しみました。2回目となった日帰り旅行は2コースに分かれ、「神戸南京町食べ歩き」や「ジブリパーク散策」を楽しみました。帰りの新幹線の中では「来年は〇〇に行きたいね」とメンバー同士で話したりと恒例の大きな行事となりそうです。

毎月発行しているCoCo金沢通信や毎週火曜日・金曜日に更新しているインスタグラムでは日々の作業の様子や行事の様子を発信しています。メンバーも内容を楽しみにしていますが、

それ以上に、特別支援学校に通う学生さんやご家族などから「CoCo 金沢は働きながら楽しく過ごせるようだ」と好評で、進路先を選ぶ際の重要な要素となっているそうです。今後も充実した内容で CoCo 金沢の皆さんの素敵な笑顔や真剣な表情で作業している姿などを発信していきたいと考えています。

最後に、令和6年度の宿題として、『B型⇒A型⇒一般雇用』という流れを実績として残すと令和5年度の事業報告に記載しました。『B型⇒A型』については達成できました。しかし、『A型⇒一般就労』については、A型の居心地が良すぎたのか、候補者に断られ、残念ながら未達成に終わりました。次年度は就労継続支援A型の定員増を金沢市から認可される予定ですが、今後も安定的に地域のニーズに応じていくためにも、『A型⇒一般就労』という流れは確立していく必要があります。そのためにも「障がいがあろうがなかろうが、無理なく、楽しく、長く働く。そして、豊かな人生を送ってもらおう。」という想いを胸に、次年度以降も職員一同、精進していきたいと考えています。

## 就労継続支援 A 型

### 1 事業の開始と利用者の推移

令和4年	8月	1日	多機能型障がい福祉サービス事業所 CoCo 金沢開所
		4日	利用者4名入所
	9月	1日	利用者2名入所
	11月	1日	利用者1名入所
		30日	利用者2名退所（業務内容が本人と合わなかったため）
	12月	12日	利用者1名入所
令和5年	4月	1日	利用者4名入所
	9月	9日	利用者1名入所
	9月	30日	利用者1名退所（業務内容が本人と合わなかったため）
	11月	15日	利用者1名退所（家族の都合）
令和6年	4月	1日	利用者1名入所
	5月	1日	利用者1名入所
	5月	31日	利用者1名退所（業務内容が本人と合わなかったため）
	7月	17日	利用者1名入所
令和7年	2月	28日	利用者1名退所（体力的な限界）

総在籍者数 10名（令和7年3月末）

### 2 利用者の内訳

- 出身市町村 金沢市10名
- 性別 女性5名 男性5名
- 年齢（平均年齢…30.5歳）

10代…1名 20代…6名 30代…1名 40代…0名 50代…1名  
60代…1名

○障害種別

知的…6名（内療育手帳B…6名）

精神…4名（内精神手帳2級…3名 3級…1名）

○通所方法

自家用車等…2名 自転車…3名 徒歩…1名

送迎…4名（内金沢駅まで北鉄バス利用1名、最寄りのバス停などのランドマーク（金沢駅含む）まで徒歩3名）

※利用者個人の状況に応じて、手厚い送迎を行っている。

### 3 勤務体制

始業時刻…8時30分 終業時刻…17時

休憩時間…12時～12時50分 15時～15時10分

- ・日曜日が固定の公休。もう1日は利用者の希望の曜日に振り分けている。
- ・希望者は30分～2時間の勤務時間延長を行っている。

※ 上記勤務を目標に、一人ひとりの状態に合わせた短時間勤務や時差出勤希望の受け入れをした。

### 4 通所状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
94.54%	83.74%	91.52%	88.34%	89.36%	93.83%	94.68%

11月	12月	1月	2月	3月	年平均
92.38%	93.80%	84.52%	83.18%	88.77%	86.66%

勤務実態（出勤率）

- ・2月に退所した利用者が7月・8月・1月は30～40%、2月は0%の出勤となり平均を大きく下げた。
- ・5月はほぼ休まない利用者が心疾患で入院したこと、新規入所者が52%、2月退所利用者が59%の出勤率ということで平均が下がった。
- ・在籍10名中、8名は97%～92%の出勤率。2名は89%～86%の出勤率。

### 5 利用者の作業内容

全員、日本海リネンサプライ株式会社への施設外就労（ホテルリネンサプライ・クリーニング業）を行った。

洗い場…1名 タオル…3名

シーツ・枕カバー…4名（年度中途退所者1名含む）

包布・浴衣…3名（年度中途退所者1名含む） 第2工場デッキ…1名

## 6 利用者の給与

給与は最低賃金を確保するように努力しているが、労働形態に合わせて労働基準監督署の承認を得て、最低賃金減額特例を受けている方が4名いる。通勤費は全額支給、有給休暇（時間単位）付与、社会保険・労働保険全員加入。

### ○年収の状況

～600,000 円	1 名（年度中途退所者）
600,001 円～1,000,000 円	1 名（年度中途退所者）
1,000,001 円～1,300,000 円	5 名
1,300,001 円～1,600,000 円	0 名
1,600,001 円～1,700,001 円	0 名
1,700,001 円～1,800,000 円	2 名
1,800,001 円～1,900,001 円	3 名

平均年収 1,318,280 円

月額平均 123,624 円

## 7 個別支援計画

プロフィールアンケートを事前に記入してもらい、フェイスシート、アセスメントシート等を個人ごとに作成。本人、家族、担当職員等との個別面談を行い「就労継続 A 型支援計画（案）」を作成。本人及び家族に確認後に、「就労継続 A 型支援計画」として、その計画に沿って日々の支援を行っている。また、6 か月ごとのモニタリングを実施し、アセスメント、支援計画の見直しも行っている。

職員会議にてケース検討を行い、計画に反映している。

## 8 利用者のスキルアップ研修

### ○就労前研修

雇用契約・利用契約を結んだ利用者に対して、社会人としてのマナー研修を必ず実施し「挨拶の仕方」「言葉遣い」「話を聞くときの態度」等について説明している。また、就業規則の確認も行っている。

※研修後も、出勤退勤時、朝礼のときなど、必要に応じて支援していくことで、挨拶が苦手だった利用者が元気に挨拶できるようになるなど効果が見られている。

### ○労働安全衛生手帳の読み合わせ（一部就労継続支援 B 型も同様）

労働安全衛生手帳を全利用者に配布し、手帳の読み合わせを毎朝、朝礼時に行っている。

### ○労働安全衛生講習（一部就労継続支援 B 型も同様）

日本海リネンサプライ（株）の工場長に講師を依頼し、5 月末に毎年、労働安全衛生講習

を実施している。身近な作業場所、使用している機械の危険な箇所等を確認している。

#### ○個人面談（就労継続支援 B 型も同様）

毎月 2 回（第 2 週及び第 4 週）、すべての利用者と個人面談を実施している。作業目標達成度評価や、日々の仕事での困りごと、家庭での悩みごと、勤務時間などを聞く貴重な時間となっている。

※利用者も「面談の時に話します。」「今日は面談ですよね。」など浸透している。

※困ったことがあった場合は、個人面談とは別の時間で「今日、話を聞く時間を作ってもらえますか？」と面談を希望してくる利用者もいる。

#### ○連絡ノート（就労継続支援 B 型も同様）

すべての利用者に連絡ノートを渡し、家庭との連絡や本人の悩みや想いを書いて、毎朝、提出してもらっている。本人や家族との連絡が主たる目的になっているが、言葉で上手に表現できない利用者が悩みや想いを書いてきたり、家族に説明をしなければいけない事象があったときの、コミュニケーションアイテムとして利用する利用者もいる。

### 9 職員の指導体制 総員 5 名（令和 7 年 3 月末）

所長（サービス管理責任者兼務） 1 名

生活支援員 2 名

職業指導員 1 名

賃金向上達成指導員 1 名

### 10 職員の処遇（就労継続支援 B 型も同様）

服務規程及び賃金規定により処遇している。

職員研修については、令和 6 年度の実績は下記の通り。

#### 【研修実績】

施設内研修 虐待防止研修会（1 2 月及び職員会議内で実施）

施設外研修 就労継続支援・就労移行支援事業所との意見交換会  
金沢市障害者基幹相談支援センター虐待防止伝達研修  
石川県虐待防止・権利擁護研修  
地域生活拠点事業所連絡会  
障害のある人の就労スキルアップセミナー  
権利擁護セミナー  
いしとく公開講座 ※いしかわ特別支援学校主催  
三法人ジョイント研修会

### 【職員会議の実施】

毎月第3週または第4週の金曜日に実施

※ケース検討・虐待防止・研修なども含む

### 1.1 QOL活動について（就労継続支援B型も同様）

下記の通り実施

月	日	内容
4	11	お花見※11日・12日に分けて実施
	16	誕生会
	20	誕生会
	22	誕生会
5	3	端午の節句
	7	誕生会
	31	誕生会
6	11	誕生会
7	1	氷室の日
	7	七夕※7日に向けて短冊づくり
	18	誕生会
8	3	バーベキュー
9	17	お月見
10	15	誕生会
	31	ハロウィーン（カチューシャで仮装）
12	17	クリスマス会
	24	クリスマス（カチューシャで仮装）
	29	誕生会
1	3	書き初め
	9	誕生会
	11	鏡開き
	17	誕生会
	21	誕生会
2	3	節分
	9	日帰り旅行（神戸南京町）
	14	バレンタインデー
	16	日帰り旅行（ジブリパーク）
3	3	ひな祭り
	11	誕生会

- ・七夕は短冊を日本海リネンサプライ（株）の従業員の皆さんにも書いてもらう。
- ・ハロウィン、クリスマスは日本海リネンサプライ（株）の従業員も含め希望者にカチューシャを配り仮装してもらう。
- ・クリスマス会は事務所に全利用者が集まりケーキを食べながらビンゴ大会を開催。
- ・書初めは日本海リネンサプライ（株）の従業員も含め書いてもらう。
- ・節分は事務所に全利用者が集まり、福掴みと題しておかし掴みを行う。
- ・その他、誕生会、お月見、鏡開き、ひな祭りは食事の時間に食堂で実施。

## 1 2 保健衛生について（就労継続支援 B 型も同様）

### ○健康チェック表

毎日、出勤前に体温、身体状況などを自己チェックし提出している。

### ○健康診断

協力医療機関である公益財団法人石川県勤労者協会 城北病院による健康診断を年 1 回実施。令和 6 年度は 9 月 1 2 日に実施。

### ○静養等

家庭環境や生活環境によって、作業中に疲労による静養を行う方が数名いた。特に夏場は近年に稀に見る異常な高温で、静養する方が多く見られた。今は、静養を行う方はほとんどいない。

## 1 3 防災訓練・安全について（就労継続支援 B 型も同様）

- ・消防計画は作成したが、消防署には日本海リネンサプライ（株）から提出した。
- ・避難訓練は令和 6 年 9 月 3 日と 1 0 月 2 3 日に実施。9 月は地震についての座学、1 0 月は日本海リネンサプライ（株）と合同で実施。

## 1 4 地域との連携・協働

### ○特別支援学校の実習生受け入れ

月	人数	学校名等
7	1	石川県立明和特別支援学校（高等部 2 年生 1 名）

- ・実習期間は高等部 2 年生は 5 日間。
- ・就労継続支援 A 型について、定員いっぱいということもあり、令和 6 年度の高等部 3 年生の実習希望者はなかった。

### ○委託訓練実習生受け入れ

月	人数	学校名等
5	1	石川障害者職業能力開発校（5月中旬～7月中旬）

- ・20代の女性の実習を実施。その後の雇用契約・利用契約に繋がった。

#### ○見学者受け入れ（一部、就労継続支援B型も同様）

月	人数	所属等
6	21	金沢大学附属特別支援学校（高等部1年生8名及び教諭・保護者13名）
9	20	石川県立いしかわ特別支援学校PTA
9	14	石川県立明和特別支援学校（高等部1年生11名及び教諭3名）
11	6	ヴィストカレッジ金沢駅前（利用者4名及び職員2名、家族4名）
3	1	就労継続支援A型事業所マホガニー（サービス管理責任者1名）

- ・各特別支援学校の見学は、進路見学学習として行われた。
- ・いしかわ特別支援学校PTAの見学は役員会の勉強会の一環として行われた。
- ・ヴィストカレッジ金沢駅前の見学は、放課後デイサービスの仕事体験の行事として行われた。
- ・その他、ハローワーク金沢、各相談支援事業所、金沢障害者就業・生活支援センター、野々市市社会福祉協議会等の紹介で、見学者を随時受け入れている。

### 1.5 関係機関各所との連携・協働

#### ○金沢障害者就業・生活支援センター

CoCo 金沢通信の配布や研修会への参加などを通して、密な関係性を持っている。

#### ○各相談支援事業所（就労継続支援B型も同様）

仕事や家庭で悩みを抱えている利用者に対して、状況に応じて相談支援専門員にも入ってもらい、一緒に相談しながら課題解決を行うなど、密な関係性をもっている。

#### ○各障害者基幹相談支援センター（就労継続支援B型も同様）

金沢市、野々市市、白山市の各センターと連携を取っている。特に金沢市はセンター主催の研修会等にも参加している。

#### ○各社会福祉協議会（就労継続支援B型も同様）

金沢市、野々市市、白山市の各協議会と連携を取っている。金沢市は主催の研修会に参加、野々市市は利用者の見学などを実施している。

#### ○石川障害者職業能力開発校

就業前の実習として、委託訓練実習を取り入れている。令和6年度は1名の実習を行

い雇用契約・利用契約に至った。また、実習前や実習中のみならず、実習後にも密に連絡を取り合い情報収集と情報共有を行っている。

## 就労継続支援 B 型

### 1 事業の開始と利用者の推移

令和4年	8月	1日	多機能型障がい福祉サービス事業所 CoCo 金沢開所
令和4年	10月	1日	利用者1名入所
令和5年	2月	17日	利用者1名退所
(他法人就労継続支援 A 型事業所へ就職のため)			
令和6年	1月	9日	利用者1名入所
令和6年	3月	1日	利用者1名入所

総在籍者数 2名 (令和7年3月末)

### 2 利用者の内訳

- 出身市町村 金沢市2名
- 性別 女性1名 男性1名
- 年齢 (平均年齢…51.5歳)  
20代…0名 30代…0名 40代…1名 50代…1名
- 障害種別  
知的…0名  
精神…1名 (内精神手帳2級…1名)  
身体…1名 (内身体手帳1級…1名)
- 通所方法  
自家用車等…0名 自転車…0名  
送迎…2名 (最寄りのバス停まで徒歩2名)  
※利用者個人の状況に応じて、手厚い送迎を行っている。

### 3 日課等

- 日課  
8時30分～17時  
休憩時間 12時～12時50分 15時～15時10分  
※本人の希望、体調、体力、家庭環境等を考慮し、無理のない時間帯での実施となっている。  
※土曜日・日曜日の週休2日制。他開所日は希望通所。
- 作業訓練内容  
タオル、ガウンたたみ等

#### ○状況

令和7年3月末現在、B型利用者は2名。次年度は特別支援学校卒業生を中心に更に計画的に利用者を増やしていく。

#### 4 通所状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
100%	97.83%	67.5%	50.0%	89.90%	100%	100%
70.46%	67.39%	37.5%	19.57%	63.63%	81.00%	78.26%

11月	12月	1月	2月	3月	年平均
97.62%	92.86%	100%	97.5%	100%	91.10%
78.57%	77.28%	79.55%	80.00%	81.00%	67.85%

#### 利用実態（通所率）

- ・2名の利用者のうち1名は身体障がい者で体力面などを考慮し週3回の通所となっている（8月までは週2回）。上段は本人たちの通所日を基準とした通所率。下段は開所日を基準とした通所率。
- ・6月、7月は、3月の転倒事故で右肩脱臼となった利用者が手術のため入院となりなり通所率が下がった。
- ・通所時間は本人と相談を行い、身体状況等を考慮し柔軟に対応している。1名は8時30分～17時、1名は10時～12時（週3回）の通所となっている。

#### 5 利用者の工賃支給

《年間平均工賃月額》

#### 6 個別支援計画

プロフィールアンケートを事前に記入してもらい、フェイスシート、アセスメントシート等を個人ごとに作成。本人、家族、担当職員等との個別面談を行い「就労継続B型支援計画（案）」を作成。本人及び家族に確認後に、「就労継続B型支援計画」として、その計画に沿って日々の支援を行っている。また、6か月ごとのモニタリングを実施し、アセスメント、支援計画の見直しも行っている。

職員会議にてケース検討を行い、計画に反映している。

#### 7 職員の指導体制 総員4名（令和7年3月末）

- 所長（サービス管理責任者兼務） 1名
- 生活支援員 2名
- 職業指導員 1名

## 8 地域との連携・協働

### ○特別支援学校の実習生受け入れ

月	人数	学校名等
6	1	石川県立いしかわ特別支援学校（高等部2年生1名）
10	1	石川県立明和特別支援学校（高等部3年生1名）☆

- ・実習期間は高等部2年生は5日間。
- ・高等部3年生の実習生は利用契約を締結し、令和7年度4月より利用開始となる。

### ○見学者受け入れ（就労継続支援A型も同様）

月	人数	所属等
6	21	金沢大学附属特別支援学校（高等部1年生8名及び教諭・保護者13名）
9	20	石川県立いしかわ特別支援学校PTA
9	14	石川県立明和特別支援学校（高等部1年生11名及び教諭3名）
11	6	ヴィストカレッジ金沢駅前（利用者4名及び職員2名、家族4名）

- ・各特別支援学校の見学は、進路見学学習として行われた。
- ・いしかわ特別支援学校PTAの見学は役員会の勉強会の一環として行われた。
- ・ヴィストカレッジ金沢駅前の見学は、放課後デイサービスの仕事体験の行事として行われた。
- ・その他、各相談支援事業所、野々市市社会福祉協議会等の紹介で、見学者を随時受け入れている。

## 第2種障害福祉サービス事業

### 第2種障害福祉サービス事業

(共同生活援助事業・居宅介護事業・短期入所(ショートステイ)事業・相談支援事業)

## 地域生活支援センターCoCo ながの・ちくま

令和5年度の改正により、障害者総合支援法において、一人暮らしを希望する利用者に対する支援や、退去後の生活定着を支えるための相談支援が共同生活援助の重要な支援内容の一つに含まれるようになった。そして、令和6年度は障害福祉サービスの報酬改定が行われ、共同生活援助においては、障害支援区分の高い利用者の報酬は上がり、低い利用者の報酬は下がるよう改正された。こういった制度の変更から、障がいの程度が軽度で自立度の高い方は、一人暮らし等の地域移行を求められていることが伺える。当事業所の入居者についても、今現在の暮らしで満足されるだけでなく、一人暮らし等の本人の希望する暮らしの提供と一緒に模索しながら日々の支援を提供してきている。

そして、現場における大きな課題としては、ホーム開所当時から入居されている方々の、高齢化に伴った健康上の変化、そして通院の増加が挙げられる。そこに支援者の人材不足もあり、日々目の前の課題への対応に追われている。

また、CoCo ホーム白塚の建て替えについては、施設整備費補助事業の申請を行ってきたが、令和6年度予算での認可が下りず、令和6年度の事業として実施することができなかった。令和7年度の施設整備費補助事業への申請を進めていきたい。

CoCo ホームぼたんの里については、世話人が高齢と体調不良を理由に令和6年度末での賃貸契約の更新がされず、ぼたんの里は閉所することとなっている。入居されていた方の住居の移行、及び短期入所を利用されていた方の今後の利用先は、担当相談支援専門員と協力し本人の希望に沿った形で移行を進めることができた。

## 【共同生活援助事業】グループホーム

### 1. 事業の開始・閉所

平成16年	1月15日	CoCo ホーム千曲	(女性4名)
			→平成21年4月～(女性5名男性2名)
			→平成28年3月～(女性6名男性4名)
平成17年	7月1日	CoCo ホーム白塚102	(女性4名)
		CoCo ホーム白塚103	(男性4名)
平成18年	8月7日	CoCo ホーム表参道	(男性6名・女性1名)
			→平成22年6月～(男性7名)
平成20年	12月1日	CoCo ホーム蔵町	(男性7名)
			→平成21年11月～(男性9名)
平成22年	6月1日	CoCo ホームぼたんの里	(女性4名)
平成25年	2月10日	CoCo ホーム山王	(男性5名)
平成29年	6月1日	地域生活支援センターCoCo ちくま	開所

長野・須坂市内のホームを地域生活支援センターCoCo ながのの事業とし、千曲市内のホームを地域生活支援センターCoCo ちくまの事業とする。

平成 29 年 6 月 1 日 CoCo ホーム三本木 (男性 8 名)

令和 7 年 3 月 31 日 CoCo ホームぼたんの里 (女性 4 名) 閉所

CoCo ながの入居者定員総数 29 名

CoCo ちくま入居者定員総数 18 名

・令和 6 年度の入居者数の変動

令和 6 年 5 月末 CoCo ホームぼたんの里 女性 1 名退去→ご自宅へ

令和 7 年 3 月末 CoCo ホームぼたんの里 女性 1 名退去→他グループホームへ

令和 7 年 3 月末時点

入居者実数 CoCo ながの 29 名 (男性 25 名・女性 4 名)

CoCo ちくま 17 名 (男性 11 名・女性 6 名)

合計 46 名 (男性 36 名・女性 10 名)

## 2. 入居者の状況

<CoCo ホーム白塚 1 0 2> 女性 4 名

- ・出身市町村 (長野市 2 名) (千曲市 1 名) (高山村 1 名)
- ・年齢 45 歳～66 歳
- ・日中の場 キッチン CoCo (就労 B 型) 1 名/アトリエ CoCo (就労 B 型) 2 名  
アトリエ CoCo (就労 B) ぴあっと松岡 (生活介護) の併用 1 名
- ・ホームの様子

女性 4 名のホーム。ホーム内での人間関係によるトラブルが多い。支援者は常に状況を正しく把握できるよう世話人、生活支援員が情報共有を密にとると共に、日中事業所との統一された支援を心がけ、トラブルを未然に防げるように支援を組み立てている。入居者の話を丁寧に聞き取り、気持ちよく過ごせるアドバイスを心がけている。

身体的に障がいのある方は、外部のマッサージ治療を受け入れている。定期的なマッサージの効果が出ている。障がい福祉サービス以外の社会資源の活用を積極的にしている。また、就労系のサービスでは本人の体調に合わなくなってきており、生活介護のサービスの併用を始めている。

高齢化に伴い、定期的な通院、服薬管理、医療との連携の支援が急増している。

<CoCo ホーム白塚 1 0 3> 男性 4 名

- ・出身市町村 (長野市 1 名) (飯山市 1 名) (小川村 1 名) (筑北村 1 名)
- ・年齢 63 歳～80 歳
- ・日中の場 アトリエ CoCo (就労 B 型) 3 名/キッチン CoCo (就労 B 型) 1 名
- ・ホームの様子

高齢期の男性のメンバーが暮らすホーム。3名は人間ドックを受診し、必要な治療に結びつけてきている。高齢化に伴い、通院の頻度が上がっている。通院、服薬の管理等々、健康管理の支援が主な支援になってきている。定期的な通院が増え、付き添っての受診ができるように支援している。

また、高齢化により物忘れや部屋の整理整頓といった日常的な部分の支援が今まで以上に必要になってきている。居室の整理整頓や衣服の管理が難しくなっており、個別に居室の整理を行なっている。また、ご本人の希望に合わせた外出・買い物や余暇の充実等の支援を広げ楽しみのある生活を組み立てている。

#### <CoCo ホーム表参道> 男性7名

- ・出身市町村 (長野市 7名)
- ・年齢 21歳～68歳
- ・日中の場 アトリエ CoCo (就労B型) 1名  
アートカフェ CoCo (生活介護) 1名  
CoCo JAVJAV (就労B型) 2名  
ななせ仲まち園 (就労B型) 1名  
なから (就労B型) 1名  
企業就労(長野リネン本社工場) 1名
- ・ホームの様子

365日ホームを利用する方、週末には実家へ帰省をする方、一般就労している方、生活介護に通所している方等々、様々な生活スタイルを持つ方たちが同居している。日中通所場についても、生活介護の方と一般就労の方、年齢も障がいの特性も幅広い方々が利用をされている。

普段は、健康管理や金銭管理、余暇の過ごし方など、個々の課題に目を向け取り組んでいる。

#### <CoCo ホーム蔵町> 男性9名

- ・出身市町村 (須坂市 7名)(長野市 1名)(木島平村 1名)
- ・年齢 50歳～65歳
- ・日中の場 企業就労(長野リネン須坂工場6名・本社工場1名)7名  
アトリエ CoCo (就労B型) 1名  
須坂市地域活動支援センター1名
- ・ホームの様子

60歳を超え一般就労から次の生活スタイルを模索し始めて方が増えてきている。今までできずに来たことを、その方の夢プランとしてスペシャルな支援を提供できればと考えている。日中の過ごし方について、就労から余暇の支援を必要とする方向に変わってきている。ご本人の希望を探りながら、一緒に今後の生活スタイルを築いていきたい。

また、加齢に伴う体力の低下や、疾病も現れるようになってきた。働き続けるための健康管理とともに、日常生活や余暇の経験の幅を広げる支援を心がけている。ご家族の高齢化や外界による、親から兄弟への代替わりで、身内との関係性に変化があり、ご本人を取り巻くご家族

との関係調整の支援を始めていきたい。

#### <CoCo ホームぼたんの里> 女性 1 名

- ・出身市町村 (長野市 1 名)
- ・年齢 32 歳
- ・日中の場 アトリエ CoCo1 名 (生活介護 1 名)
- ・ホームの様子

住み込世話人の支援を受けながら、細かい部分まで支援をし、入居者の暮らしを支えてきた。また、ショートステイの利用者さんも受け入れながらの生活環境となっている。

利用者 1 名が 5 月末には正式に退去となり、1 名の入居者で運営してきた。世話人 (ホームの大家) の高齢及び体調不良に伴い、ホームの賃貸契約の更新がされないこととなり、令和 7 年 3 月末をもって閉所となった。入居者 1 名については、相談支援専門員と協力をし、本人に適した他グループホームへの移行をすることができた。

#### <CoCo ホーム山王> 男性 5 名

- ・出身市町村 (長野市 4 名)
- ・年齢 30 歳～61 歳
- ・日中の場 企業就労 (轟電化工業) 1 名  
アトリエ CoCo (生活介護 1 名・就労 B 型 1 名) 2 名  
CoCo JAVJAV (就労 B 型) 1 名
- ・ホームの様子

長野駅前のホームということもあり、企業就労されている 1 名は、自分の時間を有効に活用している。また、定年を迎え退職した方もマイペースに日常を過ごされている。入居者が企画をし、ホームレクを実施。ホームの中まで外出を楽しむことができた。

ホーム内はそれぞれの個性を尊重し合いながら、また、助け合いながら暮らしている。その中で、若い入居者さんたちも生活の中でできることを増やしながらか生活している。

#### <CoCo ホーム千曲> 女性 6 名 男性 3 名

- ・出身市町村 (長野市 3 名) (千曲市 1 名) (坂城町 2 名) (上田市 1 名) (中野市 1 名) (筑北村 1 名)
- ・年齢 25 歳～59 歳
- ・日中の場 クリーニング工房 CoCo (就労 A 型 4 名・就労 B 型 2 名) 6 名  
スタジオ CoCo (就労 B 型) 1 名  
企業就労 ((株) ロビニア) 1 名  
就職活動中 1 名
- ・ホームの様子

CoCo ホームの中で 1 番歴史のあるホーム。昨年度新しくホームに迎えたお二人も、ホームの生活に慣れ、ホームレクを一緒に楽しんだりすることができている。

入居されている皆さん同士、挨拶を交わしたり、人間関係は良好。お互いに声を掛け合いホームの雰囲気も良い。一般就労先での仕事が困難となり退職し、福祉就労につながった方がいる。本人の体調等全体的には、適切な移行となった。また、他にも一般就労先より契約更新にならず、就職活動をされている方がいる。

#### <CoCo ホーム三本木> 男性 8名

- ・出身市町村（長野市3名）（千曲市4名）（坂城町1名）
- ・年齢 32歳～59歳
- ・日中の場 クリーニング工房 CoCo（就労A型）2名  
スタジオ CoCo（就労A型1名・就労B型1名・生活介護1名）3名  
チューリップの家（就労B型）1名  
クロスロード寂蒔（就労B型）1名  
デイケア（篠ノ井橋病院）1名
- ・ホームの様子

年齢も若く活動的な入居者さんが多く、その分支援をする内容も多岐にわたっている。金銭の管理、余暇の過ごし方、居室の整理整頓、服薬管理等々、生活全体の支援が必要。

特に精神障がい症状が強い入居者については、日中事業所との情報共有や統一した声掛けの配慮が必要であり、日中事業所や医療機関との連絡調整を小まめに行っている。

### 3. 生活状況 / QOL等

「グループホーム＝地域で暮らす」と思われがちだが、決まった集団の中だけで生活し、休日にも本人の希望する過ごし方が実現できないようであれば、それは、地域で暮らしているとは言い難い状況だ。小集団とは言え、他人と一緒に暮らす事の辛さを忘れることなく、できる限り個別の生活がおくれる様、環境の配慮を行っている。また、ご本人の意思に沿った個別支援をできる限り意識している。自分のおやつは自分で買い物してくる、好きな芸能人のコンサートへ出かける、大切なご家族との面会に行く、長期休暇は連泊でホテルへ、ご先祖様のお墓参り、新幹線に乗って遠くへ旅行に行きたい等々、それぞれの意向に沿った支援提供を繰り返し行っている。

また、ホームで暮らしながらその地域の行事には積極的に参加している。支援者も含め、避難訓練への参加、地区の掃除の参加等、地域の方との交流を深めながら行事参加を行ってきた。

### 4. 職員体制

#### 地域生活支援センターCoCo ながの

管理者 1名（ちくまと兼務） サービス管理責任者 2名 生活支援員 7名  
世話人 18名 白塚102・103：5名 / 表参道：4名（宿直1名）  
蔵町：4名 / ぼたんの里：1名（宿直1名：住み込み）  
山王：4名

#### 地域生活支援センターCoCo ちくま

管理者 1名（ながのと兼務） サービス管理責任者 1名 生活支援員 2名  
世話人 14名 千曲：5名 / 三本木：8名

## 5. 食事

各ホーム、ヨシケイのサービスを利用しながら、手作りで栄養バランスのとれた食事の提供をこころがけている（ヨシケイのメニューは栄養士による献立）。ヨシケイのサービスを利用することで、世話人の負担も軽減させることができ、人材の確保につながっている。季節の行事メニューや誕生日メニュー、外食の企画等、入居者にアンケートをとりながら嗜好を取り入れた献立も作っている。入居者やショートステイの利用者からは「食事が美味しい」と良い評価を頂いている。

## 6. 健康管理

日常の健康チェックに加えて、通院・服薬の支援を行ってきた。加齢とともに体調の変化が現れてきている入居者が多く通院の種類や回数が増えてきている。必要な人にはホームで血圧や体重測定を続けている。通院先は、地域の内科をはじめとして、歯科・眼科・耳鼻科・精神科・皮膚科・胃腸科・婦人科・整形外科・総合病院と多岐にわたり、定期通院の付き添いが必要なところを複数持っている入居者もいる。医療機関と連携しながら情報を共有して支援してきた。連携は病院に限らず、地域の訪問看護ステーション、インフォーマルなマッサージ等地域の社会資源を活用しながら、ご本人の健康管理を継続させている。

ホームの入居者の通院については、通院等介助のサービスを利用できる方は、そのサービスを利用し通院するが、対象とならない通院についてはホーム対応となり、年々ホーム生活支援員の負担が増えてきている。通院に対しての加算等、制度の見直しを呼びかけていくことも必要。

また、40歳以上で人間ドックの受診を希望する方には、申込み手続きから当日の付添いまでを支援しており、今年度は3ホーム、6名の入居者が受診した。疾患の早期発見に努めている。

感染症の感染防止については、感染症予防マニュアルを基に、マスク着用・手指消毒・手洗い等の準備品をそろえ、入居者への呼びかけを続けている。その上で発生時には、マニュアルに沿って対応を進めてきた。感染対策としては、帰宅時の手洗い、手指消毒、ホーム内の換気、毎日の検温、食事時間の変更、部屋から出る時にはマスクを使用、入居者、職員ともに感染予防に取り組んでいる。

## 7. 防災体制

各ホームとも、前期後期2回の避難訓練を実施。水害対象となっているホームについては、水害時の災害想定にて訓練を実施している。避難訓練については、行政への報告義務もあるため、「実施→報告」を行ってきている。

避難訓練の際には防災用品の期限切れや不足の物の点検、補充を行っている。

また、感染症のBCP、災害時におけるBCPは作成しただけではなく、訓練等を実施しながら、実際に活用できることを目標に更新していきたい。

## 8. 研修等

年間の研修スタイルを示し、それに沿って実施してきている。

6月には各自に人権チェックリストを実施して頂き、自分の現状把握を呼びかけ、人権意識を高めて頂いた。前年度と同じチェックをすることで、各自自己評価につながっている。また、月1回を目標にホーム毎の支援会議を行い、世話人と生活支援員で支援の振り返りと情報の共有及び支援の方向性の確認に努めた。

長野市・千曲市・須坂市の自立支援協議会の各部会に参加して情報共有を行い、それぞれの協議会が開催する研修会には積極的に参加をし、その後のスタッフ会議にて伝達研修を行っている。

7月には長野県知的障がい福祉協会主催の関東地区知的障害福祉関係職員研究大会 長野大会に、スタッフを参加させ、精神障害を抱える方たちの支援の実践、障がいのある方の意思決定支援について等、学ぶ機会となった。

12月には、他法人とのジョイント研修を企画、実施した。障がい福祉サービス報酬改定から見えるその趣旨と将来についての内容、また、行動障がいの方の支援についての2つの基調講演をうける良い研修になった。

また、12月には集合研修として世話人研修を実施。長野市虐待防止センターの出前講座を行っている。その後の全体でのディスカッションでも、日頃の疑問などを話し合う良い機会となっている。

## 9. 地域への開放

千曲市においては、稲荷山養護学校の当事者及びご家族、先生方の障がい福祉現場の見学が行われ、ホームの見学、及びホームでの生活について説明会を行った。

須坂市精神障がいの家族会には、グループホームでの暮らしについて、スライドなどを活用し、説明会を行っている。

長野清泉女学院の心理学科の実習生を受け入れ、地域で暮らす障がい者の生活について学ぶ機会を提供してきた。今後も続けていく予定。

別支援学校を始めとするグループホームの見学の要望には都度対応をしながら、大切な社会資源としての役割が果たせるよう取り組んできている。

## 10. 評価及び課題（実践を通して）

エネルギー費や物価の高騰、そしてお米の値段の高騰、働く人材の不足、超高齢化社会等々、社会的に大きな課題となっていることは、そのままグループホームにおいても全く同じことが課題となってきている。

光熱費の高騰や、お米の高騰については、世話人を始め支援者全員でできる限りの節約を検討し、それでも追いつかない分は、入居者さんたちの自己負担額を値上げさせて頂くことで対応してきている。障害基礎年金2級を受給し、それ以外の収入が工賃しかない、といった方にとっては、グループホームでの生活は経済的には窮屈なものになりつつあるのが現実である。

そんな中でも、今年度、経済的にも親からの自立を図ってきた R さんがいる。R さんは、ホームに入居して 10 年がたつ。今まではご家族がご本人の年金等を管理し、定期的にお小遣いももらいながら生活をしてきた。しかし、ご家族が経済的に困窮状況に陥り、R さんも同時に財産がない状況へと陥ってしまった。それが令和 6 年 4 月頃のこと。R さんを含めた、ご家族と相談する中で、「R さん、経済的にも自立していこう！」と提案し、R さんの経済的な部分の支援に取り組み始めた。

障害基礎年金だけでは生活ができないため、生活保護の受給のお手伝いをし、計画的にお金を使う方法を本人と相談をしながら進めた。「働いて稼ぐ！」という本人の想いに合わせてしまうと、無理をしてその後不調になってしまうという失敗もした。お金がなくて休日のお昼は残ったご飯で我慢したこともある。必要以上にお金を持つとついつい買い物に行ってしまうことも分かった。日中事業所と情報共有し、役割分担しながら、R さんに合ったお金の使い方を見つけ、R さんの望む生活に近づけるよう支援してきた。

約 1 年が経過した R さんの生活は、とても穏やかである。全く無くなってしまった財産は、少しずつ溜まり始めている。日常の買い物であれば、制限することなく買い物ができる。頻繁に会っていたご家族とも会わなくても問題なし。月に 1 度出かけるホームの仲間との温泉外出をととても楽しみにしている。糖尿病の状態も全く問題なしの状況にある。日中事業所での作業だって自分のペースを見つけ、疲れすぎないように自らをコントロールしている。ここ 10 年で一番安定した生活を送っているように感じる。

ご家族から勇気を出して距離をとったことが、今年の R さんの大きな変化につながっている。「R さんはご家族とのつながりが大切だから・・・」という支援者側の想いが R さんの自立を妨げていたのかもしれない。

支援者の思い込みは、利用者さんの本当の姿を見えなくしてしまうことがある。ご本人にとって今はどういった状況なのか、どこを支援することがその方の望む姿に近づくことができるのかを適切に判断し、支援提供していくことの大切さを感じる。

「答えは現場が教えてくれる」、常に現場の支援を通して学び、地域で暮らす方々の生活、夢の実現を支えて行きたい。

## 【短期入所事業】 ショートステイ

「自立生活をしたい！」「グループホームで生活してみたい！」「将来的には自立した生活をしてほしい」「親元を離れての暮らしがイメージできる体験をさせたい」「緊急時に対応してもらえる場があると安心」という本人・保護者の願いに沿うべく、当法人の共同生活援助住宅の一室を活用して短期入所（ショートステイ）の事業を開始した。

利用のきっかけや目的は様々で、グループホームで生活リズムを作りたい人、家を離れる体験をしてみたい人、グループホーム入居に向けて練習したい人のほかに、家庭の都合や事情で緊急に利用したい人などであった。

### 1. 事業の開始・閉所

平成 22 年 7 月 1 日 CoCo ホーム表参道／CoCo ホームぼたんの里  
平成 29 年 6 月 1 日 地域生活支援センターCoCo ちくま (CoCo ホーム三本木)  
令和 7 年 3 月 31 日 CoCo ホームぼたんの里 閉所

### 2. 事業提供の場所と定員

CoCo ホーム表参道 定員 1 名  
CoCo ホームぼたんの里 定員 1 名  
CoCo ホーム三本木 定員 2 名

### 3. 利用状況 (月別のべ利用人数)

	R6 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R7 1 月	2 月	3 月
表 参 道	13	19	15	15	16	14	16	14	9	11	15	15
ぼ た ん の 里	7	7	16	21	8	4	9	11	8	8	7	11
三 本 木	19	24	27	25	25	23	28	23	25	16	26	32

### 4. 評価及び課題

グループホーム併設型のため、感染症には十分に注意をしながら、感染対策を取りつつ利用の受け入れを進めてきた。利用率としては、コロナ禍以前の利用数に戻りつつある。

以前は自立に向けて、又は一人の時間を過ごすために、といった理由で利用を始める方が多かったが、最近のご家族のレスパイトとして活用することが増えている。それだけ、利用されている方の障がいの程度が重度化してきているのも一因だと思われる。ショートステイの役割も少しずつ変わってきており、当事者ができる限りご家族と一緒に暮らしていくためのサービスとなってきているように思う。そういったニーズにお応えすることもご本人を支援するためには大切なこととなっている。

ホームぼたんの里については、令和 7 年 3 月末をもって閉所となったため、短期入所の事業も閉所となる。定期的に利用されていた方については、相談支援専門員と協力をし、ご本人ご家族の意向を確認しながら、新しい場所を提案させて頂いている。

ホーム三本木については、R4 年度からは地域生活支援拠点として緊急時の受け入れを担っており、対象者が発生した際には、行政、基幹相談支援センター等と連携し、検討を重ねながら、

受け入れの判断をしている。

2床の利用が可能であるメリットを活かし、かつ緊急時には定員を超過しながらでも受け入れをしてきている。今後も緊急時の受け入れができるよう態勢を整えていきたい。

また、新規のレスパイトとして利用をしたい方が増えており、受け入れが可能な方については、丁寧なアセスメント、体験を経て利用へとつなげている。

## 【居宅介護等事業】—地域生活支援センターCoCoながの—

○事業開始年月日 平成18年7月1日

平成22年5月より、長野市基準該当事業所として登録

○事業内容

- ・居宅介護事業（身体介護中心・家事援助中心・通院等介助） ・行動援護事業
- ・移動支援事業 ・長野市障害児自立サポート事業 ・市町村障害児（者）タイムケア事業

○職員体制

管理者 1名 / サービス提供責任者 1名 / 居宅介護等従事者 5名  
行動援護従事者 4名 / 移動支援従事者 5名 / タイムケア等従事者 5名

○利用者

日中の通所事業利用者 / グループホーム入居者

在宅単身生活者 / 在宅の障がい者・児（日中を他法人事業所利用）

（長野養護学校児童・生徒 / 稲荷山養護学校児童・生徒）

（特別支援学級及び情緒学級在籍児童・生徒）現在児童の利用は無し

○評価及び課題

<居宅介護事業>

通院等介助のサービスについては、障がいのある方にとって、通院に関する支援はとても重要な部分であり、地域で暮らす方達にとっては、なくてはならないものとなっている。本人一人では通院が困難な方にとっては必要なサービスとなっている。また、ホームに暮らす高齢の利用者の通院頻度も増えている。

今後も居宅介護事業を維持することができるようヘルパー人材の確保・育成が大きな課題となる。

<移動支援事業・行動援護事業>

移動支援、行動援護ともに利用ニーズは高いが、その支援を担えるスタッフの不足により受け入れ困難が続いている。

移動支援は、週末を中心にご本人の希望に沿って実施している。若穂地区から支援の場合は、路線バスの減便により限られた時間での計画になってしまう。今後今よりも減便になってしまうとサービス提供ができない状況になってしまう。定期の希望はもちろんのこと、イベントへの参加などの希望にもできる限り沿えるよう、職員の配置を進めている。

行動援護については、地域で暮らす重い障がいのある方の社会参加を支える大切なサービスになっている。利用については相談を受けながら、他の事業所とも連携しながら、どうしても利用すべき事案からお受けするようしてきた。今後も現状のサービスを維持しながら、従事できるスタッフの確保、育成を進めていきたい。

<障害児自立サポート事業・タイムケア事業>

障害児自立サポートについては、今年度は利用者がいなかった。

タイムケアについては、日中事業所終了後の時間や土曜日といった利用がメインとなり、ご家族のレスパイトでとしての利用となっている。また、タイムケアの利用者については、ケア会議を通して各事業所間の情報共有を計ると共に、統一した支援につなげることができている。タイムケア事業としてお預かりするだけでなく、相談にのる、今後について一緒に考えるとといった地域の社会資源としての役割を果たすことにつながっている。

○利用実績

R6年度	居宅介護 (身体介護・家事 援助・通院等介 助)			行動援護			移動支援			タイムケア			長野市障害児 自立サポート		
	利用者 数	延利 用者 数	総利 用時 間	利用 者数	延利 用者 数	総利 用時 間	利用 者数	延利 用者 数	総利 用時 間	利用 者数	延利 用者 数	総利 用時 間	利用 者数	延利 用者 数	総利 用P
令和6年 4月	3	4	4.0	3	21	31.0	12	13	67.5	14	56	179	0	0	0.00
5月	6	7	8.5	4	19	40.5	8	9	49.0	14	52	155.25	0	0	0.00
6月	6	7	9.0	3	21	34.5	12	12	70.0	18	57	189	0	0	0.00
7月	5	6	8.0	4	22	41.0	9	9	48.0	18	65	182	0	0	0.00
8月	6	6	6.0	4	19	33.0	11	11	66.5	15	47	146.75	0	0	0.00
9月	5	7	7.5	4	22	43.0	6	6	25.0	15	35	100.5	0	0	0.00
10月	7	7	9.0	4	19	33.5	8	8	42.0	14	50	150.00	0	0	0.00
11月	5	6	6.0	4	21	40.5	9	10	41	15	39	140.50	0	0	0.00
12月	5	5	5.0	4	22	43.0	7	7	37.5	13	36	109.50	0	0	0.00
令和7年 1月	5	6	7.0	3	16	29.0	5	5	23.5	13	40	130	0	0	0.00
2月	5	5	5.0	4	20	37.5	6	6	35.5	15	39	137.75	0	0	0.00
3月	5	5	5.0	4	19	37.5	7	8	34.0	16	50	157.50	0	0	0.00
合計	63	71	80.0	45	241	444.0	100	104	539.5	180	566	1777.8	0	0	0.00

### 【相談支援事業】

#### (指定特定相談・指定障害児相談・指定一般相談・長野市区分認定調査)

今年度は専任3名、兼務1名の相談支援専門員が、障害福祉サービス等利用計画の作成に取り組み、機能強化型サービス利用支援費（Ⅱ）の加算基準を満たした状態で運営することができた。前年度退職した相談員の代替りの人員が補充できずにいる中、昨今の相談支援専門員不足が長野市や千曲市でも大きな課題となっており、新規の案件も積極的に受託している。それぞれの相談員への負担はより大きなものとなってきているが、一人一人に寄り添った相談支援の実施を心がけ、取り組んできた。

新規相談については、相談支援センターや日中支援事業所からの依頼が大半を占めるが、

上に記した通り相談支援専門員の不足が大きな課題となっているため、相談者ご本人からの切実なる依頼も増えている現状がある。そういった依頼を受け、サービス等利用計画を作成することが主な業務となるが、障害福祉サービスを開始、または継続して行くためには、行政、委託相談員、サービス提供事業所、地域の支援者との連携を密にチーム支援を行うことが大切となる。そのために、ご本人やご家族、市町村ケースワーカー、各事業所のサービス管理責任者及び担当者、相談支援専門員らが顔を合わせ、支援会議を行うことには大きな意味がある。顔の見える良好な関係性を維持し、チーム支援が実現することで、今後ご本人やご家族へ安心をご提供できるとよい。

相談支援専門員やサービス等利用計画の質の向上させるために、指定相談支援事業所連絡会や各種研修会へ積極的に参加し、情報共有や情報のアップデートを重ねてきた。また、要件に当てはまる研修会に参加することで、「行動障害支援体制」「精神障害者支援体制」「要医療児者体制」の加算基準を満たしている。そして、2名の主任相談支援専門員を配置し、事業所内の相談支援の質を高める一助となっている。それと共に、千曲市の基幹相談支援センターが実施する事例検討会や、長野市南部障害者相談支援センターに出向している相談員との連絡会に参加することで、地域課題への取り組みを行い、地域の相談支援体制向上のための役割も担っている。

専任の相談支援専門員の複数配置や、千曲市・長野市の委託の相談員の配置によって、チームとして相談支援に取り組むことができることは、各相談員の心強さに繋がっている。相談員同士の支え合いは、相談支援専門員の孤立感を減少させるとともに、複数の多角的な視点でのケース検討が可能となり、より良い相談支援を実施できる環境となっている。

相談支援専門員が抱えるケースの件数が増えるにつれ、事務処理が増加し、ケースの管理に多くの時間を費やすこととなっている。事務処理については、必要最低限を守りながら、できるだけ簡素化し大きな負担なく取り組めるよう、今後も模索していきたい。

長野市区分認定調査については、計画相談の件数が多く、相談内容も多岐にわたっているため、受託していない。

#### 令和6年度相談支援事業実績

計画相談件数	モニタリング件数	障害児相談件数	障害児モニタリング件数	地域移行相談件数
301件	550件	29件	56件	26件

### 【長野市障害児（者）ケアプラン作成事業】

長野市ケアプラン作成事業については、指定計画相談支援事業の補助的な役割となっている。当法人の持つ長野市障害児ケアプランは、すべて指定障害児相談支援事業に移行することができているため、令和6年度には長野市ケアプランは作成されなかった。

## 【千曲市障害者等基幹相談支援センター事業】

### 1. 職員体制（派遣状況）

- ・千曲・坂城障がい者（児）基幹相談支援センター 6名  
（相談員2名・事務員1名 計3名が地域センターCoCo ながの所属）

### 2. 取り組みについて

#### ①総合的・専門的な相談支援の実施

役割	目的	取り組み経過・課題
専門職の配置、ワンストップの相談窓口	関係機関と連携しワンストップとしての機能を果たすため、総合的な相談支援に努め、地域で支える体制作りを構築する。社会福祉士、保健師、主任相談支援専門員等で、困難事例の対応について助言する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合相談窓口として多岐にわたる相談が寄せられ、内容に応じた関係機関と連携し対応に努めた。今後も、必要としている方に適切な支援が届くよう住民への周知や関係機関との連携強化に努めていきたい。</li> <li>・生活介護および放課後等デイサービスの2カ所の事業所訪問を実施した。支援の実際を見せていただき地域の課題等を共有した。今後も3障がい対応も含め事業所が抱えている課題等の把握に努め、地域で支える体制づくりを目指したい。</li> </ul>

#### ②相談支援体制の強化

役割	目的	取り組み経過・課題
相談機関との連携強化	相談機関との連携強化を図り、支援体制の充実に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野圏域で委託相談を受けている相談員の連絡会にて情報交換を行い、それぞれが抱える課題等の共有を行った。</li> <li>・基幹および主任相談支援専門員が中心となり、相談部会での研修や相談支援専門員の初任・現任研修の現地実習（インターバル）を担った。</li> <li>・主任相談支援専門員の連絡会を実施し、主任相談支援専門員に求められる役割、その役割をどのように果たしていくか等を検討することができた。</li> <li>・今後も主任相談専門員と連携して人材育成に努めていきたい。</li> </ul>
相談支援事業所間の連携・課題共有	相談支援専門員の相互のスキルアップに努める	
相談支援事業者の人材育成	相談支援専門員の専門性を高める	

#### ③地域移行・地域定着促進への取り組み

役割	目的	取組み経過・課題
地域生活を支える体制整備をする	誰もが安心して暮らす仕組みづくりを、「Nimo 包括検討委員会」を中心に取り組み、地域移行、地域定着につなげる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Nimo 包括検討委員会で昨年度からの継続協議の「障がいの理解」「当事者の声」に関する協議と「移動の問題」に関する協議を実施。</li> <li>・移動に関する問題について、自立支援協議会の各部会においてアンケート調査等により実態調査を行い地域連絡会の中で共有を行った。</li> </ul>

#### ④権利擁護・虐待の防止

役割	目的	取組み経過・課題
権利擁護・差別解消	案件に関し速やかに対応を図り、防止にも重点を置く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待が疑われるケース、成年後見制度の利用を検討するケースの相談があり、相談ケースの多様化</li> <li>・深刻化が課題。多職種、多機関との協働が求められる機会が増えることから連携体制の強化に努めたい。</li> </ul>
成年後見制度利用促進	成年後見制度について周知を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の権利擁護研修に参加。自立支援協議会における研修については、生活部会と共催で「権利擁護と行動障害について」というテーマで権利擁護研修会を開催した。</li> </ul>
虐待防止の相談支援	虐待防止法の理解促進に努める	

#### ⑤当事者会発足に向けて

役割	目的	取組み経過・課題
当事者の声を聴く場や当事者同士の交流の機会を設定	当事者の声を聴き、地域に必要な資源を開拓する自立支援協議会への参加を促す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「さん・さんネット部会」主催のさんきゅーあーと展の準備会に当事者や地域の方にも参加していただき共同作品の仕上げを一緒に行うことができ、交流の機会となった。</li> <li>・精神障がい当事者「ひこばえの会」の運営をサポートした。さん・さんネット部会やこころ部会など自立支援協議会の活動参加に繋げた。</li> </ul>

#### ⑥自立支援協議会体制づくり

役割	目的	取組み経過・課題

<p>自立支援協議会の運営</p>	<p>地域課題を把握し、取り組みの検討や相談支援体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題について協議を行い、広域的な協議が必要な支援者の人材不足」「利用者の高齢化」「圏域を跨いだ連携」について県自立支援協議会に提出した。</li> <li>・「ONE TEAM みんなでつくろう地域のWA」というテーマで全体会を開催。運営を担う地域連絡会を中心に協力事業所、販売会の出店事業所、登壇者、来場者が一体となって盛り上がり支援の輪が広がった。</li> <li>・地域生活支援拠点の整備に関して、地域連絡会の中で緊急時の受け入れ状況等の評価検証を行った。</li> <li>・福祉の現場に携わる看護師の交流会を開催。職場内で相談しにくい医療職ならではの悩みなどを共有する機会となった。</li> <li>・ホームページや協議会だよりを通しての活動状況を発信しているが、まだ基幹の認知度が低くさらなる活用を目指したい。</li> </ul>
-------------------	-----------------------------------	--

### 3. 相談件数及び内訳

年間相談件数 4,005 件

年間件数	電話	2372	来所	359	同行	324	訪問	492
合計 4005 件	メール	147	支援会議	205	関係機関	88	その他	18
対象者（実人員）	身体	32	知的	102	精神	147	発達	73
445 人	高次脳	0	重症心身	2	その他	89		
支援内容	福祉サービス利用	2180	不安の解消	519	人間関係	612	健康・医療	702
(相談件数の多いものから抜粋)	就労	641	家計・経済	861	保育・教育	71	生活技術	713
	障がいの理解	751	社会参加	274	地域移行・定着	74	権利擁護	52
※ 家計・経済に関する相談のうち、年金に関する相談は 189 件								
※ 新規相談件数 146件 < 者：103件 児：43件 > ( 本人/10 家族/30 行政/25 保健センター/25 教育/11 保育/5 医療/11 まいさぼ/7 介護/6 ハローワーク/1 関係機関/15 )								

## 【長野市障害者相談支援センター事業】

## 【長野市障害者地域移行相談支援事業】

### 1. 職員体制（派遣状況）

- ・長野市南部障害者相談支援センター

(専門員 1 名 地域移行コーディネーター専門員 1 名が地域センターCoCo ながの所属)

## 2. 活動実績

○総合相談窓口としての業務

○南北センターミーティング (月 1 回)

- ・情報共有/新規ケース・継続ケースの報告 ⇒ 見える化し、ケースを分析
- ・事例検討/センター専門員の質の担保

○相談支援事業所のバックアップ/個別ケース相談、地域での連絡会の開催、情報の連絡・周知

○関係機関との連携・社会資源とのネットワークづくり

○地域での啓発活動報告 (障害理解・虐待防止等研修会協力、他分野企画の催し・会議への参加)

○長野市障害ふくしネット (協議会) への参画、委託事務局 (南部)

## 3. 総括 (相談内容から見えてきた現状・課題)

○福祉サービスの利用相談等から見えてきたもの

### ・就労 (仕事) の相談

就労系サービス希望や主訴の多くは「出来れば (いずれは) 働きたい」。相談のタイミングとすると、①10 代から 20 代前半では休学や不登校のきっかけを含む学齢期終了後から②就労経験はあるがブランクがある方③家居中心の生活から社会参加を目指す方が繋がってきている状況が見られる。

近年シニアになっても長く働き続ける社会情勢から、生活していくため (収入を得る、張り合いを持つなど) 一つの雇用先のような選択肢として障害福祉サービスの就労継続支援 B 型の利用を希望する相談もある。

### ・住まいの相談

GH が地域で万能な受け皿として期待され、問い合わせが多い現状がある。実際には GH で提供できる支援がご本人のニーズを満たすとも限らないため、その他の様々な社会資源の活用も視野に入れながらご本人が安心できる生活について検討していく必要がある。一人暮らしを支える福祉サービスとしては自立生活援助や地域定着支援といったものもあるが、現状としてサービス提供事業所が限られているなど、GH 以外の選択肢を検討するにあたっての課題もある。ひとりひとりに合った居住バリエーションを広げていく必要性を感じている。

○関係機関との連携の必要性

関係機関からつながる相談が増えている。南北センター窓口の周知が整い機能してきた結果である一方、多様な相談が増えているとも考えられる。

相談内容としては、上記にある就労や住まいの相談に限らず、介護保険の併給や身寄りのない方の相談、また、長年福祉サービスの利用がなく、ご家族に支えられて自宅で暮らしてきた方の今後についての相談など様々である。相談内容に応じて、障害福祉だけでなく、介護保険ほか関係機関と共に連携していく必要がある。